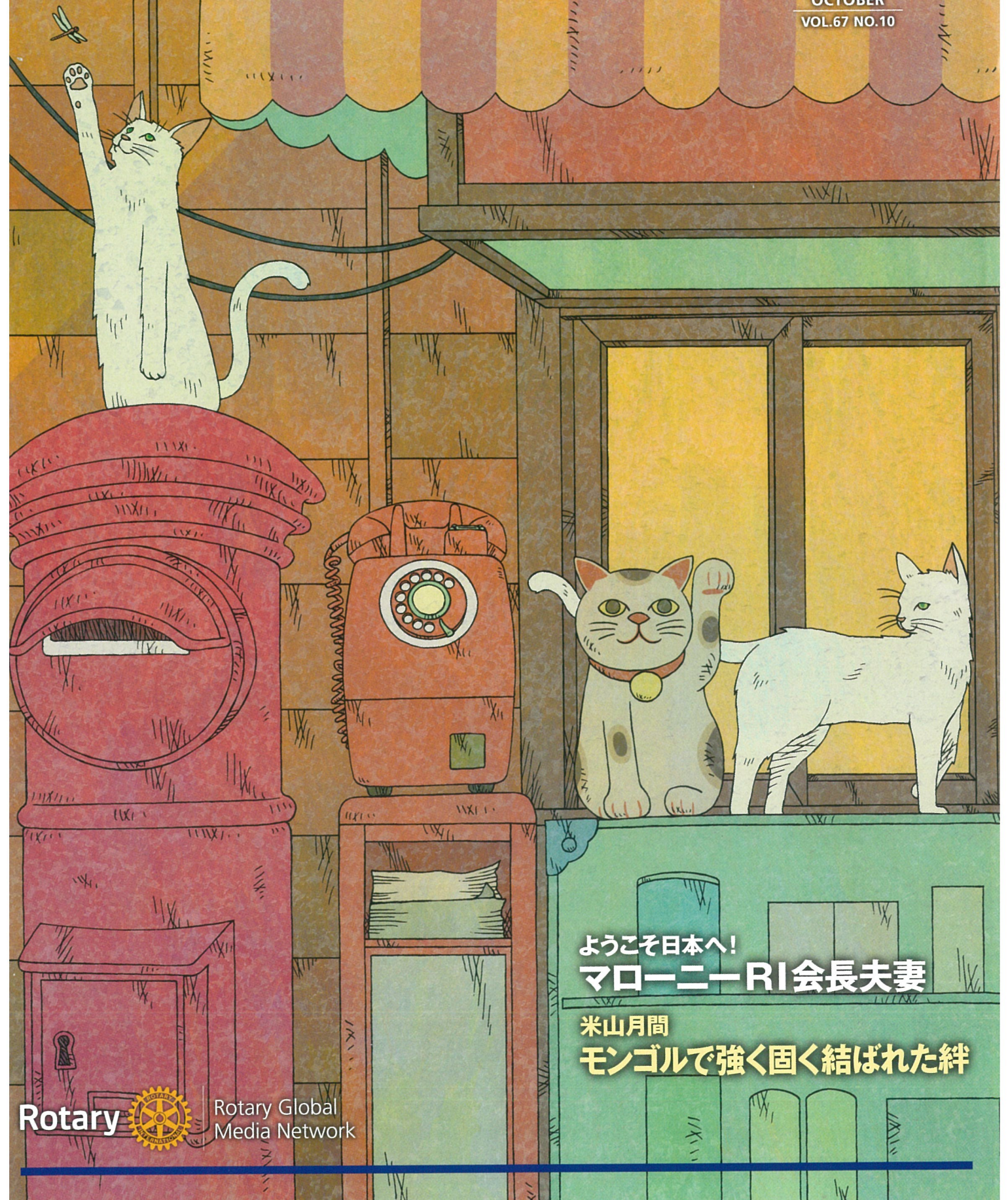


ロータリーの友

10

2019
OCTOBER
VOL.67 NO.10



ようこそ日本へ!

マローニーRI会長夫妻

米山月間

モンゴルで強く固く結ばれた絆

フルガラスが生み出す
至高の空間

VETRO

FULL HEIGHT DOOR®

フルハイトドア®

モダンなデザインで高級感を追求したイタリアンデザインのスライドドア『ヴェトロ』。あえてガラスの周りの金属枠を無くしたフルガラス仕様は、これまでの日本にはないリビングシーンを演出し、他と一線を画すセレクトモデル。ガラス素材がもたらす輝きを存分にいかして、よりエレガントで洗練されたデザインに。

商品のお問合せは神谷コーポレーション「Shonan Office」まで

TEL 0463-94-6203

フルハイトドア



フルハイトドア®の
神谷コーポレーション

神谷コーポレーション株式会社 〒259-1146 神奈川県伊勢原市鈴川150 URL www.fullheight-door.com

President's message

R I 指定記事

R I 会長メッセージ

ロータリアンとロータリー家族の皆さん

ロータリーの、長年にわたるポリオとの闘いは、何十年もの間、ロータリーの代名詞となってきました。これまで私たちが成し遂げてきたことは誇りに思うべきものです。

ポリオ根絶活動は著しく前進しています。1988年には、ポリオは世界の125カ国で流行しており、発症数は年間35万件でした。その後、ロータリーと世界ポリオ根絶推進活動のパートナー団体は、ポリオの発症件数を99.9%以上も減少させ、25億人の子どもたちに予防接種を施し、1,800万件のまひ発症を防ぎ、たくさんの国が次々とポリオフリー（ポリオの伝播がない状態）になるのを助けてきました。その中には、つい最近までポリオフリーの実現は不可能だといわれていたインドもあります。3種類のポリオウイルスのうち、2型はすでに根絶され、3型も根絶宣言が下される日が近づいています。ナイジェリアでは野生株ポリオウイルスの発生例は3年間報告されていません。この状況が続けば、1種の野生株ポリオウイルスだけが、全世界でもアフガニスタンとパキスタンでしか見られないようになるでしょう。

この地域は大きな課題を抱えています。とはいえ、希望を持ち続けることは大事です。これまで達成してきた成果のことを思い起こしてください。希望を失ったり、落ち込んでいる場合ではないのです。私たちはポリオ根絶を実現させます。しかしそのためには、絶えず監視を続けなくてはなりません。10月24日の世界ポリオデーは、世界中のロータリアンが一緒になってポリオ根絶活動の成果をたたえ、ポリオをこの世から永遠に消し去るために必要な今後の行動を計画する日です。キーワードは「行動」です。

今年は、できるだけ多くのロータリークラブに、世界ポリオデーのイベントを実施してもらいたいと考えています。アイデアが浮かばない場合は、ビューイングパーティーを開いて、友人やクラブ会員と一緒にオンラインでロータリーの特別プログラムを鑑賞するのはいかがでしょうか。また、例会で世界ポリオデーを特集したり、募金イベントを開催することもできます。ポリオ根絶のために集められた資金には、ビル&メリンダ・ゲイツ財団が2倍の額を上乗せします。

イベントを企画したら、endpolio.org/ja/register-your-event に投稿してください。イベントの広報用に、endpolio.org/ja/world-polio-day から世界ポリオデー・ツールキットが入手できます。

今年のロータリーのポリオ根絶特別プログラムでは世界中の異なる地域のタイムゾーンに合わせ、フェイスブックで配信されます。国際ロータリー（R I）公式フェイスブックページ（日本語）から「参加予定」をクリックしてください。イベントをソーシャルメディアでフォローし、シェアすることもお忘れなく。

目標を達成すれば、ポリオは地球上から姿を消した、人の感染症で2番目となり、ロータリーは世界中で絶賛されることになります。しかし何より大事なのは、子どもたちがこの恐ろしい、体の自由を奪う病気の危険に二度とさらされなくなることです。ロータリーはポリオ根絶活動のために、今後も世界をつなぎ続けなければなりません。ポリオ根絶の行方は私たちにかかっているのです。必ず実現させましょう。

* 1 番目は天然痘

MARK DANIEL MALONEY

2019-20年度 国際ロータリー（R I）会長



ロータリーのシドニーハーバーブリッジ・クライミングイベントでのマローニー夫妻と、R I ポリオプラス・ディレクターのキャロル・バンダック。橋の上にはためく最多の旗（278本）と、橋に一度に乗った最多の人数（340人）という、（当時の）世界記録を破る2つの記録を樹立しました。

ロータリーの友
Home Page
www.rotary-no-tomo.jp

原文（英語）はこちらから

RI RI 会長メッセージ 3

RI 会長 マーク・ダニエル・マローニー

特集 RI 会長夫妻来日！ 7

ようこそ日本へ！ マローニー RI 会長夫妻

RI 会長 マーク・ダニエル・マローニー／八戸中央 RC
伊藤園子／福島グローバル RC 鈴木美恵子／東京恵比寿
RC 橘高薫子／鎌倉 RC 中込仁志／名古屋熱田 RAC
亀井美由紀／名古屋北 RC 加藤慶人

特集 米山月間 19

モンゴルで 強く固く結ばれた絆

——「絆 in モンゴル」開催レポート——

ロータリー米山記念奨学会資料

特集 ロータリー学友参加推進週間 24

ロータリー学友とロータリーの懸け橋 ロータリー学友会

第 2660 地区学友委員長 山本博之／ロータリーフェローズ 2650 会長 吉岡 毅／ロータリーフェローズ 2700 委員長 鶴原敏夫／第 2780 地区ロータリー学友 柚木裕子／第 2780 地区ロータリー財団学友会長 高木直之／2018 - 20 年度日本ロータリー学友会長 松下 衛

地域社会の経済発展月間 28

地元の商店街を元気に

若松 RC 小山洋明

座談会 『100 年史』 編纂の現場から 30

『ロータリー日本 100 年史』 の刊行に向けて

侃侃諤諤 ① 34

例会の服装、どうしていますか？

10 月 24 日は世界ポリオデー 38

ポリオサバイバーとして ロータリアンとして

第 2770 地区ガバナー 小林 操

People of action around the globe 40

世界中で活躍「世界を変える行動人」 THE ROTARIAN 10 月号から

第 7 回日台ロータリー親善会議 42

福岡大会のお知らせ

ありがとう ロータリアン！ 44

ありがとう ロータリー財団！

宮城県南三陸町長 RI 日本事務局来局

NEW GENERATION 47

元ローターアクター 小林侑樹／ローテックス 鈴木那歩

CLUB INNOVATION 49

カナダ ウィアートン RC THE ROTARIAN 10 月号から

6 ● ロータリーとは

43 ● 写真でつづる 100 年 日本のロータリー ①

48 ● パズル de ロータリー／詰め碁

50 ● エバンストン便り

51 ● 国際大会へのカウントダウン **RI**

● 財団管理委員長からのメッセージ **RI**

52 ● お知らせ ロータリー衛星クラブ／新 IAC／IAC 名称変更／新 RAC／広報誌『Rotary 友と歩む 地域と歩む』刊行のお知らせ／地区別クラブ数・会員数一覧表／『友』11 月号主要記事予定

53 ● パズルの答え／詰め碁の答え／内外よろず案内／表紙について

55 ● 日本ロータリー分布図／奥付

56 ● 投稿規定（ご投稿をお待ちしています！）

一般社団法人 ロータリーの友事務所

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 4 階

Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5956

編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp（本誌の内容・投稿）

管理部メール keiri@rotary-no-tomo.jp（購読・注文）

ロータリーの友
Home Page
www.rotary-no-tomo.jp



- 本誌上でRCはロータリークラブ、RIは国際ロータリーの略です。
●縦組みの目次は、反対側の表紙を開いたページにあります。●本文・写真などの無断転載・複製を禁じます。

10月は地域社会の経済発展月間 米山月間です
10月7～13日はロータリー学友参加推進週間です



10月は地域社会の経済発展月間です。若松RCは、地元商店街の空き店舗に地域住民のコミュニティスペースを設け、再び活気を呼び込もうとしています（P28～29）。

ロータリーの友 委員会

委員長 片山 主水（名古屋東南）
副委員長 鈴木 宏（宇都宮北）
RI理事 三木 明（姫路）
RI理事エレクト 辰野 克彦（東京西）

特別顧問 上野 孝（横浜）
安平 和彦（姫路）
片岡 信彦（土浦南）
橋本 長平（京都東）
清水 良夫（横浜）
顧問 田中 堯史（盛岡）
村井總一郎（豊橋）
樫畑 直尚（和歌山）
野生司義光（東京小石川）
福原 有一（東京銀座）
相談役 神崎 正陳（茅ヶ崎湘南）

地区 代表委員

2500 伊貝 正志（釧路）	2600 望月 新一（松本西南）	2650 山下 尚治（京都）
2510 尾野 教仁（千歳）	2610 大友 哲（金沢）	2660 葉田いつの（大阪西南）
2520 渡邊 宏（仙台北）	2620 望月 隆明（浜松ハーモニー）	2670 佐野美佐子（徳島プリンス）
2530 箭内 一典（福島中央）	2750 松村 信幸（東京府中）	2680 中野 正徳（神戸）
2540 村越 正道（能代）	2760 尾本 和弘（名古屋東南）	2690 高橋 章（出雲中央）
2550 佐山 知也（栃木）	2770 中里 静博（越谷）	2700 平川 猛展（福岡平成）
2560 堀井 靖功（高田）	2780 小川 忠久（相模原グリーン）	2710 佐藤 卓己（福山）
2800 谷口 義洋（山形南）	2790 長原 正夫（成田）	2720 赤川 治之（大分中央）
2830 石川佳共子（青森）	2820 中井英一郎（東海那珂）	2730 深尾 兼好（鹿児島西）
2570 岡部みゆき（坂戸さつき）	2840 廣瀬 雅美（高崎）	2740 白倉 一男（諫早北）
2580 豊村 良春（那覇西）	2630 神田 浩伸（津）	
2590 今村 嘉男（横浜中）	2640 初田 隆生（和歌山北）	編集長 野崎 恭子

ロータリーとは

ロータリーの誕生とその成長

20世紀初頭のシカゴの街は、著しい社会経済の発展の陰で、商業道德の欠如が目につくようになっていました。

ちょうどそのころ、ここに事務所を構えていた青年弁護士ポール・ハリスはこの風潮に堪えかね、友人3人と語らって、お互いに信頼のできる公正な取引をし、仕事上の付き合いがそのまま親友関係にまで発展するような仲間を増やしたい、という趣旨でロータリークラブという会合を考えました。ロータリーとは集会を各自の事務所持ち回りで順番に開くことから名付けられたものです。

こうして1905年2月23日にシカゴロータリークラブが誕生しました。

それからは、志を同じくするクラブが、つぎつぎ各地に生まれて、国境を超え、今では200以上の国と地域に広がり、クラブ数35,927、会員総数1,205,049人（2019年8月15日R I公式発表）に達しています。

そして、これら世界中のクラブの連合体を国際ロータリーと称します。

このように、歴史的に見ても、ロータリーとは職業倫理を重んずる実業人、専門職業人の集まりなのです。その組織が地球の隅々にまで拡大するにつれて、ロータリーは世界に眼を開いて、幅広い奉仕活動を求められるようになり、現在は多方面にわたって多大の貢献をしています。

日本のロータリー

わが国最初のロータリークラブは、1920（大正9）年10月20日に創立された東京ロータリークラブで、翌1921年4月1日に、世界で855番目のクラブとして、国際ロータリーに加盟が承認されました。

日本でのロータリークラブ設立については、ポール・ハリスの片腕としてロータリーの組織をつくり、海外拡大に情熱的に取り組んだ初代事務総長チェスリー・ペリーと、創立の準備に奔走した米山梅吉、福島喜三次などの先達の功を忘れることができません。

その後、日本のロータリーは、第2次世界大戦の波に洗われて、1940年に国際ロータリーから脱退します。戦後1949年3月になって、再び復帰加盟しますが、この時、復帰に尽力してくれたのが国際ロータリーの第3代事務総長ジョージ・ミーンズでした。

その後の日本におけるロータリーの拡大発展は目覚ましいものがあります。ロータリー財団への貢献も抜群で、今や国際ロータリーにおける日本の地位は不動のものになりました。現在、日本全体でのクラブ数は2,252、会員数88,667人（2019年7月末現在）となっています。

2019 - 20 年度 R I テーマ



**ROTARY
CONNECTS THE WORLD**

ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか



Welcome to Japan
Gay & Mark Maloney

ようこそ日本へ！ マローニーRI会長夫妻



8月2日～10日、マーク・ダニエル・マローニー国際ロータリー（RI）会長とゲイ夫人が来日。RI会長に就任して初となる海外訪問です。マローニー会長は9回目、ゲイ夫人は7回目となる今回の来日では、主要都市ではない地域に目を向け、地域のロータリアンたちと交流しました。

日本のロータリーの皆さんへ

RI会長は、ロータリーの代表として訪問地を決定するに当たって、多少の裁量権を持っています。

今年度、妻のゲイと私は、会長年度の最初の海外訪問の地に日本を選びました。三木明RI理事のリーダーシップの下、日本の各地でロータリアンに出会い、活動を見ることができました。今回の訪日では、青森県八戸、福島県浪江と相双（相馬・双葉）地方、東京、神奈川県鎌倉、愛知県名古屋を訪れました。各地で日本のロータリアンがロータリーを通じ、地元や海外の地域社会に、とても大きなインパクトをもたらしていることを知った旅となりました。

また、職業奉仕、RYLA（ロータリー青少年指導者養成プログラム）、青少年交換、インドでのポリオ全国予防接種日への参加、会員増強の取り組み、ローターアクト、インターアクト、ロータリー財団学友などについて、さまざまなプレゼンテーションを聞きました。さらに、2011年に発生した東日本大震災の被災地におけるロータリアンの活動（八戸にある^{かぶしま}蕪島海浜公園多目的トイレの設置や浪江にじいりこども園での植樹など）も視察しました。

訪れる先々で素晴らしい日本のおもてなしを満喫しました。日本舞踊や伝統的な音楽、剣道のパフォーマンス、^{そうまのまおい}相馬野馬追のよろいかぶとを身にまとった侍からのあいさつなど、日本の文化に触れました。また、鎌倉の大仏を訪れた際には、日本の長い歴史を学び、美しい山々や海を間近で見ることができました。日本の交通手段として私が大好きな新幹線から垣間見た景色もまた素晴らしいものでした。

さらに、福島県の内堀雅雄知事、愛知県の大村秀章知事を表敬訪問しました。いずれの県知事とも、日本におけるロータリーの活動が大変高く評価されていました。また、日本のロータリーのリーダー（田中作次元RI会長、小沢一彦元RI理事、黒田正宏元RI理事、松宮剛元RI理事、齋藤直美元RI理事、石黒慶一直前RI理事）の皆さまにお会いする機会にも恵まれました。これらの日本のロータリーリーダーと長年活動を共にしていることは、私にとって大変光栄なことです。

今回の訪日は、私の期待を大きく上回る結果となりました。私たちの訪問のための受け入れ体制を整えてくださった皆さまや、訪問先でお目にかかった皆さまに、心より感謝いたします。神戸で開催されるロータリー研究会で再び日本を訪れることを、ゲイと共に楽しみにしております。日本のロータリーの皆さまとお会いし、改めて「ロータリーは世界をつなぐ」ということを実感することができました。

MARK DANIEL MALONEY
2019-20年度RI会長



写真説明：

(左上) 福島県・穴原温泉のホテル吉川屋の前で飯坂RCの会員から歓迎を受ける

(中) 忙しいスケジュールの合間に裏磐梯の景勝地・五色沼を散策。日本の自然に触れる貴重な時間となった

(下) 福島県知事を表敬訪問

(右上) 猛暑の中、鎌倉の大仏を見物した後で一休み。抹茶アイスをはおぼった

(右下) 裏磐梯レイクリゾートで行われた第2530地区RI会長夫妻歓迎晩餐会では、夫妻に浴衣がプレゼントされた





八戸 (Hachinohe)

8/3 8/4

通訳 IM 実行委員会メンバー
佐々木 やす子

RI 会長・令夫人
ゲイ・マローニー

海外では珍しい!? IM (インターシティーミーティング) に参加

「地域や国によって、衣食住の習慣が異なるように、ロータリーの奉仕のあり方や職業奉仕のあり方も異なります」

写真説明

来日後、最初に訪れたのは、第 2830 地区 (青森県) 南グループの IM。長旅の疲れも見せず、グループ内の活動報告に熱心に耳を傾け、報告の一つ一つに講評した

八戸中央 RC
伊藤 圓子



有言実行のマローニー氏に
その場のロータリアンも共鳴

まさに「それでこそロータリー」な出来事でした。RI 会長夫妻を迎えて、地区南グループの IM が開催されたのです。そして光栄なことに、私自身も発言の機会を得ることができました。

私たち八戸中央ロータリークラブ (RC) は、現在 24 人と少数ながら、うち女性会員が 5 人います。当地区内では、1,201 人中 102 人が女性。特に近年創立のクラブには女性会員が多く、女性会員比率向上に貢献しています。RI 会長は、国際協議会や国際大会のスピーチで、女性会員の増加や、そのリーダーシップの発揮について述べています。そこで日本との違いが気

になり、世界の現状を質問しました。

マローニー会長は「世界の会員の 22% が女性。アメリカにおいては 30 ~ 35%。全世界で女性の割合がより高くなるのが大切」と力説。また、ロータリーと家族のつながりも強調され、「家族の大切さは言うまでもなく、私たちの活動は家族にとっても有意義。ロータリーか家族かの選択はしてほしくない。社会奉仕の活動には家族も参加を」。会員増強策として、「女性と若い世代の入会を推進し、家族ぐるみのロータリー理解と参加を促すことが持続可能なロータリー活動に貢献する。遠いようで近道。時間はかかるが、確実な道ではないか」という意見でした。翌月行われる地区の「女性のための会員増強セミナー」の弾みになりました。

「ロータリーは世界をつなぐ」の RI 会長テーマを自ら実行し、参加した会員一人一人が、ロータリーの素晴らしさを実感できる、よき日となりました。
(第 2830 地区 青森県)



写真説明：

(上) 蕪島海浜公園で。強い日差しも「アラバマと変わらないよ」と涼しい顔
(中) 朝市で、目を輝かせるゲイ夫人
(左下) 日曜日の朝、地元のカトリック八戸塩町教会の礼拝に参加
(右下) ロータリー東日本震災復興基金の支援を受けて、八戸南RCが再建した蕪島海浜公園多目的トイレ



福島 (Fukushima)

8/4 8/5 8/6

ロータリーと 地域とのつながりを実感

「大変な状況の中で、相双地区のロータリアンが頑張りました。それを支援してきた日本、そして世界のロータリアンは、まさに、“ロータリーは世界をつなぐ”姿そのものである」

写真説明：

福島県浪江町で現在も被害の大きさを伝えている請戸（うけど）小学校の前で、芳賀裕ガバナーから説明を受ける会長。来年3月に開催が予定されている「震災復興フォーラム」に向けて、ビデオメッセージを収録した。津波のために校舎の1階部分が流され、残った2階部分の壁に、あの瞬間に止まった時計がそのままになっている様子に「衝撃を受け、心が痛んだ」と述べた

福島グローバルRC
鈴木美恵子



福島訪問 —
3泊4日をご一緒に—

八戸から移動し、福島市飯坂のホテル吉川屋に到着すると、飯坂RCの会員が横断幕を持って迎えた。上皇陛下が宿泊した貴賓室に案内され、部屋や窓からの景色を楽しんだ。おかみ（飯坂RC会員夫人）が会員の果樹園の桃でもてなすと、「大変おいしい」と長旅の疲れが癒やされた様子。

福島中央RC創立30周年記念特別例会では、地区補助金奨学生だった吉田昂城さんがピアノ演奏で夫妻を歓迎。彼は津波と原発事故の影響を受けた浪江町出身。震災後、当時高校生だった彼は、日本とオーストリアのロータリーや多くの人の善意と友情により、

現在、ウィーンの国立音楽大学に留学している。彼の演奏が終わると、大変感動された会長は吉田さんのところへ歩み寄り、握手をして称賛。今後の活躍を願って励ました。

被災地が会長の心に残したこと 翌5日は被災地を視察しながら、相双地区6クラブの合同例会の会場に向かう。到着するとすてきなサプライズが。相馬に1,000年以上前から伝わる伝統行事、相馬野馬追の騎馬隊と侍たちがほら貝で出迎え、馬上から夫妻に歓迎の口上を述べたのである。会長夫妻はじめ参加者全員が驚き、感動した。

例会では、震災によって相双地区では、4人のロータリアンが亡くなり、8つあったロータリークラブが6つに減ったこと、しかし、現在は震災前より会員が増えていること、震災後の状況は大変厳しいものであったが日本中、世界中からロータリーや多くの皆さまから支援を受け、みんなで協力して頑張ってきたことなどを伝えた。



写真説明

(左上) 相双地区6クラブの合同例会でマローニー会長とゲイ夫人のクラブとバナー交換

(右上) 浪江にじいりこども園で、被災地の復興を祈り、希望を込めて、「被爆桜」から得た苗木を広島から運び植樹

(左) 被災地視察へ向かう車中では、インターアクター、元青年交換学生らと歓談。若者たちの目標や夢などについて熱心に耳を傾けた。夫妻も二人の出会いや家族のことなどを気さくに語った

諸橋近代美術館訪問 芸術鑑賞などにも興味がある会長夫妻は、ダリの作品で有名なこの美術館を見学。ダリの作品はもちろん、他の作品の中にも興味を持たれたものがあった。それは、ハンブルクの地図が使われていたドイツの芸術家トーステン・エベリングの作品。それを見つけた会長は、ゲイ夫人を呼び、地図を指さして、滞在したホテルはこの辺りだったね、と語り掛けた。私自身が滞在したホテルがセント・ミヒャエル教会の近くで、その教会で国際大会の合同礼拝が行われたことが話題になった。私たち3人はその合同礼拝に参加しており、その素晴らしいについて話が弾んだ。礼拝では、パイプオルガンによるバッハの曲の演奏や、地元のロータリークラブ聖歌隊の合唱が行われた。さまざまな信仰を持つ人が心をつなげて、ロータリーが目指す世界平和や人類の幸福を祈り、感動的なものであったことを思い出した。

会長夫妻が好きなもの ゲイ夫人は、以前から絵を描くことを楽しんでいるが、最近は大好きな自然の草花を描いているそうだ。五色沼近くで見つけたアジサイと蜂がとまっている小さな白い花、裏磐梯、諸橋近代美術館の池に咲く赤いハスなどが気に入り、熱心に写真に収めていた。

一方、電車が好きな会長は、新幹線を見ることを楽しみにしており、郡山駅を新幹線が通り過ぎるのを熱心に見ていた。グリーンカーとは何か、指定席とどう違うのかなどの質問があった。郡山から東京へ向かう新幹線は、「グランクラス」ということで、楽しみにして乗り込み、福島を後にした。

マローニー会長夫妻との出会い、そして一緒に過ごした時間は、福島のロータリアン、そして私にとって大変貴重ですてきな思い出になった。心から感謝を申し上げたい。

(第2530地区 福島県/職業分類 通訳・翻訳)



「福島民報」は号外を発行。
RI会長の動向を速報した

「私のスピーチがパワフルすぎて、地面まで揺れてしまいました」

※ 8月4日の福島中央RC創立30周年記念特別例会のスピーチ中に起こった震度5の揺れを受けて。驚いた様子だったものの、すぐに気を取り直して、スピーチを再開した時のジョーク



写真説明：

(上) マローニー会長は、晩餐会の司会をした橘高薫子会員にスカーフをプレゼント。その場でサインした

(下) 赤坂芸者による日本舞踊を鑑賞



RI会長の熱いスピーチに大感動 東京でおもてなし

「人とのつながりから始まり、地域とつながり、時間・歴史がつながり、そしてロータリー独特のつながりにより、114年間とても力を発揮してきた」

「この先の114年も、このつながりの力を大いに理解し活用することで世界平和へ導いていくことができるだろう」

東京恵比寿RC
橘高 薫子



マローニー会長、ゲイ夫人をお迎えして

8月6日、私は浅田豊久ガバナーの命を受け、東京西RCの岩城義親さんと2人で福島・郡山までマローニーRI会長夫妻をお迎えに上がりました。初対面の会話は「君が僕の通訳かい？」「いえいえ、荷物持ちです」「君より荷物の方が大きいよ!」。とても緊張してお目にかかりましたが、ウイットに富んだ会話に、一気に心が和みました。新幹線の中ではパソコンに向かい、寸暇を惜しんで仕事をされ、RI会長の激務を垣間見ました。夕刻に開催される第2750地区会長・幹事会、RI会長歓迎晩餐会にも、車中、詳細なタイムスケジュールの確認、スピーチの段

取りと、RI会長として伝えたいことをいかに効果的に伝えるか、とても真剣に準備していらっしゃいました。

RI会長歓迎晩餐会でのスピーチでは、今年度のRI会長テーマ「ROTARY CONNECTS THE WORLD」について語られました。大変熱量の高いスピーチで、心が高揚しました。一人ではできないかもしれない、でも120万人の仲間、そしてその周りの人たちと一緒に、できるかもしれない。そんなふうにきっと皆さんも感じたことと思います。

翌朝のお見送り、ゲイ夫人が「一緒に写真を撮りましょう! あなたの心遣い、とても感謝しているの、のどあめはとってもありがたかったわ」と。前日、お疲れからかRI会長がせきをしていたのが気になり、ホテルにのどあめを手配してもらいました。そんなやさやかなことも心にとどめてくれる、その優しいお人柄にとても感動しました。(第2750地区 東京都)

北鎌倉女子学園インターアクトクラブ
 鎌倉ロータリー


8/7 8/8

鎌倉 (Kamakura)

インターアクトクラブの認証伝達式 会長自ら全員にバッジを贈呈

豊かな人生や、立派な国際人になるために何をしたらいいですか？

「まず勉強に励むこと。それから広い視野を持つ人間になってほしいから、音楽、芸術、スポーツなども大切だよ」

写真説明：

鎌倉 R C が提唱する北鎌倉女子学園中学校・高等学校インターアクトクラブの加盟認証伝達式に出席。インターアクトクラブ会長の福西麻衣子さんにバッジの贈呈を行い、祝福の声を掛けるマローニー会長と杉岡芳樹ガバナー。バッジはインターアクトカー人ずつに手渡された。

鎌倉 R C

中込 仁志



**生徒にも良い機会を
与えることができ、感謝**

8月8日、北鎌倉女子学園にて、クラブが提唱した北鎌倉女子学園インターアクトクラブの加盟認証伝達式が執り行われ、来日中のマローニー R I 会長夫妻、三木明 R I 理事夫妻が出席されました。

当地区初の女子校でのインターアクトクラブ設立であることと、R I 会長から直接加盟認証状を渡してもらえるということは、大変に喜ばしく栄誉なこと、初めてのことに驚きながらも準備に当たりました。

マローニー会長は冒頭のあいさつで、インターアクトクラブ加盟認証状を渡すのは初めてであると述べ、名誉

ある授与の機会を分かち合いたいと、杉岡芳樹ガバナーと一緒に認証状を渡されたのが、大変印象的でした。

生徒たちには、身ぶり手ぶりを交えて、楽しくも堂々としたスピーチで語り掛け、記念撮影や握手にも笑顔で対応している寛容な夫妻の姿を見ることができました。その後開かれた懇談会では、生徒らを前にロータリーに入った経緯に触れ、「25歳で入会。ようやく今 R I 会長になったが、何を始めるにも遅いということはありません」と、にこやかに優しく語りかけられ、ロータリアンとしての誇りを感じることができました。ゲイ夫人は、「母が華道(池坊)を学んでいたので日本の文化を知ることができた。日本の文化の独自性を大切にしてください」と語りかけました。

その後、鎌倉の名所である大仏に案内しました。鎌倉の地を楽しんでいただけと思っています。

(第 2780 地区 神奈川県)



写真説明：

(上) 生徒、学校関係者、提唱クラブ会員を前に、インターアクトクラブ結成の祝辞を述べるマローニー会長。夏休みの中、大勢の生徒が出席した

(中) 生徒たちと座談会。「好きな日本食は何？」の質問に、「天ぷらが好き」。生徒は緊張しながらも会長夫妻との交流を楽しんでいた

(左下) サプライズで、会長自らその場のインターアクター一人一人に「会長テーマ」のバッジが手渡された。中央はホストを務めた鎌倉RC横山英夫会長（右）鎌倉大仏を見上げるマローニー夫妻。解説にもじっくりと耳を傾けた



名古屋 (Nagoya)

過去に日本とのつながりも ローターアクトとは共同で活動

「ローターアクトの皆さんもロータリーの活動の中心です。期待していますよ」

写真説明：

名古屋市内の障害者支援施設「一粒荘」で、リハビリを兼ねた折り紙の作品作りを行う施設利用者、R I 会長夫妻、主催した名古屋熱田RACのメンバーたち

名古屋熱田RAC
亀井美由起



障害者支援施設でR I 会長と
一緒に奉仕活動を実施

名古屋熱田ローターアクトクラブ (RAC) が8月10日に開催した例会に、マーク・マローニーR I 会長、ゲイ夫人が参加しました。今回の例会は障害者支援施設の訪問です。

R I 会長はとても気さくな方で、例会が始まるまでの時間は、私たちとの雑談や、記念撮影を快く引き受けてくれました。開会式のあいさつでは、7月1日からはローターアクトクラブがR I の構成員の一員になったことに触れ、「青少年プログラムの一部から、ロータリーの活動を中心となって行っていく立場になったので、今後のローターアクトクラブの活躍に期待する」

とのメッセージを頂きました。

今回の例会は、身体障害のある施設利用者との交流を図るのが目的で、手先のリハビリのために、折り紙でひまわりを作る活動としました。R I 会長は積極的に折り紙を折り、最後には花束にして利用者へプレゼントされました。

R I 会長が私たちの活動に参加するということは奇跡的で、今回はとても貴重な体験となりました。今年度私たちが力を入れている「プラスチックごみを減らすためにマイボトルを持参しよう」という啓発活動について伝え、クラブで作ったオリジナルボトルを贈りました。ローターアクトクラブの活動をR I 会長に直接伝えることができたのも、とても貴重なことだと感じ、今回の経験を今後の活動に存分に生かしていこうと思います。

(第2760地区 愛知県)



「“ROTARY CONNECTS THE WORLD”とは、
単に響きの良い
フレーズではありません」

写真説明：

(上) 第 2760 地区が主催した歓迎晩餐会では、日本舞踊西川流四世家元の西川千雅会員（名古屋RC）が舞と踊りを披露した。

(下) 名古屋北RCの例会では、からくり人形の実演が行われた。ぜんまい仕掛けで進んできた人形から、湯呑みの代わりに「茶運び人形ピンバッジ」を受け取り、再び戻すと、振り向いて戻っていく動きに、マローニー会長も満足な様子だった



名古屋北RC
加藤 慶人



人と人とのつながり
それが実感できた貴重な体験

8月9日、RI会長夫妻が名古屋北RCの例会に来る前に、ゲイ夫人はお墓参りに赴きました。そのお墓にはかつてマローニー夫妻がホストファミリーとして預かった愛知県出身の留学生が眠っています。若くして亡くなったその留学生のお墓参りをすることが、今回訪問の目的の一つであったと、話しました。ホストファミリーとして出会った留学生は、ロータリープログ

ラムでの渡米ではなかったそうです。しかし、その留学生と家族との縁ができたおかげで、当クラブの例会にも来てもらえ、新たな縁につながりました。

「“ROTARY CONNECTS THE WORLD”とは、単に響きの良いフレーズではありません」。

この日の例会での卓話は、名古屋市北区に工房がある、からくり人形師・玉屋庄兵衛氏のトークと実演でした。夫妻は、日本の伝統の技にも興味を持たれた様子。また、護国院の住職で、当クラブ安部隆俊会長と、からくり人形やお盆のお参りについての談話をしている姿は、RI会長としてではなく一人の人間として、つながりや、絆を紡いでいるようでした。

(第 2760 地区 愛知県)

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会 ロータリー日本国内全地区合同プロジェクト

モンゴルで強く固く結ばれた絆

——「絆 in モンゴル」開催レポート——



7月27～28日の2日間、モンゴルの首都ウランバートルにおいて、米山学友による第2回世界大会「絆 in モンゴル」(モンゴル米山学友会主催)が盛大に開催されました。

発端は2年前。2017年8月に米山記念奨学会の財団設立50周年を祝し、世界の米山学友が集まって開催された「感謝 in 熊本」大会で、今後も2年に一度、世界各地から米山学友が一堂に会すことを申し合わせ、その際、次の開催地がモンゴルに決まりました。バトンを受けたモンゴル米山学友会は、初代会長のジャンチブ・ガルバドラッハさんが実行委員長となり、メンバー総出で2年をかけて準備を進めました。その熱意が功を奏し、今大会には世界16の国・地域出身の学友、ロータリアン、家族など、総勢548人が登録。モンゴル以外からの参加者は383人に上りました。

学友では、次の開催地である台湾米山学友会から家族を含めて37人。まだ正式な学友会のないベトナムからも、ホーチミン市で活動する学友グループの6人が参加しました。日本のロータリアンは米山記念奨学会の理事長、名誉理事長、理事、評議員、さらにガバナー、ガバナーエレクト、パストガバナーを含む200人以上が出席。「新モンゴル学園」を応援している宮城県の名取ロータリークラブ(RC)や現モンゴル米山学友会会長の世話クラブである群馬県の前橋RC、モンゴルで奉仕事業を行う大阪東RCなど、モンゴルと縁の深いクラブの団体参加も目立ちました。愛媛県の大洲RCと八幡浜RCは昨年の西日本豪雨の際、ジャンチブさんが所属するフレールCの義援金を届けに来てくれたことに感謝し、返礼の気持ちで参加を決めたそうです。迎えるモンゴル側の登録者は165人。モンゴル国内の学友や家族が90人以上参加した他、多くのロータリアン、現職の外務大臣や在モンゴル日本大使も出席し、式典の様子は現地のニュース番組で放送されました。「米山月間」の今月は、過去最大規模の学友会主催イベントとして米山記念奨学会に新たな歴史を刻んだ「絆 in モンゴル」について報告します。

横断幕で熱烈歓迎

7月26日午前1時過ぎ。チンギスハーン国際空港に臨時便が到着。乗客のほとんどは、「絆 in モンゴル」に参加するために現地入りした日本のロータリアンと学友、その家族や友人ら約120人です。深夜とは思えないほど人と荷物でごった返す空港の到着ロビーには、「Welcome to Mongolia」の横断幕を持って駆け付けたオイドブ・バトゲレル会長をはじめ、多くのモンゴル米山学友会メンバーの姿がありました。

この臨時便以外にも、モンゴル米山学友会が大会参加者のために航空会社に交渉して座席を確保した便が25～26日にかけて日本、韓国、香港から続々と到着。そのたびに学友会のメンバーが盛大に出迎えました。初めてモンゴルを訪れた学友・ロータリアンも、彼らの姿に安心感を得たのではないのでしょうか。旅の幕開けから、現地の学友たちの心温まるおもてなしが始まりました。

君の夢は私の夢

実行委員会には、事前に参加者からさまざまなリクエストが寄せられたといいます。中でも多かったのが「新モンゴル学園を見学したい」というもの。ジャンチブさんが米山奨学生の時に抱いた夢を、世話クラブの山形北RCを中心に地元市民らが支援し、2000年にウランバートルに開校した日本式高校は、今や小中高一貫校、子ども園、高専、工科大学を擁する「新モンゴル学園」となり、日本をはじめ世界の国々とモンゴルをつなぐ懸け橋となる人材育成に、貢献しています。

26日に実施された学園見学ツアーでは、校内見学の後、講堂で歓迎会が催され、夏休み中にもかかわらず多くの生徒が集まり、流ちょうな日本語で司会進行を行い、伝統楽器の演奏や民族舞踊、日本の演歌を披露してくれました。

「君の夢は私の夢」。ジャンチブさん（写真左）が語るこの言葉に勇気付けられ、世界へ

羽ばたいた卒業生についても紹介されました。中には、米山奨学生になった人もいます。

かつて、ロータリアンが手を貸し、夢を実現させた元奨学生が、今度は次の世代の夢に手を貸している——米山記念奨学事業の意義と成果を目の当たりにし、大きな感動に包まれた訪問となりました。

次回へ引き継がれたシンボル

翌27日の午後、いよいよ「絆 in モンゴル」の式典がスタート。会場に足を踏み入れ、予想を超えるスケールに驚いた人も多かったと思います。舞台前には参加者の出身国の国旗が飾られ、さながらロータリーの国際大会のようでした。

開演ブザーが鳴りやんですぐ始まったのは、モンゴル米山学友会が制作した19分の動画「米山学友が集う意義」の上映。ロータリーや米山記念奨学事業とその成果である米山学友会、世界各地から米山学友が集まるようになった経緯が紹介され、さまざまな分野で活躍するモンゴル学友のメッセージが、見る人の心をつかみました。

モンゴル学友会のオイドブ会長の開会

あいさつと点鐘（写真右）に続いて、米山記念奨学会の齋藤直美理事長をはじめ各来賓があいさつ。式典中は、モンゴルのダムディン・ツォグトバートル外務大臣が英語で祝辞を述べた以外、進行も含め全て日本語で行われ、国内のロータリアンや家族に向けてはスクリーンでモンゴル語訳が表示されました。



第2部は、台湾と韓国、タイ、マレーシアの各米山学友会会長からの活動紹介、さらに日本の学友会を代表して、「感謝 in 熊本」実行委員長を務めた何玉翠^{ホ ユーツイ}さんがあいさつしました。フィナーレが近づくと、モンゴルの学友が全員舞台上上がり、この日のために作られたオリジナルソング「米山の絆」を披露。実行委員会幹事のナサンバヤル・ボロルマーさんが歌う「絆をつなぎ合わせ明日のために手を組もう 我らは米山学友 ロータリアンの友と歌おう」の歌詞が心に響きました。手を振るモンゴル学友に、客席から多くの人が手を振って応え、まさに会場が一体となった瞬間でした。



バトンタッチセレモニー



最後は2021年の台北国際大会に合わせて開かれる次回大会へのバトンタッチセレモニーとして、「感謝 in 熊本」でモンゴル米山学友会に託されたハートのシンボルが、台湾米山学友会の郭錦堂理事長に渡され、ひととき大きな拍手が送られました。

ダム（遊牧祭体験）が開かれ、モンゴル相撲や弓術、馬術といった伝統文化を堪能。参加者は2日間を通じ、米山の絆と楽しさを満喫しました。



米山の絆と楽しさを満喫

感動冷めやらぬ中、場所を移して開かれた懇親会は一転して打ち解けた雰囲気となり、ゲスト歌手の歌に合わせて、学友、ロータリアンの垣根なく大勢の人が踊りに加わって熱気は最高潮となりました。

また、モンゴルの児童医療支援を目的としたチャリティーオークションも行われ、希少価値のある出品物をめぐって入札合戦が繰り広げられました。3時間にわたる懇親会の最後は、関西米山学友会が中心となって恒例のダンスパフォーマンスを披露。どの参加者の顔にも満足感が浮かんでいました。

「草原の国モンゴルを存分に楽しんでほしい」と、翌日はウランバートル郊外のツーリストキャンプでミニナー

台湾での再会を約束して

全行程を通じて、モンゴル米山学友会の温かなホスピタリティが感じられました。国を超えた出会いがモンゴルの大地で実現した、素晴らしい大会でした。

参加者の要望で企画された前夜祭やビジネスフォーラムも好評でした。特にビジネスフォーラムは、モンゴルの課題を解決しようとする若手経営者の発表と彼らとの交流があり、「特に印象深かった」との声もありました。

今大会の成功は、参加者一人一人にとって楽しく充実した滞在となるよう、モンゴルの学友たちが企画を出し合い、最後の最後まで全力で準備・実行に当たったからに他なりません。

式典後、「本当に来て良かったです」と伝えてくれたロータリアンがいました。その他にも「モンゴルが大好きになった」「参加して、米山への見方が変わった」「米山の広がりを感じた。実際に学友と会い、彼らの感謝の気持ちが伝わった」「学友がこれほどロータリーとつながろうとしている、学友同士でつながろうとしていると感じられたのが、何より良かった」と、多くの会員が感動を伝えてくれました。共通するのは「次の台湾大会も必ず行きます」という一言でした。

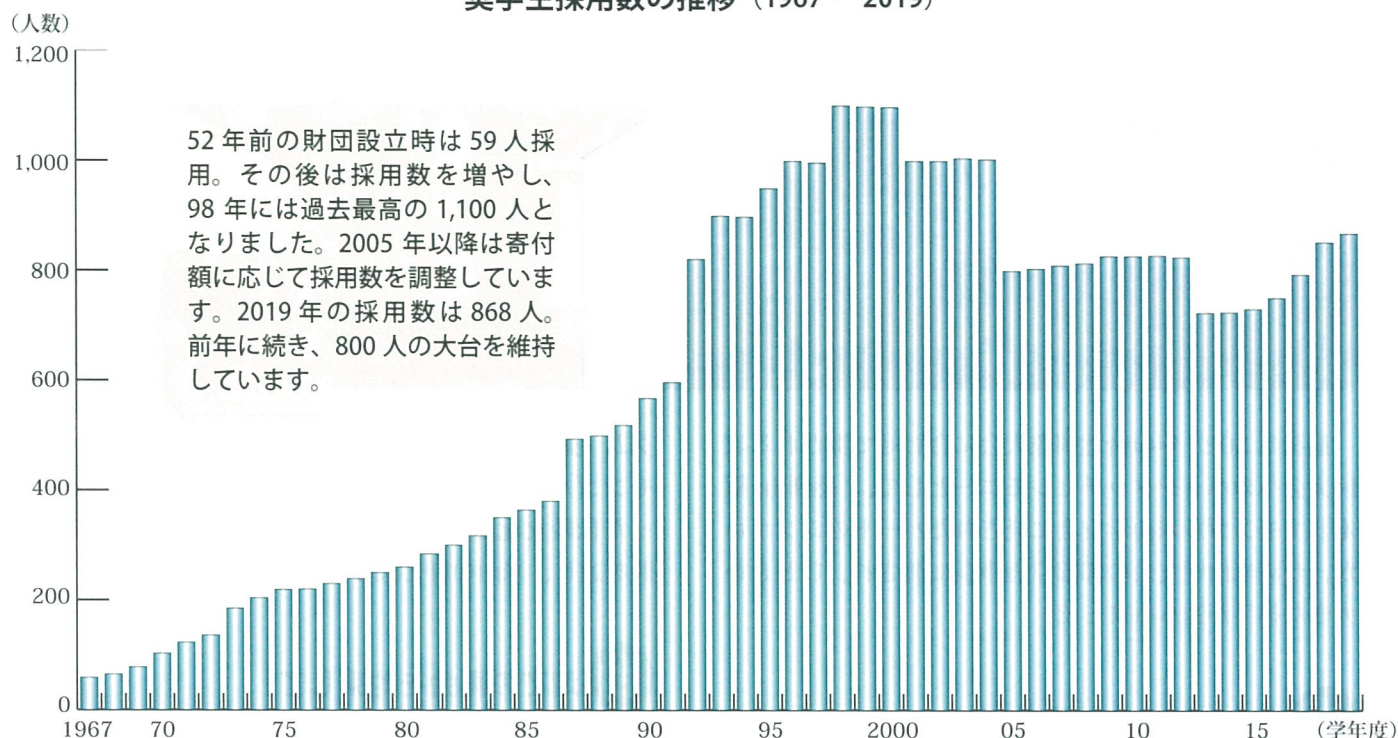
今回参加しなかった皆さんも2021年6月、台北国際大会に合わせて開かれる「第3回世界大会」に参加し、ぜひ「米山の絆」を体験してください。台湾と世界の米山学友たちがお待ちしております！

ロータリー米山記念奨学会事務局



ロータリー米山記念奨学会資料

奨学生採用数の推移 (1967 - 2019)



理事および監事 (2019年9月現在)

理事は、採用数の決定や事業の計画、予算策定など。監事は、理事の職務執行の監査などを行っています。

理事長	齋藤 直美 (2760)		
副理事長	塙 東男 (2820)	若林 紀男 (2660)	
常務理事	武田 和夫 (2800)	山崎 淳一 (2830)	水野 功 (2750) 滝澤 功治 (2680)
理事	柴田 和明 (2500)	塚原 房樹 (2510)	皆川 清 (2520) 大橋 廣治 (2530) 村上 勘一 (2540)
	飯村 慎一 (2550)	新保 清久 (2560)	加藤 玄静 (2570) 鈴木 孝雄 (2580) 大野 清一 (2590)
	島田甲子雄 (2600)	崎山 武夫 (2610)	井上 雅雄 (2620) 井橋 吉一 (2770) 後藤 定毅 (2780)
	関口 徳雄 (2790)	高木貞一郎 (2840)	村橋 元 (2630) 前窪 貫志 (2640) 栗田 幸雄 (2650)
	須之内淳二 (2670)	森田昭一郎 (2690)	安増 惇夫 (2700) 天野 肇 (2710) 岡村 泰岳 (2720)
	秦 喜八郎 (2730)	駒井 英基 (2740)	
監事	真下 和男 (2570)	浅川 皓司 (2580)	森嶋 庸吉 (2790)
名誉理事長	小沢 一彦 (2780)		
事務局長	岩邊 俊久		

評議員は、理事の業務を監督し、理事・監事の選任と解任、定款変更や決算の承認などの役割を担っています。

評議員 (2019年9月現在)

評議員	成瀬 則之 (2500)	嵯峨 義輝 (2510)	濱守 豊秋 (2520)	渡邊 公平 (2530)	平澤 孝夫 (2540)
	羽石 光臣 (2550)	佐々木昌敏 (2560)	和田 廣 (2800)	佐々木千佳子 (2830)	細井 保雄 (2570)
	上山 昭治 (2580)	湯川 孝則 (2590)	望月 宗敬 (2600)	炭谷 亮一 (2610)	積 惟貞 (2620)
	猿渡 昌盛 (2750)	神野 重行 (2760)	田中徳兵衛 (2770)	山地 裕昭 (2780)	宇佐見 透 (2790)
	佐藤 衛 (2820)	竹内 正幸 (2840)	桑月 心 (2630)	成川 守彦 (2640)	橋本 長平 (2650)
	松本 進也 (2660)	稲山 三治 (2670)	丸尾 研一 (2680)	伊藤 文利 (2690)	吉田 知弘 (2700)
	金子 克也 (2710)	赤山 武興 (2720)	川原 篤雄 (2730)	宮崎 清彰 (2740)	

地区別寄付額・功労者数・奨学生数

地区	寄付額			功労者数（人）		特別寄付金 寄付者割合 （個人）	奨学生数（人）	
	2018－19 年度（円）	個人平均（円）	累計（千円）	2018－19 年度	対前年度 増減		2019 学年度	累計
2500	14,292,550	6,233	652,050	65	－ 2	18.7%	11	165
2510	37,347,961	14,260	1,178,216	130	－ 9	42.4%	21	461
2520	21,111,149	9,316	858,068	102	23	17.8%	15	583
2530	31,763,750	13,391	1,022,731	144	－ 4	46.8%	24	326
2540	9,415,396	8,251	368,110	33	4	27.9%	9	178
2550	32,850,231	18,601	1,413,381	162	－ 22	74.0%	21	688
2560	38,304,910	18,119	1,307,987	192	2	64.6%	29	460
2800	16,589,760	10,368	604,673	61	－ 58	33.1%	16	229
2830	11,356,443	9,487	382,377	65	－ 94	45.0%	10	157
2570	20,120,720	12,313	1,209,717	85	3	35.4%	17	526
2580	54,000,250	17,705	2,567,827	193	51	22.8%	37	1,528
2590	57,804,150	28,210	2,561,054	337	－ 233	80.1%	42	971
2600	26,001,176	13,145	1,443,810	125	－ 401	20.7%	18	442
2610	36,302,200	13,545	1,363,185	99	－ 49	29.8%	22	469
2620	44,273,500	14,631	1,666,835	143	－ 47	72.5%	23	488
2750	80,310,577	17,767	3,471,659	330	197	40.2%	45	1,384
2760	73,367,018	14,960	3,242,517	270	69	33.2%	52	917
2770	66,670,320	25,553	2,492,212	407	190	75.6%	34	782
2780	49,626,584	20,523	2,122,167	252	183	76.9%	29	652
2790	46,395,368	16,154	1,837,993	213	－ 127	39.8%	25	685
2820	46,875,000	23,964	1,835,995	280	173	75.1%	31	930
2840	42,093,544	19,752	1,286,763	225	93	82.9%	25	400
2630	32,240,383	10,065	1,826,003	101	－ 55	42.1%	16	454
2640	25,157,908	13,591	2,405,573	101	28	51.3%	18	691
2650	105,053,947	22,748	4,713,934	599	461	84.9%	50	1,241
2660	90,707,030	24,898	3,791,179	589	287	73.0%	53	1,091
2670	43,080,608	13,950	1,461,300	148	－ 140	36.7%	22	466
2680	40,520,558	14,617	1,763,810	188	－ 201	45.3%	29	723
2690	45,657,048	14,847	1,684,062	182	－ 69	38.3%	25	549
2700	49,449,103	15,219	1,441,932	148	－ 66	25.0%	22	666
2710	44,907,640	13,453	1,739,869	194	137	35.8%	22	648
2720	26,703,152	10,711	962,933	65	－ 221	49.3%	22	430
2730	25,462,459	10,547	754,524	89	35	26.7%	18	296
2740	25,746,888	11,494	1,056,456	113	－ 115	19.9%	15	457
その他	7,000	0	26,096					
合計	1,411,566,281 (注 1)	15,828	58,516,996	6,430 (注 2)	23	46.9% (注 3)	868	21,133 (注 4)

ゾーン 1 A ゾーン 2 ゾーン 3

※太字は、各項目の上位 5 位の地区です。

(注 1) 地区以外からの寄付金は除外しています。地区以外からの寄付金は累計 2,609 万 6,286 円です。

(注 2) 2018 年 7 月～2019 年 6 月に特別寄付をして、米山功労者として表彰された人数です。

(注 3) 2018 年 7 月～2019 年 6 月に特別寄付をしていただいた個人の割合です。

(注 4) 奨学期間中の地区移動や、過去の再応募制度で他地区の奨学生となった人は、それぞれの地区でカウントしています。そのため、実際の奨学生累計数（2 万 1,023 人）を上回っています。

※米山記念奨学事業に関するお問い合わせ・ご意見は、(公財)ロータリー米山記念奨学会まで。

Tel：03-3434-8681 Fax：03-3578-8281 Eメール：mail@rotary-yoneyama.or.jp

特集 米山月間

ロータリー学友とロータリーの懸け橋

ROTARY ALUMNI

ロータリー学友会

第 2660 地区学友会 目指すは知名度の向上

第 2660 地区学友委員会委員長
山本 博之（大阪東 R C）

当地区のロータリー学友会は 2017 年 5 月 13 日に国際ロータリー（R I）加盟認証状伝達式を行い、「日本で最初のロータリー学友会」として正式に発足しました。この式に出席した学



友は 38 人でしたが、現在では約 140 人にまで増えました。その出身プログラムの内訳はローターアクター 66 人、ロータリー財団奨学生 18 人、GSE（研究グループ交換）4 人、米山奨学生 23 人、RYLA（ロータリー青少年指導者養成プログラム）25 人、ローテックス（元青少年交換学生）4 人、インターアクター 2 人で、現在ロータリアンとなった学友も 13 人います。

発足当初はどのような活動をするか手探りの状況で、大阪府立青少年海洋センターでの学友交流会やポリオプラスへの募金活動を兼ねた忘年会などの活動を行っていました。その後、まずはこの生まれたての会をしっかりと組織にしていこうと、春秋年 2 回の総会を行うこと

が定着。さまざまな一般団体の総会と同じように、予算決算、行事、人事などの審議・報告をし、さらに講演会を開催。地区内のロータリアンで著名企業の経営者や、活躍する財団学友に講演してもらいます。懇談会も行われるこの総会にはロータリアンも多数出席し、さまざまなプログラム出身者やロータリアンが一堂に会して懇談できる場はあまりないため、非常に有意義な時間となっています。

ロータリーの地区学友委員会とロータリー学友会の役員が集まる月 1 回の合同会議では、知名度の向上と総会以外の活動について議論、検討を続けています。

（第 2660 地区 大阪府）

ロータリーフェローズ 2650 クロスプロモーションを強化

ロータリーフェローズ 2650 会長
吉岡 毅（奈良 R A C）

第 2650 地区学友会は、2014 年 10 月にロータリー学友の定義が改まったことを受け、ロータリーのあらゆるプログラムの修了者を集めて 2017 年 6 月 28 日に認証された、新しい定義になって全国 2 番目のロータリー学友会です。「ロータリーのプログラムで学んだことを生かし、修了後もロータリーと一緒にプログラムの垣

根を超えてさまざまな活動を実践し、さらに輪を広げていく」ことを目指して活動しています。

この学友会には、インターアクトクラブやローターアクトクラブの出身者、ローテックス、ライラリアン（RYLA セミナー修了者）、米山学友、財団学友など総勢 431 人が在籍しています。学友会の通称は「ロータリー

10月7日を含む1週間はロータリー学友参加推進週間です。ロータリープログラムの学友とのつながりを再び築くことを目的に、ロータリーに学友の参加を呼び掛ける週間です。

ロータリー学友とは、インターアクト、ローターアクト、青少年交換、ロータリー財団奨学金、米山奨学金など、ロータリーのプログラム経験者です。これら学友をつなげ、そしてロータリーとつながる組織としてロータリー学友会が全国で発足しています。

フェローズ2650』ですが、こうした新たな形の学友会は全国に「フェローズ」として広がりを見せています。

活動は多岐にわたり、フォーラムやエクスカージョン、ポリオ根絶募金活動、出身プログラムの運営サポートやPR活動、ロータリークラブの例会や地区大会にも参加しています。昨年度から、学友会の会長・幹事長・会計長を筆頭に、各プログラムの経験者がプログラムごとに担当幹事となる幹事会を結成。現役生、修了生をフォローする体制を整え、月に1度、幹事会を開催し、参加者拡大や各プログラムの理解を深めるための意見交換をしながら主催事業を行っています。

こうした活動により、これまで縦のつながりだったそれぞれのプログラムが大きく横につながりました。例えば、インターアクトクラブを卒業したばかりの18歳の学友から大学教授となった財団学友まで世代を超えた交流が生まれたり、元インターアクターがローターアクトクラブに興味を持つようになったり、青少年交換での派遣先の国とロータリー財団での派遣先の国が一緒、という共通点から新しい関係が生まれるなど、まさに“One Rotary”という形が作られています。

しかし、プログラム修了後に学友会登録につながらなかったり、幹事会として運営に協力してもらう人材の確保と、運営の負担の配分が課題となっています。



ロータリー学友の数は膨大です。ロータリアンから個別に「学友会の会員にならないか？」と声を掛けてもらうことが学友会の人材獲得につながります。一人でも多くの学友に声を掛けていただき、学友会への勧誘をお願いします。

私たちは、ロータリーとの絆をプログラム修了後も継続し、より拡大する組織を目指しています。そのためには、各プログラムで中心となってきた人とプログラム関連の地区委員会が連携しクロスプロモーションを図ることが重要です。将来はこのフェローズが大きな輪になって、全国の学友がロータリアンになることを期待しています。ロータリーの長い歴史に、「学友」という新しい1ページを開ければと思っています。

(第2650地区 福井県・京都府・奈良県・滋賀県)

ロータリーフェローズ2700 心機一転 学友集まれ！！

ロータリーフェローズ2700 委員会委員長
鶴原 敏夫 (大牟田南RC)

第2700地区では、非会員ながらも当地区の各種プログラムに携わった人々をロータリー家族と分類しています。そして、ロータリー活動およびロータリアンとの関わりによって培った経験を共有し、ロータリアンとの交流を通じてロータリー活動への理解をより深めてもら

うため、地区学友会を設立しました。今年度から「ロータリーフェローズ2700委員会」と名称を変更して心機一転がんばろう、と意気込んでいるところです。設立当時はインターアクターやローターアクター、青少年交換学生などの青少年委員会のプログラムのメンバーをメイ

ンとして、メンバー募集を始めました。後にロータリー財団学友、米山学友、R Y L Aセミナー修了者も加わることとなり、現在に至ります。現在の構成員は、元ローターアクトが19人（うち、準会員として現役のローターアクター4人）。さらに、米山学友が26人（うち、現役の米山奨学生が5人）、ロータリー財団学友が1人、ローテックス1人、応援のロータリアン2人の総勢49人です。

ロータリー学友とロータリアンとの絆をロータリー家族として長く継続させていこう、というのがロータリーフェローズ2700委員会の役割です。当委員会の当面の目標は会員を増やすことですが、すでに卒業した学友に連絡を取ることは難しく、まずは現役のロータリープログラム参加者に準会員として登録してもらえよう全力を注ぎます。

例会卓話や奉仕活動の場などに出向き資料などを持



参、多くのロータリアンに協力してもらいながら増員に努めています。加えて地区公共・広報イメージ委員会の力を借り、SNS（ソーシャル・ネットワーク・サービス）などで情報を送受信、今後は年に数回集いの場を設ける予定です。（第2700地区 福岡県・長崎県・佐賀県）

第2780地区学友会 ロータリーの理解を深め合う

第2780地区ロータリー学友
柚木 裕子（かながわ湘南RC）

第2780地区には、RIに登録しているロータリー財団学友会、ローテックス学友会に加えて、元インターアクター、米山学友と4つの学友会があります。ロータリーのプログラムに参加して、新しい道を見いだすことができた恩返しにプログラムをサポートしようと、学友会の活動が始まりました。それぞれ独自の持ち味を生かしつつ各プログラムの委員会をサポートしています。学友会の横のつながりもとても大切に考えており、異なるプログラムの学友が集まって一緒に奉仕活動もしています。

ロータリー財団学友会はオリエンテーション、壮行会

を通じて、新しく奨学生となる学生をサポートし、また、世界で活躍する学友のニーズを調査し、海外への支援活動を続けています。チャリティーコンサートで資金を調達し、これまでインドネシア・アチェの津波被災地へ書棚と図書を送ったり、パレスチナに電子黒板を送ったりしました。

ローテックス学友会は来日・派遣学生のために、茶道、浴衣の着付け、当地区の地域性を生かし小田原でのかまぼこ作りなどのイベントを計画・実施し、帰国学生にはローテックスになるに当たってのオリエンテーションを

学友のロータリークラブ設立15周年

第2780地区ロータリー財団学友会会長
高木 直之（かながわ湘南RC）

私は1996年の帰国以来、財団学友として地区の学友会活動に参加していました。その縁で、2004年12月に設立された、かながわ湘南RCの創立会長となりました。このクラブは、GSE、国際親善奨学金、青少年交換プログラムの学友23人が創立会員と、学友によるロータリークラブとなっています。設立から15年、日本各地に学友を会員とするクラブが発足しています。

学友クラブとしての特徴を生かし、財団奨学生2人、米山奨学生4人、青少年交換学生4人（2人受け入れ、2人スポンサー）など、若者を積極的に支援していま

す。また、フィリピンの3つの学校に井戸の寄贈、ミャンマーでのマイクロクレジット（少額融資）、ネパールでの学校建設支援、地元の聖園子どもの家との交流など、学友だけでは到底かなわない奉仕活動を、ロータリアンや学友と協力して実践しています。

40代の会員が多かったクラブ発足当時、運営には苦労しましたが、今では柔軟性を大いに取り入れ学友のクラブを盛り立てています。こうした学友の人脈と得意分野を生かした奉仕活動を行う機会を提供できれば、学友の奉仕の輪は必ずや「世界をつなぐ」ことでしょう。

開催しています。

インターアクト学友会はインターアクト活動のサポートをしていますが、ローターアクトとして奉仕活動をする学友も増えてきています。米山学友会は米山奨学生と共に毎年海岸清掃活動や国際交流会では各国の食事を紹介、地区大会には自国のお茶とお菓子をサービスして交流を図っています。海岸清掃活動には他のプログラムの学友会にも声を掛けています。

地区大会は全ての学友が集まる場として、新世代交流会を開催、20年続いています。同じテーブルに学友が交じり合い、一つのテーマで討論と発表、ワークショップなどさまざまな手法で、お互いのプログラムの理解と交流を図っています。

全ての学友が集まることで、ロータリーの全体を知り、意見交換をすることで将来について考えることがで



きます。ロータリー家族として、プログラム間の横のつながりによって、元インターアクターやローテックスは将来の夢を語り、米山学友や財団学友はお互いの専門を広げる仲間ができ、ロータリーへの理解を深め合えることができるのです。

(第2780地区 神奈川県)

日本ロータリー学友会 全国組織として活動中

2018 - 20年度日本ロータリー学友会会長
松下 衛 (神戸東RC)

日本ロータリー学友会は、2011年10月30日、東京如水会館で結成総会を行い、初代会長の中牟田久敬氏(第2700地区学友会会長・当時)を中心に、日本各地にあるロータリー財団学友会(以下、財団学友会)の連合組織として誕生しました。財団学友の組織化、拡大、発展、交流の支援、派遣・来日奨学生との親睦、海外の学友会との交流などを目的に活動しています。

ロータリー財団創設100周年を迎えた2016年11月27日、日本ロータリー学友会直前会長の田中栄次郎氏を実行委員長に、現国際連合事務次長の中満泉氏

をはじめ、海外で人道奉仕に当たる財団学友を迎えて記念シンポジウムを開催。当時のRI会長のジョン・F・ジャーム氏、財団学友、ロータリアン、他合計890人もの登録があり、新聞に財団の広告記事を掲載、余剰金はポリオプラス基金、日本UNHCR協会、日本ボランティアセンターへ寄付されました。

当会の運営は、会長以下10人(うちロータリアン7人)の幹事団が担当しています。2017年からは全国総会を行っており、今年は10月26～27日、札幌で開催。第2510地区の財団学友会やロータリアンの協力を得て、素晴らしい交流の機会となるでしょう。





地元の 商店街を元気に

シャッター通りに コミュニティスペース開設

若松RC 小山 洋明

10月は、地域社会の経済発展月間です。地域社会の発展を支援するさまざまなロータリーの活動の中で、閉店した店舗が目立つシャッター通りと化した商店街の活気を取り戻すプロジェクトに取り組むクラブがあります。

若松ロータリークラブ（RC）では、地元・福岡県北九州市の明治町銀天街の閉店した店舗に食堂を開設し、高齢者や子どもたちが集まる「ロータリーコミュニティスペース」を設置。寂しくなった商店街に集いの場という新たな機能をもたらし、地域経済を活気付けようとしています。

寂しくなってしまった商店街をなんとかしたい

子どもの頃、週末になると祭りの縁日のようににぎわっていた商店街へ、家族や友人と出掛けることを楽しみにしていた経験は、皆さんありませんでしたか？ 今ではその商店街も、シャッターの方が目立つようになっているところも少なくありません。地域のコミュニケーションと買い物の場を提供してきた商店街の機能に変化が必要、と私は感じました。

クラブでシャッターを開くプロジェクト始動

そこで、私はシャッター通り商店街を再びにぎわせたいと思いました。さらに、物を売るというだけではなく、高齢者の生活を支援し、コミュニティの再構築ができる場にならないか。世代を超えた交流ができる仕掛けがあり、次世代育成を考えた子育て世代の支援ができないか。

古民家リノベーションに取り組み、明治町銀天街の近隣で居酒屋を営んでいた私が、企画を練り、若松RCや

協同組合若松商連に提案したところ、商連が所有する店舗を1年間無料で貸してもらえることになりました。若松RCが開業資金の3分の1に当たる約120万円を出資し、商店街の他の店と競合しないうどんをメインとした食堂「食^{じょくまる}うどん」を2019年3月、開店させました。

コミュニティスペースを設置

若松RCでは、このコミュニティスペースを利用して、さまざまな年代をターゲットとしたイベントを行っています。地元で注目されつつあるウクレレ奏者や呼んでのウクレレイベント、地元の活性化を目指す各団体の人々を招いた情報共有「ワカモノ・ヨソモノ・バカモノぶっちゃけトークイベント—今このまちがやること—」、子育て中の家族を対象とした、食のお手伝いイベントや親子食事会など、世代を超えた交流の機会を増やしています。

加えて、店舗が元靴店だったこともあり、フットケアトレーナーを招いて高齢者や子ども向けに足と靴につい





でのセミナーを数回開催していますが、これには若松R Cが提唱する若松高校インターアクトクラブ（IAC）の生徒たちも手伝いに来てくれています。このうどん店兼コミュニティスペースを目当てに人々が商店街へ立ち寄る機会を増やしたいと考えています。

地域を良くしていこうとする当事者意識

まだまだ運営には苦勞していますが、店舗の開設時期の前後に、近隣に有名スイーツ店、生活支援事業所、ハンドメイドによる高付加価値のある靴店などが開店し、新しいビジネスが生まれています。今後は、このスペースを含めたいろいろな場所や他の空き店舗などを使って、地元企業や自治体、近隣の大学、地元住民と連携して、高等教育のサテライト教室を開設し、シビックプライド（都市に対する市民の誇り）が高められるような学びの場を提供しようと考えています。地域に活気を取り戻す、地元の人々の高い当事者意識こそが、まちづくりの原点だと感じています。

（第2700地区 福岡県）

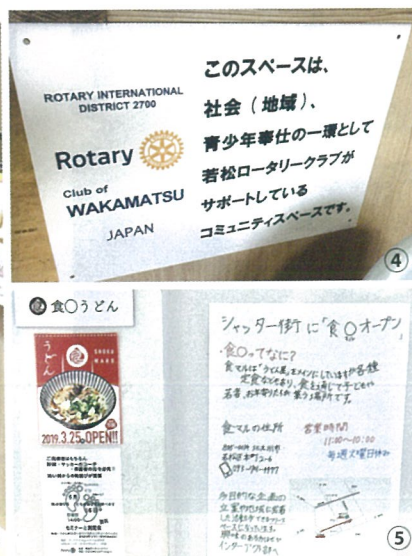
コミュニティスペース利用者の声

久しぶりに笑いました。帰りには自然に涙が出てきました。（70代女性、ウクレレイベント参加）

とても勉強になりました。子どもの足は柔らかく、小さいうちから気をつけてあげないといけないと思いました。（30代男性、フットケアセミナー参加）

インターアクトの活動が少し分かりました。次のプログラミングイベントにも参加したいと思います。（10代男性、若松高校学園祭での若松高校IACによるPRイベント参加）

写真：①ロータリーコミュニティスペースには地域の人たちが集まります ②シャッター通りに店舗を構える「食うどん」 ③地元の人たちを集めてフットケアセミナー ④集いの場にはロータリーの看板が ⑤若松高校IACの生徒が張り紙を手作り ⑥ウクレレイベント ⑦オープンに向けてインターアクターもお手伝い ⑧トークイベント後には懇親会も



『ロータリー日本100年史』の刊行に向けて

あと1年で、日本にロータリークラブができてから100年を迎えます。ロータリー日本100年史編纂（へんさん）室メンバーが、2020—21年中に刊行予定の『ロータリー日本100年史』、そしてロータリーに寄せる思いを語りました。

小林 『ロータリー日本100年史』（以下、『100年史』）の刊行については、ロータリーの友委員会（以下、友委員会）の高野孫左エ門（先代・本男）特別顧問を委員長に、2013年6月30日に「ロータリー日本100年史刊行準備会」として、歴代の国際ロータリー（RI）理事、1980—81年度以降のガバナー代表、友委員会、ロータリー文庫、（公財）ロータリー米山記念奨学会（以下、米山奨学会）の代表者に集まっていたいただき、どのような『100年史』にしたらいのか、また編集上のアイデアについても、それぞれ出席者からのご意見をいただきました。

2015年7月から、刊行準備会を編纂委員会に衣替えして、ロータリー文庫と米山奨学会、東京ロータリークラブ（RC）からも委員を出してもらいました。同時に実務作業を担う編纂室も設置して、以来、委員会や編纂室会議を重ねてここまでやってきました。

それらの検討を経て、『100年史』の構成の大枠が決まりました。まず本誌は、日本におけるロータリー100年を俯瞰した物語「通史」と、それに日本のロータリーの思想的変遷を概観する「ロータリー日本思想の潮流」という論説の2編で1冊にします。別冊は2つあり、別冊1は「100人のロータリアン」、別冊2は「年表・資料」で、これら3つをデジタル媒体に収録したものも制作して、その4つを1セットにして『100年史』にするというものです。

神崎 これまで『ロータリー日本五十年史』、同じく『六十年史』という立派な年史が出ていますので、今回の『100年史』はそれ以降の40年間だけを扱えばよいのかもしれませんが、やはり100年前から振り返って論じてみたいという感じがあります。それは、ロータリー論は絶えず議論をしながら変化してくるものですから、既存

の『五十年史』に比べて、その後の50年間でどのような変化があって、どのように焦点が移動したのかなども、まだ集約されたことはありません。単に各ロータリー年度の事実だけを積み重ねて年史を作るというわけにはいかないということです。

安平 来年に日本のロータリーは100年を迎えますが、100年目に100年史を作るというのは単なるきっかけだろうと思います。『五十年史』『六十年史』があって、その後の40年だけを取り上げるというのでは不十分だろう、日本における100年間の歩みを、思想的な観点、運動論的な観点から振り返って、一度それをきちっとまとめてみるのが100年という機会であろうと思います。

橋本 基本的に同じ立場です。『五十年史』ができた頃は、日本のロータリーも非常に活発で、明るく前向きに成長していたという気がします。残念な



■出席者

ロータリー日本100年史編纂室

神崎 正陳

室長／第2780地区1994—95年度
ガバナー／茅ヶ崎湘南RC

安平 和彦

室長代理／第2680地区2002—03
年度ガバナー／姫路RC

橋本 長平

副室長／第2650地区2007—08年
度ガバナー／京都東RC

小林聡一郎

編纂委員／第2620地区2019—20
年度ガバナー／ノミニ／甲府北RC

100年を振り返って論じてみたい。 単に各ロータリー年度の実事だけを積み重ねて年史を作るとい わけにはいきませんから。

— 神崎 正陳



がら、100年になろうとする現在は、ガラッと変わってしまい、会員歴の浅い人たちの間では、日本のロータリアンが大事にしてきた職業奉仕の「職業」の字すらも出てこない人たちがいるともいわれています。ロータリーのロータリーたる所以を100年を通じて考えていかなければ、日本のロータリーはいずれ衰退すると思います。ロータリーをロータリーとして発展させるための材料になる『100年史』にできたらいいなと思っています。

小林 最初の100年史刊行準備会の時も多くの意見をいただきましたが、その方々がおっしゃったことも全く同じようなことでした。職業奉仕、「決議23-34」は必ず載せてくれ、と。これまでそれらが扱われてきた経緯も載せたらどうかというご意見が、非常に多くありました。

ただ一方では、今のR I的な進め方をロータリーだと考える方もいらっしゃいます。そういう方々は職業奉仕をないがしろにしているのではなく、これまでの歴史を学ぶ機会がないまま、R I的ロータリーをロータリーだと思っているのではないかと。それらが混在しながら進んでいるのが日本のロータリーの今の姿ではないか、と思います。ですから、神崎委員長もおっしゃったように、その点をどのように見ていくのが、この『100年史』の大きな分岐点になってきます。

日本における100年の物語は郵野継雄さんというプロのライターに執筆

をお願いしています。ロータリーをよく勉強しながら書いておられますが、実に多くの時間と労力をかけ、大変な作業をしてくださっています。

橋本 私はこれまでにでき上がった通史原稿を読ませてもらい、非常に立体的に書かれていると思いました。ロータリーができてからの歴史と日本のロータリーの関わりについて、よく分かるような内容になっていると思います。これは私の反省なのですが、日本のロータリーとR Iとは別々のもののように思うところがあり、その辺で自分の中に齟齬が生じてきたのかもしれないと思いました。今書いていただいている限りでは、そこを立体的に捉えていて、「日本のロータリーには、ロ



ロータリーのロータリーたる所以をこれまでの100年を通じて考えていかなければ、日本のロータリーはいずれ衰退すると思います。

— 橋本 長平

ータリーの本来の基盤を受け入れる要素があったんだな」ということがよく分かるようになりました。このまま続ければ、最終的には、非常に価値あるものになると期待しています。

小林 もう一つの、神崎委員長執筆の「思想の潮流」は日本の思想的な流

れについての論考ですが、現在ほぼ9割方でき上がっている様子です。大変ご苦労されてお書きいただきましたが、ご自身ではまだ不満な部分が何カ所あるようですね。

神崎 いや、私の考えは書いたつもりなのですが、いろんな面から見ると、あっちが足りない、こっちがおかしいというような問題が出てきて、何人かにご意見を伺ったりしているのです。日本のロータリーと世界のロータリーとの間に、現実はどういう違いが具体的にしているのかというの、人によって考え方が違うと思うんですね。その分析もある程度しないといけないだろうし。

日本のロータリーといっても、50年史を作った時代は、戦後のロータリアンが、ロータリーに復帰という夢に浮かされていて、復帰できた時はもう極めてうれしかったんだろうと思うんですね。だからロータリー命みたいにロータリー運動に参加して、一生懸命に進めた。こういうエネルギーは、後半の50年、つまり100年史の大きな部分のロータリアンには、ほとんど

ないだろうと思うんです。これをそのままにしておいていいのか、これから先のことをどう位置付けていくのがいいのか、などということを考えていくと、迷ってしまうのですよ。何とか格好をつけて、次の代に向けて何らかの問題点を指摘する程度のことではなければならぬだろうと思います。

座談会『100年史』編纂の現場から

橋本 今のお話のように、戦後復帰する時のロータリアンは、そこに既に存在していたアメリカを中心とするロータリーに非常に高い理想を見いだし、入会したがっていたのではないのでしょうか。ところが現在は、ロータリーに入りたいという意欲がなくなってしまった。この差ですね。「よかった！　うれしい！」、私は入っていた

な考えを述べてきたのだと思います。そして「ロータリーと人生」、人生はどうあるべきかということについてもロータリーを論じてきたと思います。ロータリアンがいろいろなことを言って、それぞれがモザイクのようになって、全体として輝いているんだということなのでしょう。

日本のロータリーも人生論を論じて

会奉仕は、大きいものをするのではなくて、個人個人でも担えること、それを集めてやることで構わないのです。米山奨学会は、一人一人が1人の奨学生の面倒をみることで成り立つ取り組みですから、個々の人間に焦点を当てたやり方とすれば、非常にロータリー的です。

小林 次に別冊の「100人のロータリアン」と、その別冊に入れる論稿について話を進めましょう。

安平 これは、ロータリアン100人を取り上げようという、非常にいい発想だったと思います。日本においてもさまざまな人が、それぞれにロータリーの理念や哲学を広めるような活動をしてきたと思います。それぞれのロータリアンのそういう業績や人となりを取り上げる。その100人をそういうふうに取り上げることによって、日本のロータリー運動の歩みが凝縮されて出てくることになります。ただ、100人に絞るのが大変でしたね。

小林 本当にそうでしたね。これまでの100年の間に活躍された方々ですから、100人で収めることが難しかったです。でも100周年で100人と初めから決めていましたから。

安平 そう決めなければ際限がなくなりますからね。結局160人の候補者が出て、それを100人に絞らなければいけないということで、推薦地区にもご無理をお願いして、泣く泣く断念してもらった人も多くいらっしゃいました。地区推薦の方々の原稿は地区にお願いしましたが、この人がこんなことをなさっていたのか、と改めて感じながら原稿を読ませていただきました。

小林 そもそもどうして「100人のロータリアン」にしたのかということですが、日本における奉仕理念の提唱を、この『100年史』でどのように扱っていけばよいのかを迷っていた時期が

日本のロータリアンは、けっこう人生哲学的なことをずっとやってきたのですが、最近は、あまり言わなくなりました。

— 安平 和彦



だいたいにそう思いましたが、今の人は「入ってやった。だから嫌なら出ていきます」と。その差は何でしょう。やはりロータリーの魅力は何かということに帰ってきます。

ロータリーの哲学などがきちっと理解されて、運動が続いていかない限り、しまいには単なる人の集まりに陥ってしまうのではないかと思います。その辺を表現できたら、読みごたえある原稿になると思います。

神崎 敗戦後のロータリアンは幸せだったのではないかと、夢が実現したような気持ちでロータリー活動に集中してきたのではないかと思います。本来の正統的なロータリーに対して、日本のロータリーがどのように違った運動形態をとって、どこに特色があり、どこに欠点があるのかということも、議論されたことがありません。そういう論点はいろいろあるのだけれども。

安平 1959 - 60年度RI会長のハロルド・トーマスが「ロータリーはモザイクだ」と言いました。もともとロータリーでは、いろいろな人がいろいろ

いて、その中で職業奉仕論を一生懸命追求してきたのだと思うのですが、最近はあまり言わなくなった。「ロータリーとは何か」。「決議23 - 34」には「ロータリーは、基本的には、一つの人生哲学である」とあり、それが一つの到達点になっていると思うのですが、そこでRIは止まってしまった。それに対して日本のロータリアンは、けっこう人生哲学的なことをずっとやってきたのですが、最近は、あまり言わなくなりました。その意味で「思想の潮流」に期待しているんです。

神崎 今のRIが言っていることをよく理解できないのですよ。ロータリー運動を企業論理で推し進めているように思うし、効率的な運営、資金力による活動など、あたかも大企業としての論理で考えているような感じがするんですね。

橋本 本来のロータリーの考え方は、ロータリアン個々人の生き方のことで、その会員が最大の力を発揮できるように持っていくという考え方だったと思います。もともとロータリーの社

「100人のロータリアン」は、広がりを持って職業奉仕的な考え方、生き方に行き着くのではないかと思います。

— 小林聡一郎



ありました。そんなことを『友』理事会で報告した際に、ある顧問が私に「列伝という方法がありますね」と言ってくださった。「そうか、皆さんに語ってもらえばいいんだ」と。これまで活躍されてきたロータリアンは広がりを持って職業奉仕・社会奉仕に行き着くだろうから、お一人お一人のを取り上げていけば、結果として日本における奉仕理念の提唱を語ることになると思いました。

橋本 『五十年史』『六十年史』ではこういう取り上げ方はしていないので、新しい取り上げ方としてとてもよかったと思うのですが、ただ100人に絞る過程で、各地区には素晴らしいロータリアンがもっともったいたんじゃないかなと感じました。各地区で記念誌などを作る時に、そういう方々を取り上げてくれるとよいと思います。

小林 ロータリーを体現された100人の生き方を通して、私たちが学ぶことは本当にたくさんありますね。地区においてもこのような取り上げ方がされるとよいと思いました。しかし、これだけでは日本における職業奉仕の全てを表現しきれないのではないかと思います。思いもあって、「100人のロータリアン」の紹介の後に、日本におけるこれまでの論稿の中から、幾つかを選んで一緒に掲載しようと、委員会で決まいただきました。時間的な経過を追いながらの7人になったわけですが、その辺の経緯も含めてお話しください。

安平 日本のロータリーの中には、と

りわけ職業奉仕論などについての素晴らしい論者がいたわけで、その方々の論稿を掲載しようということになりました。その中ではやはり米山梅吉さんは外すわけにいかないの、その他の方は、ご意見があるかもしれませんが、委員会で選ばせていただいたということです。

神崎 委員会での議論を経て7人の方を選ばせていただきました。米山梅吉、小堀憲助、佐藤千壽、高野孫左エ門、深川純一、橋本長平、本田博己の各氏です。新たにお書きくださった原稿もあれば、物故された方は、これまでお出しになった論稿の中から委員会で選んで、掲載させていただきたいと思っています。

小林 「別冊2」は、「年表・資料」ということで、今その年表を作っていますね。

安平 年表は一つ一つの事柄を網羅するということですが、その事柄を追うことによってロータリーの思想の流れ、運動の流れが浮き出てくるものだと思います。特に今回は規定審議会の歴史をまとめて掲載する準備をしていますが、それらを見てくると、RIの向かっている方向がその中におのずと浮き出てきますので、貴重な資料になるのではないかと思います。

小林 日本における地区の変遷も、歴史的な事実の資料ということで掲載します。また、歴代ガバナーの名簿も、ガバナー会から提供いただき掲載したいと思っています。

これまでの歩みの上に今日があることを肝に銘じて編集すると同時に、『100年史』は過去の集積ばかりではなく、将来を見据えて編集されなければならないと思っています。

時間が尽きました。ありがとうございました。

Annotation

決議 23 - 34

「社会奉仕に関する1923年の声明(1923 Statement on Community Service)」のこと。この声明の歴史的な位置から、『手続要覧』に記載されています。1923年のアメリカ・セントルイス国際大会で採択され、以後の国際大会で改正されています。全文(日本語・英語)は、ロータリーの友ウェブサイト(www.rotary-no-tomo.jp)に掲載しています。

ハロルド・トーマス (1891 ~ 1992)

『ロータリー・モザイク』の著者として知られるニュージーランドのロータリアン。この本はロータリーにおける奉仕を語る本として、広く読まれてきました。

米山 梅吉 (1868 ~ 1946)

日本のロータリーの創始者。1920年10月、東京RCを創立し会長に就任。今月号表紙解説(横組みP54)を参照。

小堀 憲助 (1926 ~ 2017)

中央大学法学部卒業後、母校で教鞭を執り、そのゼミからは多くのロータリーについての論客が育った。

佐藤 千壽 (1918 ~ 2008)

1974 - 75年度第2580地区ガバナー。『ロータリーは人を作る』など、自らの己が職業を通じてのロータリー論を深く広く展開する著書多数。

高野孫左エ門 (1924 ~ 2014)

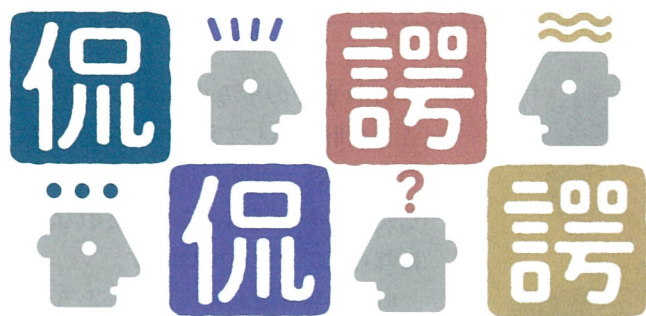
1982 - 83年度第2620地区ガバナー。地区内外でロータリーの諸役に就き、終生ロータリアンとして生きた。

深川 純一 (1930 ~ 2019)

1990 - 91年度第2680地区ガバナー。弁護士。ロータリーを倫理運動として捉え歴史に学び、職業倫理を大切にした。

本田 博己 (1950 ~)

2013 - 14年度第2840地区ガバナー。日本のロータリー100周年実行委員会ビジョン策定委員会委員長。



**約 10 年前から服装自由。
スーツ・ネクタイは海外では
違和感がありました**

海南東 R C 寺下 卓

所属する海南東ロータリークラブ (R C) は、あらかじめ指定された例会以外は「服装自由」です。私の入会当時はジャケット、ロータリーバッジ着用が必須でしたが、国際大会や海外の例会に出席した時など、スーツにネクタイ姿は私たちだけで、とても違和感がありました。

多様な職業を持つロータリアンです。作業現場からでも出席しやすいように、約 10 年前から「服装自由」にしました。当初は改まった服装でいらっしゃるビジターのことを考慮し、受付で説明を表示しました。今では定着し、現代の感覚で良いと思います。

公共イメージを広め、認知度向上も図りながら、ロータリークラブは変わりつつあります。ロータリアンは特別な存在ではなく、市民感覚で、誰もが入会できるクラブです。

(第 2640 地区 和歌山県)



**「スーツじゃないと怒られる」
誰にでしょうか？」**

大阪西南 R C 吹田 康雄

大阪西南 R C でもご多分に漏れず、やはり男性は大方スーツ着用となっております。中にはブレザーという方もおられますが……。

先日、ある会員から例会当日に連絡があり、「例会出席がギリギリになりそうなんだけど、作業着で出席は駄目かな？」という質問があり、その後「やはり、スーツじゃないと怒られそうなので、欠席します」と再度連絡がありました。

怒られる？ 誰にでしょうか？ 私の主観ですが、その方はいつも例会でスーツを着用されているのだし、時

あるテーマを基にご意見を交換する新コーナー。「他のクラブはどうしているんだろう」「これって、ロータリーの常識なの？」といった素朴な疑問を、いま一度「侃侃諤諤 (遠慮することなく議論)」しませんか？

間がなく、まして仕事先からの出席なのだから問題なしだと思います。会員の中には、クリエイターという仕事柄、動きやすい私服で来られる人もいます。それはそれで例会の雰囲気壊すことのない感じで、私は問題なしだと思います。

「一人一人の多様性を重視して」ということをよく耳にしますが、これからは変化に順応していかなければならないと思います。当クラブには女性会員が全会員の 4 分の 1 (28 人) 在籍しており、例会場にメイクアップで来られる他クラブの会員には「バラエティーに富んでいて良いですね！」とよく言われます (ぜひとも、一度例会にお越しください)。

服装というテーマ、あまり気にはしておりませんでした。よくよく考えると……。一度、クラブ内でベテラン会員や新会員の皆さんからいろいろな意見を聞きたいなあと感じました。

(第 2660 地区 大阪府)



**長老の言葉が忘れられず……
「週一日くらいはネクタイを
締めてキリッとした生活を」**

東京保谷 R C 田中 界治

45 年前の入会当時、例会の服装は「ネクタイ、スーツ、左胸にロータリーバッジ」と指示された。オイルショックにおよび、真夏の盛りには「上着なし、半袖ワイシャツでもネクタイは必ず着用」と長老ロータリアンに言われた。当然、作業着での出席はご法度という不文律で、S A A (会場監督) の目が光っていた。

翻って現今では、総理大臣のクールビズ姿に影響されてか、例会でのドレスコードは無きに等しい。しかし、いまだに作業着姿の訪問ロータリアンの来訪は、覚えがない。

新会員には、他クラブ訪問や地区大会など対外的なロータリーの会合に出席するとき、またガバナー公式訪問を迎えるときは、ネクタイとスーツ、加えてロータリーバッジを忘れないようにと勧めている。ただし、クール



侃侃諤諤①

例会の服装、どうしていますか？

「必ずスーツ」？「忙しいときは作業着でもOK」？ 会員の皆さまに自クラブの事例、ご意見をうかがいました。

ビズなるものが出現してからは、ノーネクタイで上着着用が主流になり、場合によっては上着なしもバッジなしも可能ということになった。が、これだとロータリアン以外の人との区別が全くつかなくなった。

入会して間もない頃、長老ロータリアンに「1週間に1日くらいは、ネクタイを締めてキリッとした生活が理想で、それこそ例会だ」と教えられたのが忘れられず、今日に至っている。

わがクラブには、SAA直属の「お手付きボックス」があり、遅刻、早退、バッジ忘れなどには寸志を入れていた。近頃では略装が当然となり、入金は少なくなりつつある。時の流れに合致して良いと思うし、あえて異議を挟むつもりはない。まさしく現代流行語の「多様性 (diversity) の時代」であり、ロータリーも例外ではないと思うが、どうであろうか。 (第2580地区 東京都)

基本はスーツ。汚れる作業服で参加するのは躊躇します

富山RC 木本 誠



私は例会出席の際は、基本的にスーツで参加しています。就業中は作業服ですが、現場作業にも着ていくので、さすがに汚れてしまう作業服で例会に参加するのは躊躇します。

私の所属する富山RCでは、他の皆さんもスーツで参加しています。ただ、夜間例会や特別な例会には、和服で参加される会員もいます。

特にスーツで参加しなければいけない、ということはないと思いますが、「ロータリーバッジは着けよう」という声 (特にベテランの会員から) 出てきています。

(第2610地区 富山県)

「仕事の時の格好のまま出席する例会」があっても面白いかも

門司西RC 浦山 隆行



私のクラブでは、明文化された規定はありませんが、制服や作業着も一応OKだそうです。男性はスーツの上下で来る人もいますが、ワイシャツ・ネクタイ・スラックスにジャケットを羽織ったスーツ姿より、多少ラフな服装の人が多いです。男性は定番の服装に従っておけばそう問題はないでしょうが、女性は大変だろうと思います。明確にこうしておけばよい、というものはありませんから。夏の家族納涼例会では服装自由、アロハシャツもOKということもあります。

やはり、例会場がどこにあるかによっても服装は左右されそうな気がします。さすがに格式の高いホテルにラフな格好では浮いてしまうでしょうから。私のクラブの例会場もホテルですが、幸い、そこまで気を使う必要はなさそうな雰囲気です。

昼例会なら、仕事をしてから例会に行き、帰ってまた仕事をするようになりますから、仕事着で行ける方が合理的ですね。ただ実際には、制服や作業着を着てくる人はめったにいません。

夏季はクールビズOKとなります。ノージャケット・ノーネクタイですが、ジャケットは着る人が多いですね。私は暑がりなのでジャケットは着ませんが、ネクタイは締めます。仕事でもロータリーでも、ネクタイを締めないと、なんだか気合が入らないような気がして。

個人的には、年に1回ぐらい「仕事の時の格好のまま出席する例会」というのがあると面白いと思います。皆さんがどんな姿で仕事をしているか、興味があります。もちろん、例会時と同じ格好で仕事をする方が多いでしょうが、各所属団体の制服、作業着、白衣、袈裟など、いつもとちょっと違った会員の姿が見られるかもしれません。

ロータリーバッジは絶対忘れないように、会社、自宅、



かばんの中にそれぞれそろえています。夏にワイシャツ姿になってもいいように、マグネット式やクリップ式のものも複数準備しています。地区大会などで出店されている店で新製品を見かけると、つい買ってしまいます。

例会時はもちろん、外でも常にロータリーバッジを着けているロータリアンもいるようです。私は会場を出ると外していますが、うっかり着けたまま忘れて他の会合に出席したところ、他の出席者の方から「ああ、あなたもロータリーに入られているんですね。私もです」と、そこから話が広がったこともあります。

余談ですが、ネームプレートは、お互い知っている者同士だと不要ですが、新人のうちは、名前と顔を覚えるためには非常にありがたかったです。またメイクアップで他クラブを訪問した時も、ネームプレートは助かります。入会直後のことですが、うっかり着けたまま電車に乗り、胸元に視線を感じて下を見たら……という恥ずかしい失敗もありました。

(第2700地区 福岡県)



**都心のオフィス街が例会場。
ジャケット着用が大半です
が、個人の自由でよいのでは**

東京赤坂R C 西澤 民夫

東京赤坂R Cは創立33年が経過、例会は金曜日の昼にANAインターコンチネンタルホテル東京で行っています。会員の構成は80代1人、70・60・50・40代が各10人以上、30代が5人と、世代間のバランスが取れています。年齢の違いで服装が異なるという傾向は見られません。

週末前の金曜日なので、心ウキウキ、浮かれがちで、服装も派手になりがちですが、当クラブはそうはなりません。ドレスコードというものは目にしたことはありませんが、常識人がそろっているからでしょうか？ 会員は自らクラブの品格の維持に努めているように感じます。夏はノーネクタイが多くなりますが、ジャケット着用が大半です。女性もまた、落ち着いた感じを心掛けて

いるようです。東京赤坂地区はオフィス街・商業地域なので、近くに自宅のある人は少なく、電車で例会場に来る人が多いので、人目に触れる服装は気になるのかもしれない。

昨年、アメリカ・シリコンバレーのサンタクララR Cを訪問した時は、会長を含め数人の会員はネクタイ、ジャケットでしたが、70～80人いた会員はラフな格好で、とてもリラックスしてロータリーを楽しんでいる様子でした。日本でも、地方のロータリークラブはそうなのかもしれませんが、都市型ロータリークラブも、サンタクララR Cのようなラフな格好でも良しとしますか？

私自身はそれぞれ個人の自由で良いのではないかと思います。皆さんはいかがでしょう？

(第2750地区 東京都)



創立会員の私見……

横浜中R C 田代信太郎

わがクラブの例会場は大変恵まれている。横浜の名門クラシックホテル「ホテルニューグランド」である。しかも、歴史の重みを十分感じさせる、和洋折衷のフェニックスルームなのである。この立派な場所を例会場として使用しているのだから、当然スーツ、ネクタイ着用であるべきである。

ところが1997年に採択された京都議定書で、2008～12年の間に温室効果ガス排出削減の目標が定められたこともあり、二酸化炭素の排出量を抑え、地球温暖化抑制のキャンペーンが盛んになった。夏場に電気を多量に使うエアコンの温度を調節することが推奨され、そこに、ネクタイと上着なしのシャツだけで仕事をしようという「クールビズ」の運動が進められた。

わがクラブでも、夏の暑い期間の例会は「クールビズ」でいこう、ということがその頃から決まった。ただ、その適用期間は年度の方針で、延びたり縮んだりしていた



ようだ。

確かに、午前中は職場で仕事着やワイシャツで仕事をして、例会時には上着とネクタイを着用せよ、というのはいささかきついのだ。

私もクールビズには大賛成！ であり、大歓迎！ である。しかし、冒頭の理由により「上着着用、ネクタイ外し」までが限度であり、シャツ姿の出席はダメである。それにしても、服装の幅が広い女性会員はうらやましい。

(第 2590 地区 神奈川県)

昔はロータリーバッジを忘れたら先輩から怒られました。会長から言うのがいいのでは

帯広北RC 石岡 幸雄



当クラブの服装に関する現状は、基本的にはスーツ着用です。ただし、建設業の会員の作業着での出席は、あくまでも仕事着という意味で認められています。私服はNGです。

昔は、ロータリーバッジを忘れたら先輩から怒られたものですが、最近では、それを指摘する人がなくなったのが、少し寂しい気もします。細かいことを言って会員から嫌われたくない、という先輩の気持ちも分かりますので、当年度の会長が言うのがいいと思います。当クラブではその年度の会長の思いで、60 分の例会中、禁煙になる年度もあります。

(第 2500 地区 北海道)

夏場を乗り切るには、「かりゆしウェア」が持ってこいですよ

那覇西RC 豊村 良春



所属する那覇西RCでは、例会の服装は基本的には本人任せである。スーツやジャケットはもちろんのこと、時には、仕事現場などから直行の場合の作業着でも構わ

ず、ロータリアンとして見苦しくさえなければ、特に規定などは設けていない。

平均気温が 20 度を超える月が 8 カ月も続くここ沖縄では、4 月から 11 月まで「かりゆしウェア着用奨励月間」となっており、期間中は県知事を筆頭に市町村職員、議員、銀行員、それにテレビ局のキャスターやリポーターなど、県民は大方かりゆしウェアを着用している。アロハシャツのように、半袖で軽く、風通しも良く、それにノーネクタイで楽に、気軽に着ることができ、生地や色、デザインも豊富にあり、沖縄の酷暑の夏場を乗り切るにはもってこいで、かなり人気が高い。

従って、夏場の例会は全員かりゆしウェア姿であり、同じ第 2580 地区の東京のメンバーの間でも、大会や研修会、周年事業、イベントなどで沖縄を訪れる際は、かりゆしウェアを着て参加する方が増えている。

また、私のクラブの会員には、「スーツはないのか？」と尋ねられるほどに、1～2 月を含め、年中愛用している名物男もいる。

(第 2580 地区 沖縄県)

編集部より

「例会の服装」へのご意見をお寄せください

「侃侃諤諤」、いよいよスタート！ 年々厳しくなる猛暑やクールビズの浸透もあるのでしょうか、「絶対にスーツ、ネクタイ着用で」というクラブの事例は、今回お寄せいただいた中にはあまり見受けられませんでした。皆さまのクラブはいかがでしょうか、事例・ご意見をお寄せ下さい。

次回テーマは、**例会の席について**

次回テーマは「例会の席は固定派？ それともシャッフル派？」です(600 字以内、10 月 21 日締切)。クラブの事例・ご意見、工夫や失敗例、お悩みなどもお寄せください(詳細は横組み P 56 をご参照ください)。

こちらから記入用紙(PDF)をダウンロードできます！





ポリオサバイバーとして ロータリアンとして



第 2770 地区ガバナー 小林 操 (越谷北 R C)

ポリオに罹患して

ロータリー生活の中、自分自身がポリオ（小児まひ）サバイバーであり、いつかは自分の思いを行動に移せれば、と思ってきた私にとって、地区のリーダーになって、いよいよその機会をいただけたことは本当にありがたいことです。

ロータリーは、世界ポリオ根絶推進活動（GPEI）を中心に、三〇余年にわたってポリオ根絶活動を行ってきました。その実績は、世界で数十万件だった野生株の症例数が今では 2 桁に減り、しかもポリオ常在国が世界で 2 カ国になるところまできたことに示されています。長引く根絶活動から、ロータリアンの中には「根絶は無理」「他にプログラムがある」といった意見もありましたが、世界への約束は必ず守る、という信念の下、私たちは粘り強く活動を続けています。

ポリオは、今では紛争地域に残る感染症という感覚ですが、ワクチン投与が広まる以前は、日本でも多くの人が感染していました。まず安価な経口ワクチンを広めることによって野生株ウイルスを根絶し、不活化ワクチンに移行するのが世界の流れです。日本では既に不活化ワクチンによる予防が行われています。

私が罹患した 1955（昭和 30）年当時、実家は東京都世田谷でしたが、まだ井戸水を飲んでいました。後から考えると、井戸水から感染したのは確かなようです。家の周りでは既に水道が普及していましたが、井戸水で不自由がなかったのが、ポリオ感染の原因となってしまったのです。

ポリオに罹患すると、普通の夏風邪のような症状の後、突然、しびれや痛みが発生し、手足にまひを残す

のが特徴です。当時、同じ病院には鉄の肺（人工呼吸装置）も置かれていて、亡くなった方もいたようです。

今日のようにポリオの症状が認知されていなかった当時、また現在においても、紛争地域などで子どもがポリオに罹患した親の嘆き、不安、失望は想像に絶するものがあります。私の母も同じ思いだったようです。

子を罹患させてしまった母の苦しみ

以下は、母が残した手記（小林絹子著『強く明るく生きよ —— わが子に寄せる愛の手記 ——』）からの抜粋です。

7 月 21 日、前日よりやや回復したようなので、操にとって初めての終業式を欠席したため、近所にある受持の E 先生のお宅に共にあいさつに行きました。

子どもたちが待ちかねた夏休みに入り、毎日ギリギリ照る日ざし、連日のように 30 度を超す暑さに、早く海へ連れてってとせびりだします。一時の心配もやっと薄らぎ、初めて暑さに気がついた 22 日の夕方、庭でセミ取りをしていた操が「おかあちゃん、ここがチリチリするんだよ」といいながら、差し出す左手の甲を見てもなんの変わり



ロータリーのポリオ根絶活動

10 月 24 日は

世界ポリオデー

小林操氏プロフィール

職業分類：税理士

1948年11月5日生まれ。
小林操税理士事務所所長。
88年に越谷北RC入会、今年度ガバナー。小学生だった55年、ポリオに罹患。

写真左下＝おいしそうに給食を食べる小林少年。右＝まひを抱えながらも卓球に励む



もないので「なんでもないわよ」と大して気に留めなかったのかつさ。

翌朝またまた9度6分と発熱。夕方水を求めるのでコップを持たせようとする、左手が動かないという。おもわず主人と顔を見合わせても、まさか恐ろしい「小児マヒ」とは夢にも考えません。医師も口に出してはいわず、日ごろ医学の本を見ては参考にしていた私も、後になってその本を見てなんとその経過の似ていることか。どうして早く気がつかなかったのかと医師をうらみ、自分を責め、すべてをうらんでとりみだしました。マヒのくる前に、吐き気があり、鼻血を何回となく出し、下痢もし、そしてマヒがきてからは左肩関節が痛いといって夜中泣き続けたのに、ただおろおろとしてさすだけしか私にはできませんでした。

医師から「小児マヒだったらあきらめてください」と無情にも宣告された時の驚き。暑さのためばかりでなく、なんとなくだるかった私の体が、カーッとのおぼせて思わず冷たい医師の顔をにらみ、大声で叫びたくなっているのに口がきけず、

胸ばかり苦しくなって倒れてしまいました。なんと弱い母だったのでしょうか。それから3日も痛がる操の腕をさすりさすり一緒に熱を出して寝てしまったのです。

根絶への思いを、ロータリー活動に

私自身と母の経験を踏まえ、根絶に向ける思いを具体的にロータリー活動で表すため、第2770地区では、全74クラブが10月24日の世界ポリオデーでイベントを開催し、世界と地域社会にポリオ根絶をアピールします。このインパクトはSNS（会員制交流サイト）、メディアを通じ拡散できることは確かです。地域社会の皆さんがポリオを理解し、根絶が実現すれば、天然痘以来2例目の感染症の根絶となります。

皆さんにもう一度ポリオについて考え、理解して、最後の最後、根絶を達成する意義について考えていただきたいと思います。

人類が一步一步困難を乗り越え、将来、あらゆる感染症に打ち勝つ時が来ることを、心から願っています。

(埼玉県)

世界ポリオデーに特別プログラムをネット配信

国際ロータリー（RI）は世界ポリオデーに、世界各地の時間帯に合わせ、ポリオ根絶活動の最新情報を紹介する特別なプログラムをネット配信します。今年のプログラムでは、ポリオ常在国や近年に感染が報告された国でポリオ根絶に尽力する方々のストーリーを紹介します。

www.facebook.com/rotaryjapan

日本語字幕付きです。ご覧いただける方は早速、フェイスブックのイベントページから「参加予定」をクリックしてください。詳しくは上記、RI公式フェイスブックページをご覧ください。

ポーランド

アメリカ

ニカラグア

ガーナ

マレーシア

世界中で活躍
「世界を変える行動人」

People of action around the globe

ニカラグア

政争に引き裂かれた国を一つにするために、シウダーサンディノ・ロータリークラブ（RC）と、同クラブが提唱するヌエバビダ・ロータリー地域社会共同隊が、平和構築ワークショップを行い、市民間の対話を促しました。ワークショップは3日間にわたって開催され、訓練を受けたモデレーター（司会者）が進行を務めました。開催費用はわずか250ドル（約3万円）。「ユーモアのセンスと独創性を生かして平和的に紛争を解決した体験談を、ファシリテーター（まとめ役）が話してくれました」とクラブ会員のベッカ・モハリー・レンクさんは言います。ロータリークラブとロータリー地域社会共同隊から参加した25人は、平和構築のための戦略を強化するためのゲームを行い、個人的に共感が生かされた実例を挙げ、話し合いました。

アメリカ

ワシントン州マーサーアイランドRC会員のグレッグ・アシマコウプーロスは、毎年のクラブ主催チャリティーハーフマラソンの日、自分が主任牧師を務めていた教会の正門前を駆け抜けていく参加者たちを見守っています。2010年には、開催日の午前中に予定されていた礼拝を取りやめ、ハーフマラソンへの参加を信徒に呼び掛けました。すると信徒300人のうち、約200人が参加。2013年に老人ホームの牧師に就任した際にも、入居者たちにハーフマラソンへの支援を呼び掛けました。「宗教団体とロータリーが大義のために協力できる」ことの証しだと言います。

ガーナ

首都アクラ近辺のロータリアンとローターアクターが、ギニア湾の海岸線で清掃キャンペーンを行いました。アクラスピンテックスRC、テマメリディアンRC、テマサクモノRCは、5年にわたってリージョナル・マリタイム大学ローターアクトクラブと協力し、アクラから28km東にあるテマまでの沿岸でごみ拾いを行ってきました。4月には何十人ものボランティアがサクモノビーチに集結。「このビーチでは魚よりもごみの方がよく獲れることもある」と地元の漁師は言います。地球に優しく、漁師の助けになるだけでなく、この地域の観光地としての魅力も高めてくれる、とアクラスピンテックスRC会員のプロスパー・エデム・アメボルツィエさんは言います。

約30万人のニカラグア人が隣国コスタリカの永住者です。



ポーランド

胎児性アルコール・スペクトラム障害（FASD、妊娠中の母親のアルコール摂取による胎児の障害）の危険を学ぶ教育プログラムの資金調達のために、ワルシャワジョリボルシェRCは年に1度ジャズコンサートを開いています。2019年のコンサートでは、高名なポーランド人ジャズ歌手で作曲家、バイオリニストのドロタ・ミシキェヴィチさんが主奏者を務めました。

ポーランド政府の研究者によると、ポーランドでは、少なくとも50人に1人の子どもがFASDの症状があるそうです。この問題に取り組むために、同RCは女性に妊娠中のアルコール摂取のリスクを教えるプログラムを立ち上げました。9月9日の国際FASD啓発デーには、パンフレットを配り公開イベントを実施。この推進計画についての同クラブのフェイスブックページは、同様のプログラムで見過ごされることの多い、高学歴で職業に携わる女性を対象としています。

「FASDという問題は、私たちにとって非常に身近です。というのは、私たちのクラブは地元の児童養護施設といつも活動しているからです。クラブ会員は、この影響を目の当たりにしています」と同クラブ会員のアニア・マルコフスカ・ケラーさん。2014年の研究によると、ポーランドでは、FASDの中でも最も重篤で難治性の胎児性アルコール症候群の症状のある子どもが毎年約900人生まれてくるといいます。

マレーシアに約1,200種の
チョウがいます。サバ州固有
種の鳥は33種です。

マレーシア

2015年6月、ボルネオをマグニチュード6の地震が襲いました。コタキナバルRCは、数カ月間キナバル山が閉鎖されたため、収入が激減した地元の山岳ガイドの支援に動きました。そこで同クラブは昆虫学者で、希少なキナバルトリバネアゲハの愛好家である、会員のステファン・サットンさんを中心にして、10人の地元の観光ガイドに対し、鳥類学と昆虫学の研修を行いました。第1回「サバ・子どもたちのための鳥とチョウのフェスティバル」を開き、自宅に旅行客を受け入れている地元住民に鳥とチョウについての講義を行いました。クラブは持続可能なエコツーリズム産業を育てたいと考えています。

-BRAD WEBBER



第7回

Japan-Taiwan Good-Will
Conference in Fukuoka



日台ロータリー親善会議 福岡大会

2020年3月6日(金)

会場 ホテルニューオータニ博多



「日台ロータリー親善会議」は、日本と台湾のロータリークラブの親善友好を目的とした会合です。2008年に第1回大会が東京で開催されて以来、日本と台湾で交互に開催し、ロータリアンの親善交流が深められています。

今回の第7回大会は、福岡県（第2700地区）にて開催します。伝統芸能や歴史・文化、美食と美酒など、多彩な魅力を満喫していただけるよう、準備しています。クラブで取りまとめの上、地区ガバナー事務所経由でお申し込みください。お問い合わせは下記、大会実行委員会事務局までお願いします。多くのロータリアンの参加をお待ちしています。



日台ロータリー親善会議総裁 大島 英二
日台ロータリー親善会議議長 新本 博司
(2019 - 20 年度第 2580 地区ガバナー)

第7回日台ロータリー親善会議福岡大会実行委員長 灘谷 和徳
(2019 - 20 年度第 2700 地区ガバナー)

第7回日台ロータリー親善会議福岡大会実行委員会事務総長 倉重 一男

■ 開催概要

名称	第7回日台ロータリー親善会議福岡大会
日時	2020年3月6日(金)
場所	ホテルニューオータニ博多
内容	式典、記念講演、懇親晩餐会
スケジュール	10時～ 登録開始／14時～ 開会・式典／16時～ 記念講演／17時30分～ 懇親晩餐会
登録料	ロータリアン 2万2,000円(晩餐会、記念誌含む) 同伴者 1万円
お申し込み	クラブ事務局を窓口にして、各地区ガバナー事務所を通してご登録ください
締め切り	11月29日(金) 必着
お問い合わせ	第7回日台ロータリー親善会議福岡大会実行委員会事務局コングレ内 担当：倉重 一男(福岡西RC) Tel：092-716-7116 Fax：092-716-7143 E-mail：rotary2020@congre.co.jp

写真でつづる 100年 1 写真機

★ 1928年10月に東京の帝国ホテルで開催された第2回太平洋地域大会にて。前列左の I. B. トム・サットン国際ロータリー(R I)会長の隣で笑顔を見せるのは、日本のロータリーの創始者・米山梅吉氏 (写真提供: 東京RC)



東京RC誕生

1920

「国際ロータリークラブ連合会」から「国際ロータリー」に改称

1922

「決議23—34」の採択

1923

ロータリー徽章の制定

1924

青少年交換事業の開始

1927



1928

宮城県南三陸町長 RI 日本事務局来局



2019年8月22日、宮城県本吉郡南三陸町の佐藤仁町長（写真左）が国際ロータリー（RI）日本事務局を訪れ、ロータリーの復興支援に対する数多くの活動に対し、感謝の意を述べました。

宮城県南三陸町では2011年3月11日の東日本大震災により、津波の被害による死者と避難生活に伴う震災関連死は620人を数え、いまだ行方不明者が200人以上います。そして、町の住宅の約6割に相当する3,143戸が全壊という大きな被害を受けました。佐藤町長自身も震災当日は南三陸町防災対策庁舎に詰めた直後に津波に遭い、骨組みだけとなった同庁舎の3階で一夜を明かすという経験をしています。

佐藤町長は、「壊滅した町がここまで復興できたのは皆さまのおかげです。そして、町民が苦しんでいる時にロータリアンの皆さまが行ってくれたご支援は、これからも決して忘れることはできません」と感謝の意を述べられました。

震災後、ロータリー東日本震災復興基金日本委

員会が立ち上げられ、委員長を務めた小沢一彦氏（2010－14年度ロータリー財団管理委員）は、「世界中のロータリーや他の団体からも届けられた『ロータリー東日本震災復興基金』への寄付金額は880万ドル（約9億円）となり、私たち委員会が承認したプロジェクトの数は221件に上りました。それらのプロジェクトには、日本だけでなく、台湾、アメリカ、タイ、フィリピン、韓国、ドイツといった海外のロータリークラブからの支援も加わり、基金の3倍以上の大きな額のプロジェクトになりました。委員は全員、手弁当で活動し、基金は全てプロジェクトに充て、最後に残った355万円は、ロータリー財団管理委員会の許可を得て、その後発生した熊本地震の被災地区（第2720地区）へのお見舞金として送りました」と当時の苦勞と感慨深い背景を伝えました。懇談は、当初の予定時間を過ぎても尽きることなく、当時を振り返って多岐にわたる話が交わされました。

最後に佐藤町長から、感謝状と同町名産の南三陸杉で作られたお礼の品がRIに贈られ、代表して小沢氏が受け取りました。

なお、佐藤町長は、東日本大震災直後の救援や8年以上にわたる復旧復興支援で尽力された個人や団体、企業などに感謝の意を伝えるため、2019年6月19日より、北海道から沖縄まで全国約220カ所への訪問活動を行っています。



（左）被災した防災対策庁舎

（右）新たに山を切り崩して高台に造成した
志津川地区の中央団地



(右) 復旧した海水浴場「サンオーレそではま」
(左) 大勢の人でにぎわう「南三陸さんさん商店街」



宮城県南三陸町長からのメッセージ

ロータリークラブ会員の皆さま、こんにちは。

皆さまにおかれましては、東日本大震災で被災した当町に対し、心温まるご支援を賜り、この場をお借りして御礼を申し上げます。

さて、南三陸町は、宮城県の北東部に位置する人口約1万3,000人の小さな町です。これまでも幾度となく津波に襲われてきましたが、明治29年の明治三陸地震、昭和8年の昭和三陸地震、昭和35年のチリ地震津波では、大きな津波被害を受けています。

平成23年3月11日、そんな小さな町に東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）により発生した巨大な津波が押し寄せ、800人余りの尊い命が奪われたほか、住宅や商店などの建物も約6割が全半壊し、道路や漁港といったインフラ施設も、そのほとんどが被災しました。役場庁舎も流失し、被災直後は、まさにぼうぜん自失といった状況でした。

しかしながら、ロータリークラブ会員の皆さまをはじめ、世界中の個人や団体からのご支援により、復興計画10年のうちに、全ての復興事

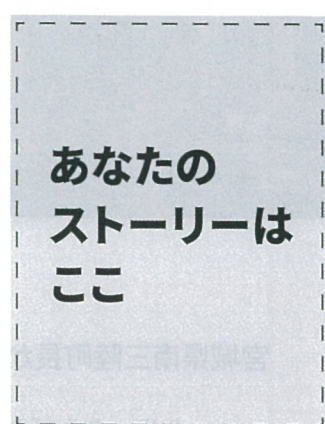
業を完遂できる見通しとなりました。一度は壊滅した町がここまで復興することができたのは、苦しい時に力になっていただいた皆さまのおかげです。本当にありがとうございました。

現在の南三陸町は、東日本大震災クラスの津波が来ても町民が安心して自宅で過ごせるよう、全ての住宅を高台に移しております。また、商店街や海水浴場も復旧し、昨年度は、観光客数が過去最高となったほか、海藻藻場では全国初となるラムサール条約の保全対象リストに志津川湾が登録されるなど、新たな価値を創造するまちづくりの一步を踏み出しております。

最後になりますが、今後とも、変わらぬご支援を賜りますよう、お願い申し上げますとともに、会員の皆さまのますますのご発展とご健勝をお祈り申し上げます。

また、機会があれば、ぜひ南三陸町に足をお運びください。

南三陸町長 佐藤 仁



クラブのこと、ロータリーが世界で行っていることを、地域の人に知ってもらおう

ロータリーでは、私たちが「世界を変える行動人（People of Action）」であることを世界に広めるキャンペーンを展開しています。多くのクラブがこのキャンペーンに参加することによって、私たちのメッセージはより一層広まります。

ロータリーブランドリソースセンター(rotary.org/brandcenter)には、あなたのクラブのストーリーを伝えるためのツールが満載（ポスターの作り方は『友』6月号横組み P14 に掲載）。

私たちのメッセージを世界に伝えていきましょう。

NEW GENERATION

—— ニュージェネレーション

縁あってロータリーに触れた若者たち。彼らはいま、何を思い、どんなことに挑戦しているのでしょうか。

昆虫をアートで美しく

元ローターアクト 小林 侑樹

神奈川県田舎に生まれた私は自然に囲まれて育ち、物心ついた頃から虫と戯れていました。虫好きが高じて大学では昆虫学を専攻。その後、進学した専門学校では昆虫をテーマに、洋服やアート作品を制作しました。今は仕事の合間に、イベントで昆虫の標本をアートにした



左：文化服装学院時代の卒業制作ではモルフォチョウをイメージしたドレスを制作 右：昆虫の標本をアートにした作品を展示・販売

作品を出展したり、個展を開いたりしています。

今までの人生、虫と切っても切れない縁を持って歩んだ私。不思議なことに、留学先のロシアでも昆虫を研究・調査している日本人と出会い、今でも連絡を取り合い、一緒にロシアへ昆虫採集にも出かけています。

「たかが昆虫。されど昆虫」。昆虫は可能性を秘めていて、将来の新素材への応用や、人類の食糧危機打開も期待されているすごいやつらです。恐竜よりもはるか昔から生息し、地球上で最も種類の多い生物といわれる一方、地球温暖化や環境破壊によりその数や生息域が変化し、日本では外来生物の問題も発生しています。

嫌われ者でもある昆虫を、アートを通じて、いかに美しく見せるか。虫で人を幸せにしたり、虫を通じて自然や環境保全に興味を持つ人が増えてくれればいいな、と日々思いながら虫捕りに励んでいます。

神奈川県小田原市出身。(株)ゴールドウィン勤務。東京オーキッド世田谷南RAC会会員。2005 - 06 年度第 2780 地区青少年交換学生としてロシアへ派遣。趣味：美術館巡り、ワークアウト。富山県在住。

世界と日本をつなぐ

ローテックス 鈴木 那歩

私は高校1年生の時に、青少年交換学生として1年間フランスに派遣されました。そして今高校3年生で、受験勉強の真っ最中ですが、1年間フランスで生活したことは、進路を決めるに当たって私を大きく変えてくれました。

フランスではいろいろな国籍の人、宗教、文化、考え方と出会いました。ヨーロッパ各地を旅行して、視野が大きく広がりました。それまで運動も勉強もいまいちだった私が、「フランス語ができる」という強みを持つことができました。

派遣中にホストファミリーとベルサイユ宮殿の見学に行き、日本のお城とヨーロッパのお城の違いを肌で感じました。庭園や絵画、装飾品がとても豪華で、1日では全て見ることはできませんでした。この素晴らしい経験

から、日本という小さい島国にとどまることなく、日本の皆さんに世界の国々を知ってもらい、また、世界に日本を紹介していきたいと思うようになりました。

日本と世界との懸け橋になりたいという気持ちから、観光学部を希望し、今勉強しています。大学生になったら2020年の東京オリンピック・パラリンピックでフランス語の通訳ボランティアをしたいです。フランス語を忘れないためにも、レベルアップのためにも、これからもフランス語の勉強を続けていきます。



鈴木那歩さん(左)

静岡県出身。静岡県西遠女子学園高校3年。2017 - 18 年度第 2620 地区青少年交換学生としてフランスへ派遣。趣味：K-POP 音楽を聴くこと、土日に犬の散歩に行くこと。浜松市在住。

● 皆さんの周りの若い人をご紹介ください！ ロータリーのプログラムに参加したことのある10～30代までの若者（現役、学友どちらも可）を『友』編集部にご推薦ください。記入用紙は『友』ウェブサイト www.rotary-no-tomo.jp からダウンロードできます。



今月はシークワーズ。パズルは一般的な問題で、ご家族の方でも楽しめます。キーワードを埋めていき、最後に残る言葉はロータリーと少し関係があります。どんな関係かな。ロータリーのこと、ちょっとずつ学ぼう。

パズル制作／ニコリ

問題

リストにある、職業に関する英単語を盤面から探しましょう。言葉を全て探すと、何文字かが使われずに残ります。その文字を上から下に順に読んでできる言葉は？

ルール

どの言葉もタテ・ヨコ・ナナメ8方向のいずれか一直線に読めます。途中で曲がったり、とばして読むではダメです。同じ文字を複数の言葉が使うこともあります。

職業に関連する英単語シークワーズ

ACTOR	GARDENER
AGENT	MANAGER
CHEF	NARRATOR
CURATOR	NURSE
DENTIST	PIANIST
DESIGNER	POET
EDITOR	POSTMAN
ENGINEER	SINGER
ESSAYIST	SURGEON

```

E S S A Y I S T V D
D N T T S I T N E D
I A G N A M T S O P
T R P I A N I S T M
O R S I N G E R E A
R A N T N E G A O N
O T U E C H E F P A
T O R E N E D R A G
C R S U R G E O N E
A T E C U R A T O R
    
```

答



毎月10人に
『ロータリーの友』
名前入り
「モバイルバッテリー」
をプレゼント!!



◆パズル de ロータリー応募方法◆ 郵送での応募は郵便はがきに、①「10月号の答え」②名前 ③所属クラブ ④今月号で印象に残った記事をお書き添えの上、〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4階（一社）ロータリーの友事務所P係までお送りください。④に関する回答は、「声」欄（縦組み）に転載させていただくことがあります。会員以外のご応募も大歓迎です。

WEB応募は下記のURL、または右の2次元バーコードから。
rotary-no-tomo.jp/puzzle.php



◆締め切り◆ 2019年11月11日（月）必着

●パズル de ロータリー（7月号）の答えと当選者は、横組みP53に掲載しています。

詰め碁



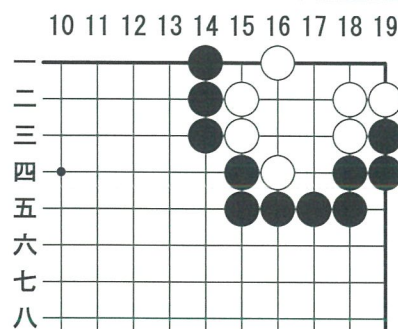
出題

日本棋院

問題

黒先・初手が盲点かもしれません。
コウは失敗です。
（3分で二段）

●詰め碁の解答は、横組みP53に掲載しています。
（※詰め碁にはプレゼントはありません）



仲間とともに

カナダ オンタリオ州ウィアートン R C

THE ROTARIAN 10月号から

創立：1938 年
創立会員：18 人
現在会員：33 人

絆の構築

オンタリオのジョージア湾とヒューロン湖の間に位置する牧歌的なブルース半島への入り口となっているウィアートンでは、活動熱心なウィアートン・ロータリークラブ(RC)が大きな責任を担っています。同クラブの会員数は35人に満たないものの、ロータリー青少年交換プログラム、ポリオ根絶、アフリカやメキシコでのプロジェクトを支援し、地元では公園の遊具、ベンチ、板張りの遊歩道の設置もしています。また、大規模なイベントを年に何度か開催しています。どうしてそんなことができるのでしょうか。それは、友情の強い力を活用したのです。

2018年のトロント国際大会では、クラブ会長エレクトのためのイベントで、当時ウィアートンRCの会長エレクトだったマイク・マクミランさんが会員基盤の強化について発言しました。「この地域は観光業や小売業に携わる人や、国立公園で働く人など、基本的にブルーカラー産業が主体です。『専門職ではない人々、または違うタイプの専門職の人々をどうやって入会に導けるでしょうか』と私は問い掛けました」。世界中から集まった会長エレクトが、同様の問題を抱えていると教えてくれたと言いますが、マクミランさんにはすでに解決策の案が一つありました。

その2年前、ウィアートンRCは時間と金銭的な制約がある地域の人々の参加を促すためにフレンズ推進計画を立ち上げました。「特に若い人の多くは、正会員になるとなかなか表明できません」とマクミランさん。「オンタリオのような地域で小さいお子さんがいる家庭にとっては、食事会で月に80ドルかかるのは、予算オーバーです。人々が参加できるように、他の方法を考えることが重要なんです。現実問題として、富裕層の少ない小さな地域ですから」

会員は毎年夏に4日間にわたってヴィレッジ・フェアの開催を手伝い、150人を超える参加者が集まるトリビア・ナイトを主催します。メープル・マジック(会場はクラブ会員のエリック・ロビンソンさんとその妻、デールさんが所有するリーガルポイントエルク農園)には、何千人もの参加者が集まります。そういったイベントは、「現場の人手が必要です」とマクミランさんは言います。

いつもボランティアに参加しているジミー・アヴォンさ

CLUB INNOVATION :

多くの人にクラブの例会やイベントに参加してもらうために、会員は画期的なアイデアを出しました。それが2016年に立ち上げられたフレンズ推進計画。ロータリーの理念には賛同していても会員になることに踏み切れないという人に対し、年に最大10回の例会に出席したり、募金活動やその他のプロジェクトに参加したりできるようにするのもです。このプログラムの目標は、入会への道筋を付けることで、現在9人の参加者がいます。

んは、冬はメキシコで過ごす引退したミュージシャンですが、ロータリアンからエネルギーをもらっている、と言います。「こういったイベントにはいつも参加しています。私にとってはよいことですから」と、フレンドとしての参加についてアヴォンさんが話してくれました。「このレベル



上から：カナダがテーマのトリビア・ナイトでのクラブ会員たち。同クラブのアメーzing・レース大会は地域で人気のチャリティイベントです。

での参加なら負担になりませんし、責任もそれほどありません」。他のフレンドには、ホスピスのマネージャーや、造園業とガーデニングショップをロータリアンの夫と共に経営する女性や、4人の退職者がいます。

ある人にとって、このプログラムは再入会への道となりました。リチャード・ブイヨンさんは、1996年に仕事と家族のために同クラブを退会。しかし、フレンドとして再びロータリーに参加することにしたのです。「私は『古い新会員』なのか、『新しい旧会員』なのか分かりませんね。1年間フレンドとして活動してから、2018年にクラブに再入会しました」とブイヨンさん。

今では会員として、ヴィレッジ・フェアの開催を手伝い、ロータリーが行うプロジェクトでホンジュラスに行き学校の設立を手伝っています。これは、フレンズ・プログラムが再入会に向けてそっと背中を押してくれなければ起こらなかったことです。「フレンズ推進計画などのおかげで、私はロータリーに戻ってこれました」とブイヨンさんは言います。

—BRAD WEBBER

あなたのクラブはどのような革新的な
取り組みを図っていますか？

hensyu@rotary-no-tomo.jp までお知らせください。

3年連続！ 年次基金 寄付ゼロクラブがゼロに

2018 - 19 年度、ロータリー財団の年次基金寄付の、第 1、2、3 ゾーン内の寄付ゼロクラブはゼロとなりました。これで 3 年連続の達成となりました。

ナイジェリア 最後の野生型症例から 3 年

2019 年 8 月 21 日現在、ナイジェリアでは最後に野生型ポリオウイルスの症例が報告されてから 3 年間の経過しました。これにより、早ければ 2020 年半ばには、世界保健機関が定めるアフリカ地域全体のポリオフリーが認定される可能性があります。

ポリオサバイバーの果たす 大きな役割

ナイジェリアのマイドウグリに住むファルマタ・ムスタファさんはポリオサバイバー（ポリオ体験者）です。彼女はロータリーのナイジェリアポリオプラス委員会から寄贈された手動の三輪車に乗って、医療従事者たちと一緒にドア・ツー・ドア（戸別訪問）予防接種キャンペーンに参加し、基本的な医療を受けることができない地域でポリオのワクチンを広めています。

ユニセフによると、ムスタファさんのようなポリオサバイバーは、子どもへの予防接種を嫌がる親を説得する際、親を説得するのにかなり高い率で成功しています。ポリオ根絶

の最終段階では、誤報やうわさによってワクチン接種をためらう人々のいる地域があり、ポリオサバイバーの役割が重要です。

「チームとして活動に参加してから、予防接種に対する理解が向上していくのを各地で目の当たりにしてきました」とムスタファさんは言います。「私はこの仕事で地域社会から高く評価されており、満足しています」

THE ROTARIAN 10 月号から



Photo by ANDREW ESIEBO

ビジョン声明の和訳の変更についてのご案内

2018 - 20 年度 R I 理事 三木 明

2017 年 6 月の国際ロータリー（R I）理事会で採択されたビジョン声明の和訳の変更が採択されました。これまで利用されているビジョン声明の和訳は以下の通りです。

「私たちロータリアンは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています」

今年 4 月の規定審議会でローターアクトクラブの R I への加盟が認め

られたことに伴い、左記和訳の「私たちロータリアンは」の「ロータリアン」を削除し、英語の「We」にそろえて、「私たちは」と和訳を変更することとなりました。

ローターアクトクラブの件を考慮しますと、ここに「ローターアクト」を加えるよりは、簡潔に「私たちは」と変更した方がより分かりやすい訳になると判断しました。この件については、各種翻訳を担当している R I 世界本部グローバルコミュニケーションズ部と相談し、下記の通り決定いたしました。

私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています。

※この変更については 8 月 30 日書面で各地区へお知らせいたしました

今後の R I 国際大会

2020 年 6 月 6 - 10 日

アメリカ・ハワイ州ホノルル

(以下予定)

2021 年 6 月 12 - 16 日

台湾・台北

2022 年 6 月 4 - 8 日

アメリカ・テキサス州ヒューストン

統計

全世界ロータリアン総数

1,205,049 人

クラブ数 35,927 クラブ

地区数 525 地区

国と地域 200 以上

ローターアクト会員数 157,520 人

クラブ数 9,520 クラブ

国と地域 160 以上

インターアクト会員数 567,387 人

クラブ数 24,669 クラブ

国と地域 150 以上

2019 年 8 月 15 日現在

* 2019 - 20 年度

ロータリーの友
 Home Page
www.rotary-no-tomo.jp



ロータリー財団管理委員長からのメッセージ
2019-20 年度ロータリー財団管理委員長
ゲイリー C.K. ホアン

RI 指定記事

国際大会へのカウントダウン 近くの見どころ

6月6～10日にホノルルで開催される国際大会への参加を計画する時には、ぜひ観光のための滞在日を設けて、オアフ島から近くの島々に足を延ばしてみてください。

カウアイ島では、自然愛好家はナ・パリ海岸州立公園（写真）が気に入るはずです。「パリ」とは絶壁のことで、海岸沿いの峡谷には滝も流れる見事な断崖が見られます。映画「ジュラシック・パーク」で見たことがあるという人もいるかもしれません。ここで撮影されたシーンもありますから。

マウイ島では、カフルイから小さな町、ハナを抜けてキパフルへと北岸を走る約100kmのハナ・ハイウェイをドライブしましょう。ヘアピン（U字型）カーブが600カ所もあり、1車線の橋が46本も架かっています。景色を堪能したいなら、運転は人にお任せのツアーバスがおすすめ。

ハワイ島では、ハワイ火山国立公園で自然の荒々しい力を目の当たりにすることができます。nps.gov/havoで公園内の火山の最新情報を確認しましょう。また、コーヒー豆の栽培で有名なコナ地域にぜひ立ち寄って、朝の1杯のコーヒーを生み出す緻密なコーヒー栽培を見学してください。ツアーを組んでいるコーヒー農園も多いため、いくつか回ってみるとよく分かるでしょう。

— HANK SARTIN



2020年ハワイ国際大会の
参加登録はこちら riconvention.org

ニーハオ、ロータリアンの皆さま。

今月は10月24日に世界ポリオデーがありますが、ここが正念場です。アフガニスタンとパキスタンからの知らせは、私たちの仕事はまだ終わっていないことを伝えています。ポリオ根絶はすぐに、あるいは楽々と実現できるものではないということを物語っています。

何より世界がロータリーをこれまで以上に必要としていることを教えてください。ポリオ根絶を実現させるために私たちに必要なのは、今後も変わらず活動続け、期限など設けずに尽力していくことです。ロータリーは最後まで闘い続け、この恐ろしい病気に打ち勝ちます。子どもたちとその家族が人生を取り戻し、地域社会が希望を取り戻せるようにするのです。

ロータリーには幸いにも、募金額の2倍の寄付金を上乘せしてくれているビル&メリンダ・ゲイツ財団をはじめとする、世界ポリオ根絶推進活動の強力なパートナーがいます。2型野生株ポリオウイルスはすでに根絶され、3型も近々根絶できることでしょう。インドに続いてアフリカ全土がポリオフリーになる日も近いのです。

ポリオ根絶において、何よりも重要な要素はあなたです。アフガニスタンとパキスタンの人々は、近年多大な苦難に直面しています。ポリオも彼らが抱える問題の一つにすぎません。問題が山積みで、押しつぶされそうになっているかもしれません。しかし、ロータリアンは違います。私たちが打ちひしがれることはありません。難問に直面したら、「行動人」として挑戦を受けて立つのです。

孔子はこう言っています。「徳は孤ならず、必ず隣あり（同志が必ず仲間になってくれるものだ）」。ロータリーでは、この教えはよく理解されています。「超我の奉仕」というのは、まさにこの徳のことです。世界中の同志がはせ参じてくれると分かっているのです。世界でよいことをしたいという気持ちで、私たちは結集してきました。

世界から、この疾病を永遠になくすることができるのです。そして、それを成し遂げるのは、今後も変わらずにポリオ根絶を支援してくださる皆さんです。

歴史を動かす一部になりましょう。最後の困難、最後の難問に打ち勝つために、力をお貸しください。endpolio.org/ja/donateでご支援をお願いします。

Gary C. K. Huang
財団管理委員長



地区別クラブ数・会員数一覧表

(2019年7月末現在)

地区	R C 数	会員数	18年7月末 会員数
第 2500 地区	67	2,291	2,316
第 2510 地区	70	2,632	2,606
第 2520 地区	78	2,227	2,251
第 2530 地区	65	2,330	2,360
第 2540 地区	42	1,140	1,141
第 2550 地区	50	1,749	1,768
第 2560 地区	56	2,092	2,124
第 2800 地区	49	1,598	1,610
第 2830 地区	41	1,172	1,205
第 2570 地区	50	1,624	1,639
第 2580 地区	71	3,025	3,056
第 2590 地区	55	2,013	2,039
第 2600 地区	54	1,982	1,964
第 2610 地区	64	2,671	2,664
第 2620 地区	79	2,985	3,032
第 2750 地区	98	4,788	4,780
第 2760 地区	85	4,901	4,903
第 2770 地区	74	2,542	2,592
第 2780 地区	68	2,398	2,413
第 2790 地区	82	2,824	2,835
第 2820 地区	56	1,988	1,957
第 2840 地区	45	2,106	2,127
第 2630 地区	75	3,247	3,183
第 2640 地区	68	1,846	1,818
第 2650 地区	96	4,643	4,628
第 2660 地区	80	3,623	3,623
第 2670 地区	74	3,039	3,083
第 2680 地区	71	2,770	2,782
第 2690 地区	66	3,056	3,063
第 2700 地区	61	3,202	3,230
第 2710 地区	73	3,323	3,311
第 2720 地区	75	2,466	2,476
第 2730 地区	67	2,425	2,392
第 2740 地区	56	2,222	2,247
34 地区合計	2,261	88,940	89,218

日本のロータリー
会員概数 88,667 人
クラブ数 2,252

(左の表中 34 地区合計から、
第 2750 地区の P B グループ
を引いた数です)

ガバナー月信より 2750 ク
ラブ数・会員数は、P B グ
ループ 9 R C 273 人 (北マ
リアナ諸島・グアム・ミクロ
ネシア・パラオ)を含みます。
P 6「日本のロータリー」数は
34 地区合計から P B グループ
を引いた数。18 年 7 月末
P B グループ 9 R C 会員数
271 人。

地区会員数修正 本誌 9 月
号横組み P51 (6 月末) 表中、
2560・2,048 人、2750・
4,733 人、2760・4,817 人、
2630・3,189 人、2690・
3,019 人、34 地区合計会員
数:87,799 人、表外と P6「日
本のロータリー」最終行会員
数 87,535 人。

ご案内 左記一覧表は、3
つのゾーン順で色分けしてあ
ります。表中の左端の色と、
横組み P 55 奥付の日本ロー
タリー分布図の色を対照し、
ご覧ください。

*『友』ウェブサイトの「ロー
タリー資料館」にデータ修正
後の表を掲載しています。

ロータリーの友
Home Page
www.rotary-no-tomo.jp

ロータリー衛星クラブ

福岡中央エンジョイ (2700・福岡県)
スポンサークラブ 福岡中央
2019 年 8 月 12 日認可 会員数:8 人
例会日:第 2・4 水 18:30
例会場:福岡市立中央市民センター
事務所:〒810-0041 福岡市中央区
大名 2-6-60 西鉄グランドホテル 3 階
議長:江口 裕 幹事:新 広行

新インターアクトクラブ

北鎌倉女子学園中学校高等学校
(2780・神奈川県)
提唱クラブ 鎌倉
結成:2019 年 7 月 1 日
県立明石高等学校 (2680・兵庫県)
提唱クラブ 明石
結成:2019 年 6 月 24 日

インターアクトクラブ名称変更

一宮北→修文女子高等学校
(2760・愛知県)
提唱クラブ 一宮・一宮中央・一宮北・
尾西
承認:2019 年 7 月 22 日

新ローターアクトクラブ

和歌山東南 (2640・和歌山県)
提唱クラブ 和歌山東南
結成:2019 年 6 月 19 日

◆ご案内 公共イメージ向上のため
の A5 判広報誌『Rotary 友と歩む
地域と歩む』第 12 版、9 月発刊!

一般の人向けにロータリーのことを
説明した広報誌がリニューアルしまし
た。見本誌 1 冊と案内状を、『友』9
月号と一緒にクラブへお送りしました
ので、イベントなどでご活用ください。
1 セット 10 冊で定価 500 円+消費税
(送料別)です。『友』ウェブサイトか
らのご注文も可能です。

ロータリーの友

11 月号主要記事予定

横組み ロータリー財団月間 世界インターアクト週間

特集 私がロータリー財団に寄付する理由

縦組み ポリオ根絶に向けて わがクラブの先輩

東京麹町 R C 元会長 久保田智也

この人訪ねて 鎌田定悦さん (花巻南 R C)

Rotary



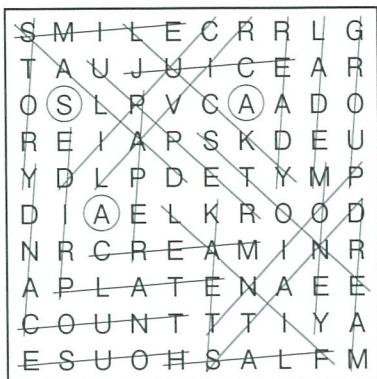
ご投稿・お問い合わせは——

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 4 階
一般社団法人ロータリーの友事務所 Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5956
編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp 管理部メール keiri@rotary-no-tomo.jp
ロータリーの友ウェブサイト www.rotary-no-tomo.jp

「パズル de ローター」(7月号)の答え

7月号の答え 「S. A. A.」

答えの「S. A. A.」は Sergeant at Arms の略称で、本来は守衛官を意味しますが、ロータリーでは会場監督を意味する言葉です。例会ではタスキを掛けている人を必ず目にすることでしょう。



S. A. A. は例会だけでなく全ての会議において、秩序正しい運営と、参加者が楽しめるよう心配りし、会合がその使命を発揮できるように、設営、監督する現場責任者です。役割としては、早めに会場に到着して点検、運営準備を行い、ビジター、ゲストを受付で対応します。会議が始まればその進行役を担当。私語に対する注意喚起や入退室の判断を行うなど、強い権限を持つ場合があります。今日も楽しく語らえるのは、彼らのおかげです。

応募総数 141 人 正解者 133 人

当選者 (敬称略・順不同) / 山村明 (米沢おしょうしな R C)、川島理 (渋谷みどり R C)、田邊彰宏 (中頓別 R C)、住川誠一 (尾張中央 R C)、猪又行雄 (糸魚川中央 R C)、永井敬裕 (姫路 R C)、谷口義洋 (山形南 R C)、内田敬子 (鹿島中央 R C)、杉本順子 (徳島南 R C)、外山蒼依 (大分舞鶴 I A C)

◆ P48 詰め碁の答え ◆

黒先白死 (15の一)

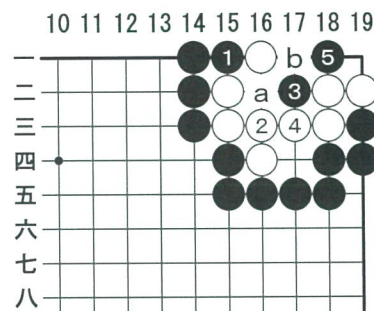
この問題に関するお問い合わせは、下記 (公財) 日本棋院認定係までお問い合わせください。

TEL : 03-3288-8723

FAX : 03-3261-5841

◆ 解説 ◆

黒1とダメを詰める手に気がつきましたか……。白2のツギは黒3、5で白死です。黒3では4のハネも白死です。白2を3は黒2、白a、黒5で白死です。初手黒5も筋ではありますが、白4と応じられ黒b、白3、黒1に白2、黒aのコウで失敗です。



内外よろず案内

第25回全日本ロータリークラブ親睦合唱祭開催のご案内

名古屋名駅ロータリークラブ

全国の合唱同好会が集う本大会の次回開催地は名古屋です。参加ご希望の合唱団は下記へお問い合わせください。なお参加実績のある合唱団には9月末に概要の案内をいたします。



■開催概要

開催日程	2020年5月30日(土) (受付9時30分 開演12時)
場所	愛知県芸術劇場コンサートホール
内容	コーラスタイム、講評、懇親会

◇お問い合わせ

名古屋名駅ロータリークラブ事務局
TEL : 052-453-0808

ユニバーサルマナーを学ぶセミナーを開催

第2750地区2020支援委員会

東京五輪に向け、外国人や障害者をサポートする心とマナーを学ぼうと、(一社)日本ユニバーサルマナー協会と共同でセミナーを実施しています。受講者にはコラボバッジを贈呈。浅田豊久ガバナー、福原有一ガバナーエレクトも参加。地区外からもご参加いただけます。奮ってご参加ください。

■開催概要

開催日程	2019年11月15日(金) 9時50分～12時30分(受付9時30分～)
場所	株式会社千代田ビルマネジメント会議室
住所	東京都港区虎ノ門3-18-19-4F(神谷町駅1分)
参加費	5,500円(税込)
定員	50人 ※定員になり次第締め切り
申し込み	所属クラブ、氏名、ふりがな、電話番号を明記の上、FAX 03-3445-1233 までお申し込みください。

◇お問い合わせ

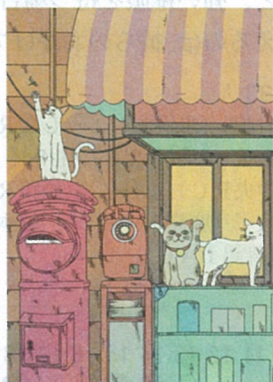
担当委員: 青柳浩(東京山の手 R C) TEL : 080-3171-8793
Email : aoyagi.hiroshi0901@gmail.com

表紙について

■横組みの表紙

「喧噪」

イラストレーター 佐久間真人



作者コメント

温かな光、おいしそうな匂い、みんなそれぞれの目的に向かって進む。話し声、靴音、どこからか聞こえる音楽。

■縦組みの表紙

「米山梅吉」

イラストレーター 後藤 文彦



日本のロータリーの創始者。現在の奈良県、大和国高取藩の和田氏の子息として東京に生まれ、父の死後、母の故郷の静岡県長泉(現米山梅吉記念館の所在地)に移り、中学生まで過ごしました。1883年に上京し、87年米山家に養子として入籍。同年渡米し、学問を修め1895年帰国後、三井銀行に入行しました。1918年の再渡米中、ダラス・ロータリークラブ(R

C) 会員の福島喜三次(1881～1946)の紹介により、ロータリークラブに出会います。

帰国後の1920年10月、米山梅吉は東京RCを創立し、会長に就任しました。幹事は福島喜三次。これが、日本のロータリークラブの第一歩となりました。

その後、1924～26年度国際ロータリー(RI)のスペシャル・コミッショナー、1926～27年度RI理事(日本人初)、1928～31年度第70地区(当時)ガバナーなどを歴任していきます。

1952年、東京RCは彼の功績を記念し、日本で学ぶ外国人留学生に対して支援を行う「米山奨学制度」を構想。現在の「ロータリー

米山記念奨学会」です。

大変文筆に優れ、ロータリー関係の主な翻訳書には、ポール・ハリスが著した『ロータリーの理想と友愛』(原題は『This Rotarian Age』)があり、俳人としても知られました。また子煩悩で質素な人柄だったといわれています。

長泉にて逝去。墓は記念館近くと横浜市の総持寺の2カ所です。



米山梅吉
(1868～1946)

あなたのルーツや自分史を
後世に残しませんか？

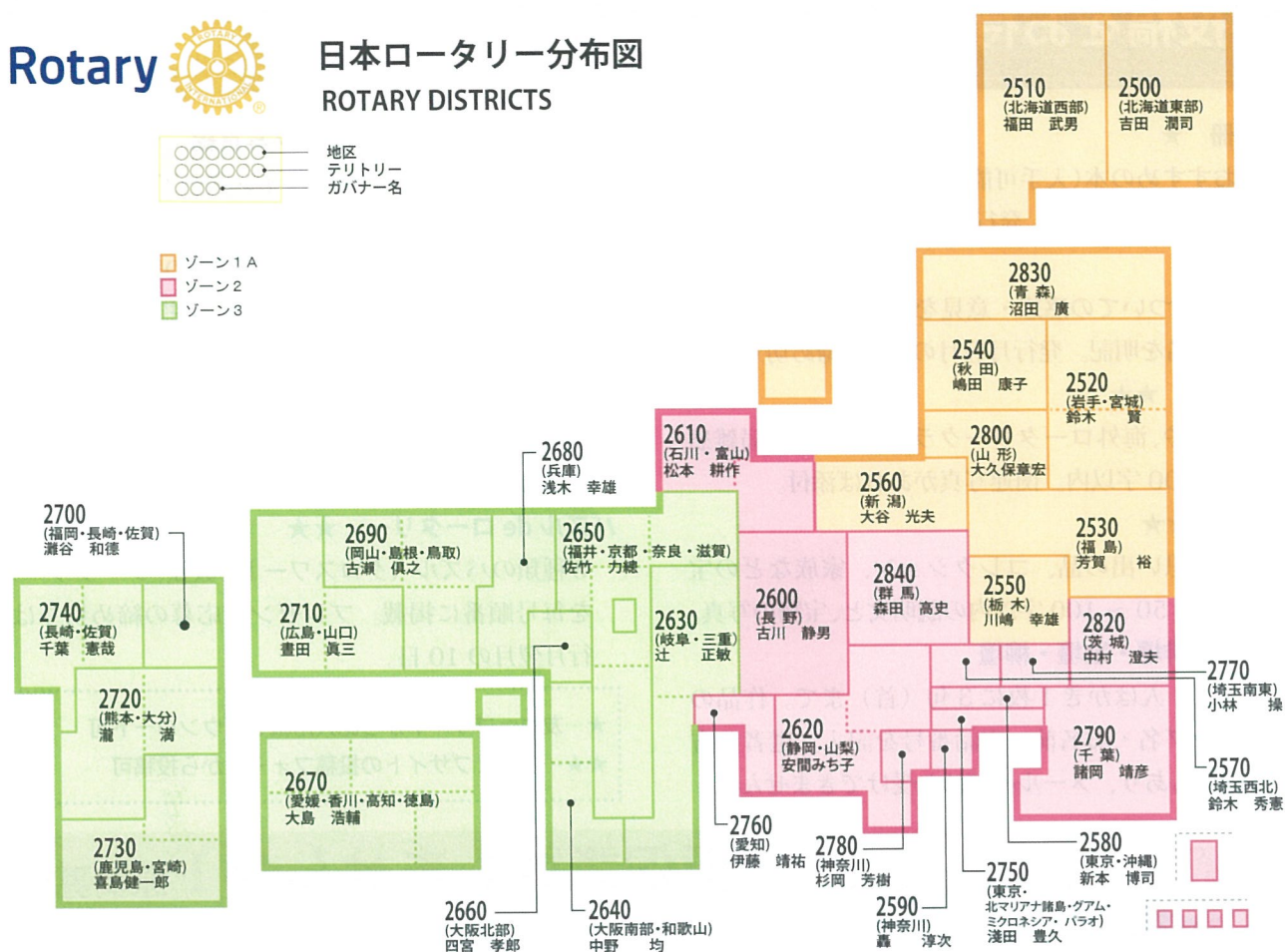
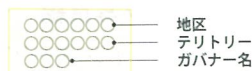
弊社では徹底した取材等を駆使し、
あなたの歴史を調べます！

＜調査は全国網＞
K 株式会社岸本総合リサーチ

所在地 大阪市北区天満橋1丁目8番10号
TEL 06-6881-0867
創業 1974年(昭和49年)
代表者 岸本 美智子
E-mail michiko@kishimoto.sr.co.jp

岸本総合リサーチ 検索

CMははこちら



ロータリーの友ウェブサイト www.rotary-no-tomo.jp に各地区のホームページをリンクしています。

月刊 ロータリーの友

第67巻 10月号

2019年9月30日印刷 2019年10月1日発行

一般社団法人

ロータリーの友事務所

■社員	三木 明	(姫路)
	辰野 克彦	(東京西)
	新本 博司	(那覇)
	浅田 豊久	(東京六本木)
	轟 淳次	(川崎マリーン)
	四宮 孝郎	(大阪西南)

理事会

代表理事	片山 主水	(名古屋東南)
理 事	鈴木 宏	(宇都宮北)
	上野 孝	(横浜)
	安平 和彦	(姫路)
	片岡 信彦	(土浦南)
	橋本 長平	(京都東)
	清水 良夫	(横浜)
	田中 堯史	(盛岡)
	村井總一郎	(豊橋)
	樫畑 直尚	(和歌山)
	野生司義光	(東京小石川)
	福原 有一	(東京銀座)
	横山 武志	(東京北)
	恵川 一成	(大宮シティ)
	羽田 伊助	(東京目黒)
	野中 茂	(川崎)
	津村 政男	(東京臨海東)
	渡辺 誠二	(東京みなと)
	野崎 恭子	
監 事	宮嶋 康明	(新千葉)
	高野伊久男	(横浜西)

監事

職員

所長	渡辺 誠二 (東京みなと)
編集長	野崎 恭子
編集	稲川 やよい
	黒野 稔二
	山名 愛
	飯田亜由香
	熊谷健太郎
管理	富澤 美子
	半田 弥生

振込銀行	三井住友銀行浜松町支店
口座番号 (普通)	7450015
郵便振替	口座番号 00180-8-694591
印刷	大日本印刷 (株)
表紙印刷	半七写真印刷工業 (株)

一般社団法人ロータリーの友事務所

〒105-0011
東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 4 階
電話 03-3436-6651
FAX 03-3436-5956
編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp
管理部メール keiri@rotary-no-tomo.jp
ウェブサイト www.rotary-no-tomo.jp
定価 200 円+消費税 (送料別)

ご投稿をお待ちしています！『ロータリーの友』投稿規定



私の一冊 ★

会員おすすめの本(入手可能な市販書籍)を紹介。書籍名、作者名、出版社、発行年と推薦文(320字以内)。

声 ★★

『友』誌についての感想・意見を200字以内で紹介。対象記事名を明記。発行月翌月の10日締め切り。

友愛の広場 ★★

エッセーや、海外ロータリークラブ訪問記、時局雑感など。1,000字以内。関連写真があれば添付。

私の宝物 ★★

ペット、思い出の品、コレクション、家族などの宝物を紹介。50～100字以内の説明文と、宝物の写真。

ロータリー俳壇・歌壇・柳壇

1カ月に1人はがき1枚に3句(首)まで。作品の横にクラブ名・お名前・電話番号を記入。選者の方のご都合もあり、メール投稿はお受けできません。

ロータリー・アット・ワーク写真編 ★★

ロータリークラブ、地区、インターアクト・ロータリーアクトクラブなどの奉仕活動を写真で紹介。写真(集合・記念写真不可)と150字程度の説明文。必ず活動日を入れ、活動後1カ月以内にご投稿ください。

ロータリー・アット・ワーク文章編 ★★

内容は写真編と同じ。600字以内の原稿と関連写真を。

内外よろず案内

会員間の趣味の交換、催し物の案内など。200字以内。

パズル de ロータリー ★★

3種類のパズル(クロスワード、数独、シークワーズ)を毎月順番に掲載。プレゼント応募の締め切りは発行月翌月の10日。

★…友ウェブサイトから記入用紙をダウンロード可

★★…友ウェブサイトの投稿フォームから投稿可

次のテーマは……

例会の席は固定派？
それともシャッフル派？

締切：10月21日

侃侃諤諤しませんか！ 原稿募集

かん かん がく がく • kan kan gaku gaku



あるテーマを基にご意見を交換するコーナーです(掲載は不定期)。「他クラブはどうしているんだろう」「これって、ロータリーの常識なの？」といった素朴な疑問を、いま一度「侃侃諤諤(遠慮することなく議論)」しませんか？

テーマ	次のテーマは「例会の席は固定派？ それともシャッフル派？」。仲の良い会員とは話したいけど、いつも同じでは友情の輪が広がらず、会員同士の理解も深まらない……。そんな悩みも耳にします。あなたはクラブの例会の席は固定派？ それともシャッフル派？ その理由は？ また、例会の席はどのように決めていますか？ その際の工夫、成功例、失敗例があれば、併せてご紹介ください。
原稿	600字以内
投稿者情報	クラブ名、お名前、日中連絡可能なご連絡先(メール、電話番号)をお書き添えください。
締切	10月21日(1月号以降掲載予定)

送り先

一般社団法人ロータリーの友事務所

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 4階

Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5956

Eメール hensyu@rotary-no-tomo.jp

投稿方法、その他規定は友ウェブサイトで！

ロータリーの友
Home Page
www.rotary-no-tomo.jp



『友』を読んで、「この原稿を書いた人にエールを送りたい！」「感動した」「知らなかった」などの感想、『友』そのものに關するご意見などを紹介します。

高山中央RC 清水 幸平

大分舞鶴IAC 外山 蒼依

東京保谷RC 田中 界治

甲府RC 柴山 聡

ロータリーの友 32 57

希望の風イベント大盛況

本庄ロータリークラブ

第2570地区・埼玉県

当クラブでは5月12日、東日本大震災の震災遺児を支援している「ロータリー希望の風奨学金」のための募金活動を実施しました。

で生け花体験など、内容は多岐にわたり、年末にはクリスマス会と一緒に楽しみました。最後は京都洛西RAC会員によるパソコン教室で、寄贈したパソコンを使って卒業アルバムを制作して体験授業を締めくくりました。

子どもたちは、これまで知り得なかった職業の楽しさ、難しさを体感できたのではないのでしょうか。自らの将来を考えるきっかけになったのでは、と思っています。



寄贈したパソコンを使って



多くの人の注目を集めた大道芸

当日は本庄市の本庄総合公園を会場に、「人もお店も街も元気」をキャッチフレーズに「第13回本庄総合公園春まつり」が盛大に開催されました。広大な敷地内には芝生広場の他、野球場や体育館などがあり、公園内は100以上のブースが出店。特設ステージでは25団体が出演し、演技を披露しました。好天に恵まれ、球場ではイースタン・リーグ公式戦の埼玉西武ライオンズ対読売ジャイアンツ戦の同時開催もあって、午前中から大勢の市民が集まり、大盛況でした。

クラブは会場内の石の広場で、ポールダンスの大道芸人・めりこさんを招いて、午前と午後の2回公演を実施。迫力ある演技が集まった大勢の人たちを魅了しました。演技終了後に募金活動

動を行い、多くの協力を得ました。

さらに、かき氷も販売。大変暑い日だったこともあって完売しました。希望の風チャリティイベントは素晴らしい成果を収めることができました。

豊中のまちに夢と感動を！

豊中南ロータリークラブ

第2660地区・大阪府

創立50周年を迎えた当クラブは5月26日、大阪音楽大学内のザ・カレッジ・オペラハウスで、記念事業として「第2回豊中夢の第九コンサート」を開催しました。当日は予想を上回る満席650人の観客を集め、大盛会のうちに終了しました。

大阪音楽大学の現役学生を中心とするオーケストラの演奏をバックに、一般公募で集まった豊中市民125人と、近隣地域のロータリアンで編成された合唱団が集結。平成30年文化庁芸術祭大賞を受賞したソプラノ歌手の並河寿美さんを筆頭に、プロのオペラ歌手にも出演していただき、ベートーベンの交響曲第九番を合唱するという、思い出深い演奏会となりました。

今年3月の午後7時から練習をスタート。合唱初挑戦の人も多数参加し、中には小中学生の姿も。さらには豊中市を盛り上げようと、現市長の長内繁



感動を呼んだ第九コンサート

樹氏と前市長の浅利敬一郎氏も一員として参加しました。4月上旬には団員の一体感が増し、指揮者・新通英洋氏の仕上げの薫陶、指導を受け、全員一丸となって本番を迎えました。

まさに歓喜!! 「合唱の最中に鳥肌が立つほどの感動を覚えた」と、聴衆からは絶賛の声。練習回数全11回とは思えない出来の理由は、一人一人の力が共通した目標に向かったこと。これこそが共同体の力だと感慨深いものがありました。

創立50周年の節目に奉仕の心を再認識し、この先も市民と共に成長できるロータリー活動を実践したいと思います。参加者一人一人の晴れやかで充実した顔を忘れません。皆さん、また一緒にしましょう。フロイデ(歓喜)!

(土田名央未・記)



消火訓練を行う参加者たち

しかし、具体的な計画が進まず苦悩する中、県防災局から紹介された団体・あいち防災リーダー会との出会いを機に事業が大きく進展。同会も若い世代に防災への関心を持ってもらえず苦労する中での提案とあって、非常に喜んでもらえました。その後、県と名古屋市の後援も得て、消防署職員による応急手当て訓練や地震車による震度7の体験も組み込むなど、続々と内容が決まってきました。

開会式での村井總一郎ガバナ（当時）の温かい言葉には、思わずこみ上げるものがありました。その後の各種体験は楽しくもあり、また理論的で、災害時には何をすべきか？ を考えさせられる内容でした。

開会式で、若者たちの目から「自らの愛する人、世話になった人を守る

自分になる」という決意が読み取れました。本気で学んだから楽しくなる。本気で行動したから仲良くなれる。そんなことが実感できたのは、大きな収穫でした。

（中部名古屋みらいRC 池谷悟・記）

令和最初の地区RLI

第2790地区

千葉県

5月27日、当地区では千葉市民会館において、ロータリー・リーダーシップ研究会（RLI）卒後コースを開催した。

RLIパートナーⅢを修了した23人（当地区22人、第2580地区1人）と、地区RLI実行委員27人の計50人が参加した。冒頭、RLI日本支部当地区代表委員の櫻木英一郎パストガバナ（PG）が、国際ロータリーにおけるRLIの詳細や位置付け、当地区における運営の詳細を紹介し、有意義な卒後コースとなるよう激励した。

第1部はパネルディスカッション。コーディネーターは今野文明地区RLI推進委員長、同委員会メンバー4人がパネリストを務めた。テーマは「RLIを楽しもう！」であり、各委員の経験、技術の披露を含めて意見が交わされた。ときには参加者からの意見も



熱い議論が展開されたRLI

聞き、RLIパートナーⅢとは違い、和やかな雰囲気の中で進行した。議論中、周知のこととして特に紹介されなかった櫻木PGが、参加者から「謎のおじさん」と思われていたことが分かり、笑いに包まれるハプニングもあったものの、最後は櫻木氏が「ロータリーのたのしさは『愉しさ』。愉しさを味わっていただきたい」と述べて締めくくった。

第2部では、1時限目「RLIはどうでしたか？」、2時限目「RLIどうしますか」をテーマに、グループディスカッション。パートナーⅢはテキストに沿ってディスカッションがなされるが、卒後コースは地区の裁量によってテーマを決められる。この日のために練りに練った地区RLI推進委員会のテーマに、参加者は熱い議論を繰り

広げた。

（松戸西RC 山本衛・記）

現代の寺子屋で教育支援

京都洛西ロータリークラブ
第2650地区・京都府

家庭環境などの違いから教育格差が生じているといわれる現在、さまざまな理由から家庭で満足に教育を受けられない子どもたちへの教育支援を目的に、当クラブは2018―19年度の青少年奉仕として、年間を通して「寺子屋」を支援しました。

京都府向日市の来迎寺が運営する「寺子屋」に通う6人にスポットを当て、卒業後の進路を決定する際の一助となるべく、さまざまな職業体験の機会を提供。指導役は会員と、当クラブ提唱の京都洛西ロータリーアクトクラブの会員が担い、できるだけ多くの会員が関わられるように工夫しました。また、パソコンを使った学校の授業にスムーズに入っていくよう、ノートパソコン3台とプリンターを寄贈し、その操作方法の指導にも当たりました。

会員による支援活動として、料理教室では京の代表的なおばんざい（伝統家庭料理）の「にしんなす」作りに挑戦。茶道教室で和菓子作りとお点前体験、生け花教室では会員手植えの花々

タイと大分の 高校生が国際交流

杵築ロータリークラブ

第2720地区・大分県



書道を体験するタイの生徒たち

6月19日、国際交流活動の一環として、杵築市を訪問していたタイのメジャイ・ヴィタヤコム高校の生徒が大分県立杵築高校を訪れ、生徒と交流しました。

会議室に約40人の生徒や先生が集まり、まずはタイの高校生イムアイさんとミヤウさんがタイの民俗衣装で伝統の踊りを披露し、お返しに杵築高校空手部の生徒2人が形を披露しました。その後、タイの生徒たちは書道部員から指導を受け、日本の伝統文化である書道を初体験しました。交流会の前

に、杵築高校の生徒たちに杵築城を案内してもらいましたが、城内の説明や車中の雑談をタイ語、日本語、英語など多彩な言語でコミュニケーションを図る姿に私たちは驚きを隠せませんでした。

この企画が実現したのは昨年10月、当クラブの創立50周年記念事業としてタイの中学校で浄水施設の改修を行った際、杵築高校のジャージーを着たヴィタヤコム高校の生徒に偶然出会ったことでした。このジャージーは大分中央RCが国際奉仕活動で贈ったもの。偶然から生まれた活動ですが、生徒たちにとって貴重な体験となったことでしょう。

カンボジアに学校建設

新居浜ロータリークラブ

第2670地区・愛媛県

7月10日に日本を出発し、12日に目的地であるカンボジア・バタンバン州のアンロック村に到着。当クラブが現地に寄贈した学校を見学してきました。

校舎は鉄骨造りで、窓も入り口のドアも鋼板ベンキ加工しており、50年は使えるはずです。川之江RCの山川浩一郎氏が30万円を寄付してくれたことで、校舎の前庭にもコンクリートが敷

かれ、土が校舎に入らず、安心して学べる環境となりました。

今回の学校建設は、NPO法人国際地雷処理・地域復興支援の会（IMC CD）が運営する日本語学校を支援したものです。理事長の高山良二氏は地雷処理の専門家ですが、その活動以外にも井戸や学校の建設、地場産業の育成などにも尽力しています。

高山先生の教育方針は、日本語でのあいさつ、靴をそろえる、ごみを拾う、の3つから始まります。訪問した学校もごみが一つもなく、子どもたちが日本語であいさつをしてくれて感心しました。しかし、たばこの吸い殻を一つ発見！大人のゴミ捨て禁止は守りにくいのでしょうか？

私は、高山氏の自宅に宿泊しました。生活水は雨水を利用しており、不自由



完成した学校で、現地の子どもたちと体操

な2泊3日ではありましたが、おいしい食事をいただき、大変お世話になりました。「まだ200万個の地雷が残っており、その処理が一番の仕事ですが、そうした中でも学校を建て、子どもの教育をしています」と高山氏。子どもたちが彼の3つの教えを守り、習慣になれば大成功です。高山氏の草の根運動は必ず実ると確信しています。

（永田光春・記）

ロータリーの若者たちを 災害時のリーダーに育成

第2760地区

愛知県

6月16日、当地区内のロータリー青少年プログラムの関係者約430人が参加し、「学友・青少年交流シンポジウム」を開催しました。昨年開催した「第1回青少年・学友交流フェスタ」がスポーツを中心にした交流事業だったのに対し、今回は奉仕に焦点を当てた事業となりました。

当地区では2017―18年度、地域防災力の向上を目的に愛知県との防災協定を締結したことも踏まえ、ロータリーリーダーシップを学んだ青少年たちに、災害時に活躍するための知識を身に付けてもらうと計画を進めました。

ROTARY AT WORK

文章編

ロータリークラブと地区の活動を紹介、600字以内、字数を超える場合など、編集させていただきます。関連写真があれば添付してください。

バンコクに車椅子9台 航空手荷物で届ける

千歳ロータリークラブ

第2510地区・北海道

5月31日～6月4日、当クラブから会員有志9人がタイの首都バンコクを訪れ、自らの手で運んだ車椅子を、障害のある子どもたちに届けました。発展途上国に車椅子を送る活動が続ける札幌市のNPO法人「飛んでけ!車いすの会」の協力で実現した事業です。2017-18年度に初めて実施し、その体験を聞いた有志が「よしっ、今年も行くぞ」と、2年連続で届ける運びとなりました。

同会が国内で集めて修理した中古の車椅子を、私たちが手荷物として持っていくというもの。私は車椅子を必要とする人が身近にいなかったこともありどこか他人事でした。ところが、長



車椅子の乗り心地を試す子どもたち

い道のりを苦労して運ぶうち、気持ちに変化が……。『ただの大きな手荷物』が、提供してくれた人、修理してくれた人、現地との調整をしてくれた人からの『大事な預かりもの』に変わっていくのです。

バンコク到着の翌日、宿泊したホテルで重度障害の子どもを抱えてやってきた両親に会い、車椅子を渡しました。その時の子どもや両親の笑顔が何とも言えず、ロータリアンになって良かったと思えた瞬間ともなりました。

タイは経済発展が進む一方、車椅子を購入するのが困難な家庭もまだ多いそうです。車椅子がないと子どもたちを学校に連れて行くこともできません。大げさではなく、私たちが届けた車椅子が人生を変えていくかもしれない。そんな体験が本場にできたのです。

その確かなメッセージを伝えていくため、要望があれば、どこへでも車椅子を持って訪れたいと思いました。

(吉田真也・記)

ネパールの学校を支援して

浜北ロータリークラブ

第2620地区・静岡県

当クラブは前年度、グローバル補助金を使い、ネパール・ダーティン郡ルビーバレー村のシエルトゥン小中学校にトイレと手洗い設備を建設。5月7日に現地で竣工式を開いた。

学校には400人の児童生徒が在籍している。2015年のネパール大地震の震源地付近であり、地震以降、校舎もトイレも使えない状態だった。標高約1800m、首都カトマンズから車で未舗装道路を5時間ほど行き、そこから片道20kmの急勾配の細道を徒歩3日。私たちの常識を超えた山岳地の辺地にある村の復興は、ネパール政府から見放されていた。

支援のきっかけは5年前、ネパール出身のグルン・ビル・バハドさんがクラブに入会したこと。彼の願いを受け、支援の流れになった。クラブでは2016-17年度から創立35周年記念事業として着手。初年度は会員1人の個人寄付と、賛同する有志1人、臨



開校を記念して埋め込んだプレートの前で

済宗奥山方広寺の宗派による支援と合わせ、600万円で3教室を建設した。翌年度は地元代議士を通じて外務省に陳情し、日本の「草の根援助資金」という制度で校舎2棟を建設。昨年度は2年前からの準備を経て、ヒマラヤン・ゴルカロータリークラブ(RC)と協同で2棟にトイレと手洗い場を設けた。資材をロバと人力で運搬するため、建設は非常にコストが高くなる。

今回は会員62人中14人が参加し、カトマンズからヘリ4機で訪問した。参加者は子どもたちの純粋な目を見て、異口同音に「感動した」と話していた。クラブとして初の海外奉仕活動となり、今後の励みにしたい。この学校の自立を目指し、持続的に支援をしていきたいと考えている。

(藤原徹・記)

ROTARY AT WORK



学校を花いっぱい

〈佐久RC〉

子どもたちに、花を植え、育て、花々を楽しめる心を育て、育んでほしいと、植栽事業を実施した。新校舎が完成した佐久市立岩村田小学校で、2学年の児童約60人と協力し、プランター20鉢ほどに季節の花を植栽。また、学校の行事で役立ててもらおうと、イベント用テント2張りも贈呈した。今後の花の手入れや、成長を楽しみにしている。

長野県

(6月17日 第2600地区)



川遊びで子どもたちが生き生き

〈三原RC〉

自然に触れ合うことを目的に「第20回青少年やばた川自然公園川開き」を主催。広島大学附属三原小学校の児童88人を招き、総勢約260人が参加した。児童らはアユのつかみ取りの後、塩焼きを味わったほか、ウッドクラフトも体験。アユつかみには悪戦苦闘しながらも楽しんでいた。

(7月14日 第2710地区 広島県)



そば打ちと餅つきで国際交流

〈函館亀田RC〉

北海道国際交流センターを通じて、函館に在住しているアメリカ人の留学生46人を招待。日本の食文化を知ってもらおうと、そば打ちと餅つきの体験会を行った。留学生は初めての体験ということだったが、「ワッショイ」の掛け声とともに、慣れない手つきながら一生懸命にきねを振り、日本の伝統を楽しんでいた。

北海道

(7月8日 第2510地区)



希望の風チャリティーコンサートを開催

〈本庄南RC〉

クラブ創立25周年を記念し、本庄市民文化会館にてピアノ、チェロ、フルートによる東日本大震災復興支援チャリティーコンサートを企画。チケット収益を「ロータリー希望の風奨学金」へ寄付した。会員15人は不慣れた受付、誘導、進行に精を出した。当日は雨にもかかわらず、一般市民約400人が来場して演奏を楽しみ、盛況のうちに閉幕した。

(6月15日 第2570地区 埼玉県)

ロータリークラブ奉仕活動をカラー写真で紹介。写真と150字程度の説明文。字数を超える場合は編集させていただきます。必ず活動日を入れてください。記念写真(集合写真)は掲載できません。

ROTARY AT WORK



風を感じながら ロータリー談議

〈大分中央RC〉

バイク同好会には若者から年配者まで幅広い年齢の会員9人が在籍しており、月1回ツーリング、年1回の宿泊ツーリングを楽しんでいる。醍醐味（だいごみ）は風を感じながら走ること。気分爽快で旅先でのおいしい食事と談笑を楽しむ。最近是小型無線機を着けて走るので、走行中に仕事の話やロータリーの話題を楽しんでいる。

県

（6月9日 第2720地区 大分

深谷東口



そっくりさん登場に 例会が沸いた

〈深谷東RC〉

クラブでは年度の最後を締める「さよなら例会」を毎年開催する。クラブがある深谷市は新1万円札の肖像に決まった渋沢栄一氏の出身地。「渋沢栄一翁そっくりさんコンテスト」に参加し、優勝・準優勝した向井正義、鶴養秀男両会員が渋沢翁にふんじて登場。以前から活動していた「渋沢栄一翁を10万円紙幣にしよう」で作った開運10万円券を参加者に配るなど、楽しい締めくくりとなった。

埼玉県

（6月28日 第2570地区

ポリオ根絶 街頭啓発イベント

〈小樽RC〉

ロータリーデーとして小樽市中心部の商店街、小樽サンモール一番街でポリオ根絶街頭啓発イベントを行った。これまでの国際ロータリーのポリオ根絶活動について説明し、市民に理解と協力をお願いした。その後、市内中学校の吹奏楽部によるコンサートを開催。訪れた人たちは演奏を楽しんでいた。

北海道

（6月21日 第2510地区



第21回親睦チャリティ ゴルフ大会を開催（松戸北RC）

松戸市内の5クラブ合同で親睦チャリティゴルフ大会を開き、同クラブがホストを務めた。大会中の寄付金を積み立て、5年に1度、松戸市立総合医療センターへ車いすを寄贈しており、今回の15台の寄贈で延べ約50台となった。本郷谷健次市長から感謝状をもらい、地域医療関係者からもロータリーの存在意義への深い理解が得られ、今後も地域貢献を続けようと会員たちで再確認した。

県

（5月29日 第2790地区 千葉



ROTARY AT WORK



**韓国・釜山菜城RCへ
公式訪問** 〈和歌山城南RC〉
姉妹クラブとして11年間交流を
続けている、韓国・釜山菜城RC
の会長離就任式に、当クラブ
から会長エレクト、国際奉仕委
員長（当時）、クラブ創立30周
年実行委員長の3人が参加、公
式訪問を行った。3日間にわ
たつた式典、食事会、観光でも
現地会員の心からの温かい歓迎
を受け、一層絆を深められた。
両クラブの交流が、今後の日韓
友好関係改善の一助になればと
願う。
（6月27日 第2640地区
和歌山県）



**子ども相撲
健やかな育成願う**
〈京都西南RC〉
日本の伝統である相撲を通し
て、子どもたちの健全育成と
地域交流を図ろうと「嵐山こ
ども相撲大会」を嵐山中之島
公園で開催した。毎年開催し
ており、9回目となる今回は
220人の児童が参加した。
当日は台風接近中であいにく
の天気だったが、一生懸命に
取り組みをする児童の姿と保
護者の歓声で盛り上がった。
また、地元ゆかりの力士3人
も応援に駆けつけ、熱戦に花
を添えた。
（7月27日 第2650地区
京都府）

**園児のブルーベリー
摘みとり体験** 〈善通寺RC〉
善通寺聖母幼稚園の園児32人と先
生4人を招待し、ブルーベリーの
摘みとり体験を実施した。地域で
栽培されている果物をもっと知っ
てもらおうと、農園の協力を得て
4年前から始めた事業。この日は
梅雨の晴れ間で、園児たちはブル
ーベリーの実を見つけては、摘
みとり、口いっぱいにはおぼり堪
能した。楽しみながら地域の特産
物に接してもらうことができた。
（7月16日 第2670地区 香
川県）



**ポリオ根絶募金活動と
パネル展を実施**
〈名寄RC〉
名寄市総合福祉センターで開催
された「ふれあい広場2019
なよろ」に出展し、ポリオ根絶
を訴えるパネル展示と募金活動
を行った。今年は好天に恵ま
れ約2600人が来場する中、
（株）ヤクルト北海道の協賛
で、ポリオワクチンの容器に見
立てたヤクルトを配布。ポリオ
根絶の必要性を訴えた。募金総
額は6万1512円。クラブの
寄付金を加えた計10万9512
円を財団に寄付した。
（7月7日 第2500地区
北海道）



ロータリー アットワーク

ROTARY 写真編 AT WORK

インドから102人の ビジターがやってきた

東京中央新ロータリークラブ
第2750地区 東京都

8月19日、東京中央新RCの例会場・帝国ホテルは、色鮮やかなサリーや白い民族衣装のインドの方々で大にぎわい。旅行で来日中の第3232地区（チェンナイ）のロータリアン一行102人が、例会に訪れたのです。数カ月前、L・ニラカントン地区国際奉仕委員長が、グローバル補助金事業で縁のできた名古屋清須RCの三輪隆裕さんに滞在中の例会受け入れクラブを打診。広い例会場が借りられ、日程が合う同RCに白羽の矢が立ったのです。

創立18年目、会員61人の同RCが、これほど大人数のゲストを迎えるのはもちろん初めて。1カ月という短期間で準備を重ね、当日を迎えました。11時からの顔合わせでは、着物姿の会員が交代で、英語でクラブを紹介。「ティーンエージャーのクラブ。80%が女性会員です」には拍手が起き、福元智子会長とのバナー交換は実に41クラブに。大会場に移動しての例会には189人が出席。両国の会員が交ざるよう配慮された席で、よくだけた雰囲気、情報交換や写真撮影の輪ができました。ガバナーのC・チャンドラモハンさんは「国や年齢、ジェンダーなど関係ないのがロータリー」「日本の友達、南インドで待っています」と呼び掛けました。

「国内外のロータリアンが集まることで、何か別のことが生まれるきっかけ、つながりができればうれしいです」（福元会長）、「引き受けたことは、クラブの団結に役立ったと思います」（清宮晋美代幹事）。チャレンジ精神で海外からの団体ゲストを受け入れた同クラブ、今後はインドとの奉仕のつながりも広がっていくことでしょう。（取材『友』編集部 山名愛）

手に止まり無垢に光れる螢かな

愛知・新城 鳥居 栄一

静けさや忍びの里の未草

愛知・瀬戸 玉井美智子

梅雨長し延び放題の庭の草

三重・名張 城山 勝紀

草むしり寡黙となりし老夫婦

岐阜・高山 小森 丈一

旅人の吾もどんたくの群れの巾

奈良 寺田眞佐子

帰省子に先づはお見合写真かな

富山 升田 義次

波の音聴こゆる広間夏料理

大阪うつば 齊藤 隆二

雨蛙葉裏にひそと雨意の風

大阪心斎橋 西村 拓夫

取れさうで取れぬ高さにびわうるる

堺フェニックス 米田眞理子

夏木立権の大樹に憩ひをり

東大阪 溝畑 洋子

目の前の山動くごと青嵐

兵庫・神戸西 村野 利昭

心裂く出水のニュース今日もまた

兵庫・神戸西 飯田美奈子

春院展ゆたかなるかな午後の刻

愛知・名古屋錦 近藤 歌子

人は来ていつか帰ってそして初夏

愛知・名古屋錦 石井 弘子

くちなしの花に雨降る浄瑠璃寺

埼玉・日高 落合 好雄

誘われて葉草園に来て見れば
青空一杯芍薬の咲く

富山・魚津西 加納 綾子

まだかまたか船は出せるか空見上げ
釣り竿磨き爆釣想う

熊本中央 波佐間英樹

江ノ電のレトロの客車ガタコトと
程よいリズムに雨中を走る

神奈川・相模原 佐藤 清一

仲間皆西瓜マラソンのボランティア
唯ひたすらに西瓜切り分く

千葉・富里 寒郡 政雄

新駅の赤いポストに投函す
蕾ふくらむ山百合の歌

茨城・友部 矢吹 和夫

心残しカザフスタンへ帰るひと
古事記の学位胸に抱きて

京都東 池田 敏子

「まいどつ」と「もうかりまっか？」で事足りて
バブルに酔ったあの日遠い日

大阪天王寺 高見篤志郎

雨音の遠のく朝よ水無月の
白あじさひに紅の斑の落つ

熊本水前寺公園 北里美知子

お芋から作るコロッケうまかりき
今も及ばず母そはの母に

茨城・古河東 小山 幸子

あしたには赤あざやかな野苺草
一日だけの命かなしも

神奈川・川崎西 吉田 恵一

年一度開扉の塔につどふ人
誰も黙して耳をお経に

奈良 寺田眞佐子

山もなく川もないけど住みやすし

埼玉・入間南 大野 快三

最終章あとはこの世に恩返し

群馬・伊勢崎 茂木 克美

貸し出しの傘戻つてうれしさよ

埼玉・熊谷龍原 森田 光彰

親子二代新会員の歯切れ良さ

神奈川・横浜旭 吉原 則光

愛犬と散歩のコース今ひとり

山梨・甲府北 土橋 幹夫

顔見るより老いの確認同窓会

愛知・新城 鳥居 栄一

マナーモード口にも欲しい電車内

京都・宇治鳳凰 清水美榮子

正義感だらう向日葵直立だ

大阪西 鴨谷瑠美子

アレとソレだけで通じるわが家族

香川・高松 大平 昇

返します転ばぬ先の免許証

福岡イブニング 田中 孝二

人生百年まだ二十年残つてる

福岡イブニング 菊池 文彬

追うように寄り添う君よ月に似て

福岡イブニング 乙木 新平

凜として点鐘響く初例会

熊本中央 波佐間英樹

風さやか相手探しの赤とんぼ

神奈川東 飯田 泰之

主治医殿急に優しくなる不安

神奈川東 青柳 紀

安売りのチラシがメニュー晩御飯

神奈川東 小山 市康

投稿規定 ◇雑詠 ◇クラブ会員、家族 ◇一か月に葉書一人
一枚に三句まで ◇締切日 二〇日必着 ◇葉書ウラにもクラ
ブ名・氏名、電話明記 ◇楷書で明確に ◇『友』俳壇係宛

投稿規定 ◇雑詠 ◇クラブ会員、家族 ◇一か月に葉書一人
一枚に三句まで ◇締切日 二〇日必着 ◇葉書ウラにもクラ
ブ名・氏名、電話明記 ◇楷書で明確に ◇『友』歌壇係宛

投稿規定 ◇雑詠 ◇クラブ会員、家族 ◇一か月に葉書一人
一枚に三句まで ◇締切日 二〇日必着 ◇葉書ウラにもクラ
ブ名・氏名、電話明記 ◇楷書で明確に ◇『友』柳壇係宛



稲畑 汀子 ㊦

天井に蛇這うてゐる音の蔵

兵庫・甲子園 田中 由子

今は蔵のある家も少なくなつたのではないか。古いお屋敷は蔵があつて、大事な荷物が仕舞（しま）つてある。あまり使わない荷物なども仕舞つてあるので、蔵を開けることもすくないのであろう。そこにはひっそりと蛇も棲（す）んでいたりする。入つて見て蛇の動く音と聞き止めた作者の心情が想像される。

取り敢へず前菜としてトマト切る

福岡城南 古武 草徑

客を招いての食事を設営し、やがて客の来られる時間が迫つてきた。取り敢（あ）えず、自宅の畑から新鮮なトマトを挽（も）いで、それを前菜として供することにする作者。新鮮で、よく熟れたトマトを剪（き）つて供することに、作者の心配りが感じられる夏の一幕である。トマトの熟れる畑の手入れに勤（いそ）しむ作者までが、想像される句である。

墓前にて日傘さしかけくれし人

千葉・富里 寒郡 政雄

夕涼み赤子の夜泣き止みにける

愛知・稲沢 橋本 歩々

熊よけの鐘をならして尾瀬の夏

愛知・蒲郡 本多 幸子



佐佐木幸綱 ㊦

山車舞の荒さ隠して浪切は
せまき城下の灯を静めたり

奈良 井村 昌司

堂々とした調べで、浪切神社をうたっています。讃（た）えています。ご神体もこの歌を喜ばれるだろうと思います。浪切不動が祀（まつ）られている岸和田市の浪切神社は、岸和田だんじり祭の安全祈願で有名です。上句「山車舞の荒さ隠して」は、そのことを言っているようです。

岸和田は岸和田城の城下町でもありますから、浪切神社は、城下町一帯の守り神でもあるわけですね。「城下」はその意味です。

オレンジが好きな色なり潮風の
蜜柑畑で育ちたる君

宮崎 蘭田 潤子

海を見下ろす斜面一帯に蜜柑（みかん）がたくさんあって光景が目につかびます。秋の海を背景に、オレンジ色の蜜柑を照らす明るい太陽。私は瀬戸内海の因島で、このような光景を見たことがあります。蜜柑農家をいとなむ先輩の家を訪ねた折のことでした。「君」が生まれ育ったのも、海を見下ろす蜜柑農家だったのでしょうか。読者の心に、明るく、健康的な「君」が思い浮かびます。

「糸」を見ると母の匂いのよみがえる
母の名の中に「糸」があったから

和歌山・田辺 山路 守



てじま晩秋 ㊦

断捨離で思いめぐつてまたタンス

北海道・斜里 辻 舒宏

衣類や日用品を整理しようとタンスやケースから出してウロウロ……捨ててしまおうと思つても、使用時の高ぶつた弾む心を見ると、おもいきれないでたみ直してまたタンスの引き出しに戻す。これが人情ですね。

幸せを見つけるために回り道

青森北東 遠間 善弘

「回り道」をすれば幸せを見つけることができるかどうかは分からないけれど、その努力を惜しまぬ姿勢には共鳴いたします。そんな試行錯誤もいいことだと思いますね。

妻と喧嘩なんで勝てない弱い僕

大阪・堺清陵 物種 唯修

若いころは「亭主関白」だと自認しておりましたが、それがとんでもない自己満足であったことが最近、やっと分かりました。ばかな私でしたね（笑）。勝てない弱い僕がよろしいのですかねえ、唯修さん……よく考えてみます。そう言えば、妻と喧嘩（けんか）、しばらくやってないです。正解なんですか。

行く先のメモを残して立った鳥

新潟 小林 悟

インフルエンザについて

(医) 沖縄徳洲会
湘南厚木病院 院長 黒木 則光

インフルエンザにはA型、B型、C型があり、人に感染するのはA型、B型です。2009年にパンデミック（世界流行）を起こしたA型は人だけでなく豚や鳥、馬に感染します。C型は数が少なく、感染することはあまりありません。A型ウイルスにはHA、NAとあり、HAだけで16種類、NAだけで9種類、この組み合わせによってA型には全部で144種類あります。さらにウイルスは変異するため、毎年少しずつ変異して人に感染します。

気を付けたいのが飛沫感染です。咳エチケットといって咳をしそうになったらハンカチで口を覆う。一番効果的なのがマスクです。厄介なのが接触感染です。ウイルスがいるドアノブなどに触り、その手を口に持っていくてしまい、感染します。マスクは当然ですが、インフルエンザがはやる時期は定期的に手洗い、うがいをすることが効果的です。

インフルエンザの世界流行はこれまでに大きく3つあり、一つは1918年の通称スペイン風邪で、世界の死亡者数が

4000万～8000万人ともいわれ、日本では約40万人が亡くなったそうです。次に1957年のアジア風邪。世界で約200万人が死亡しています。次に1968年の香港風邪で、約100万人が死亡しています。最近では2009年ですが、致死率は低いものでワクチンが効きました。

一番の対策は予防接種です。特に65歳以上の高齢者と幼少児は重症化しやすいため、毎年予防接種をした方が良いでしょう。大体2週間ほどで免疫がついて、3～4カ月効果がありません。例年12～3月に流行するため、その前には接種しておきましょう。

インフルエンザの症状は、一般的には早い段階で高熱が出て、倦怠感、関節痛が出ます。恐ろしいのは、ウイルスが一つ口に入ると8時間後に100個、24時間後に100万個と、ものすごい勢いで増えること。症状が出た場合はすぐに病院に行ってください。ただ、発熱から半日たらずに病院で検査をすると陰性になる場合もあります。

感染しないためにも、予防接種、手洗い、マスクを励行し、乾燥に気を付けましょう。

(第2780地区・神奈川県・厚木中RCにて・同RC会員)

生き方

人間として一番大切なこと

徳島プリンスRC 坂田千代子

京セラ創業者・稲盛和夫氏が塾長を務める「盛和塾」に入塾して約20年になります。多くの著書を読んで経営者としての学びを深めましたが、中でも本書は「人間として正しいことを追求する」という、単純な原理原則が揺るぎない指針となることを教えてください。

「一生懸命働くこと、感謝の心を忘れないこと、善き思い、正しい行いに努めること、素直な反省心でいつも自分を律すること、日々の暮らしの中で心を磨き、人格を高めつづけること」。当たり前ともいえる生き方にこそ、明るい未来があると書いています。

世の中が大きく変わっても、人としてどう生きるかということにおいて、大切なことは変わりません。盛和塾も今年の年末には解散となりますが、人生の節目や迷ったときに読み直したい一冊です。(第2670地区 徳島県)

生
方
稲盛和夫

稲盛和夫 著
サンマーク出版
2004年 8月刊

● 人生を変えた本、思い入れのある本、最近感動した本を紹介。320字以内、対象は入手可能な市販書籍(絶版・自費出版、応募者と直接関係する書籍は除く)。表紙は編集部で用意します。

卓

話



■「卓話の泉」は、クラブの会報、週報に掲載の卓話の中から、客観的内容の話題、ミニ知識となるものを主に選んで要約、掲載しています。

日本刀の話

日本刀コレクター 池永 済

日本刀とは、鉄を鍛えて作られた反りのある姿をした刃物の総称で、約1000年の歴史があります。古墳などから発掘される真つすぐな姿の直刀は、正確には日本刀には分類されず、上古刀と呼びます。

刃を下にして腰の二方所で身に着けるものを太刀、刃を上にして帯に斜めに差して身に着けるものを刀と呼びます。現代の分類では、刃の長さが60センチ以上のものを刀、60センチ未満30センチ以上のものを脇差、30センチ未満のものを短刀と言います。

「単刀直入」「一刀兩断」「抜き打ち」「鎧を削る」「つばぜり合い」「切羽詰まる」「反

りが合わない」「元のさやに収まる」など、日本刀に関係のある言葉が今でも日常会話で使われています。日本刀は武器としての役目は終え、日本が世界に誇る美術品・文化財としてその価値を示しています。事実、日本刀は世界最高の刃物であると世界中から評価されています。

日本刀の優れた機能として「折れず、曲がらず、よく切れる」と表現されますが、これは大変難しいことです。切れるためには刀が硬くなくてはならず、硬いということとは衝撃に弱くもろいということであり、折れないためには軟らかくなくてはならず、軟らかいと切れない上に、曲がつてしまいます。この相反する難題を刃金、皮金、心金といった鉄の硬度を変えて多重構造にすることで、外側の硬い鉄で切断、内側の軟らかい鉄で柔軟に、さらには刀身に反りを持たせることで切断の衝撃に耐えるのではなく、刀身全体を波打たせて力を逃がすことで解決しました。この製法は、日本固有の伝統技術として継承されています。

鉄で作られたものとして、1000年を超えて今も当時の姿を残し、数多く保存されているものは世界を見渡しても他には存在しません。

(第2680地区・兵庫県川西RCCにて・同RCC会員)

私の一冊

聖書と歎異抄

熊本江南RCC 青木 祐心

作家の五木寛之氏とカトリック司祭の本田哲郎さんの対談です。五木さんは親鸞の弟子の唯円が記したとされる『歎異抄』への造詣が深く、著書も多くあります。本田さんはバチカンに渡り、ローマ教皇庁立聖書研究所を卒業後、大阪市西成区で失業者や路上生活者の支援活動をするなどして現場に学びつつ、『聖書』の翻訳や研究をされています。

このお二人の対談で語られるのは、宗教を超えた世界観です。五木さんは、前書きの中で『聖書』という地上にそびえ立つような偉大な物語に対して、『歎異抄』はささやかな備忘録といていい小冊子である、しかし「この対話が、読んでくださる方々に何かささやかな気づき、きにもなれば嬉しいのだが」と書いておられます。宗教や宗派を超えた対談です。

(第2720地区 熊本県)



五木寛之
本田哲郎

聖書と歎異抄

これまで語られなかった真実

五木寛之・本田哲郎 著
東京書籍
2017年4月刊

翌日はあいにくの雨でしたが、志布志みなとRCの皆さんの案内で、内之浦宇宙空間観測所、海上自衛隊鹿屋航空基地資料館・基地見学と、

その後、場所を移動しての記念撮影、懇親会が和やかに進められ、楽しいひとときを過ごしました。第3回の開催を望む声上がり、再会を約束してお開きとなりました。

この交流会は、2018年9月に七尾みなとRCの音頭により和倉温泉で初開催され、2回目の今回は志布志みなとRCのお世話で行われました。千葉港RCからは7人が参加。本交流会実行委員長・岡留洋治会員（志布志みなとRC）の開会あいさつ、「奉仕の理想」斉唱、各クラブの概要とご当地紹介などの後、第2770地区バスターガバナー・中村靖治会員（吉川RC）の見守る中、4クラブがバナーを交換。クラブ活動をはじめ、さまざまな情報交換ができました。



「みなと」つながりロータリアン、今回は鹿児島に集結！

地区を超えた 野球大会、14年

新潟南 長谷川厚史

1959年創立の新潟南RCは、今年60周年を迎えます。創立時からの社会奉仕活動として、児童自立支援施設・新潟県新潟学園への支援活動を行ってきました。学園の子どもたちと一緒に野球をするなど支援を続ける中で始まったのが、新潟南RC野球同好会です。クラブ会員数105人（女性会員3人）中、同好会会員数は32人（女性2人）。月2〜3回の練習や試合、遠征など、和気あいあいと活動しています。

さる5月24〜25日には、「第14回ロータリー手をつなごう北関越野球大会」を開催。この大会は第2820地区（茨城県）の日立北RC、第2840地区（群馬県）の伊勢崎中央RC、第2550地区（栃木県）の鹿沼RCと当クラブの4クラブによる親睦野球大会です。今年で

めったに入れない場所に案内され、一同感動の体験をしました。大隅半島はウナギの養殖も有名ということで、山田水産（株）有明事業所でウナギの養殖現場も見学させてもらい、盛大で素晴らしい企画とおもてなしの真心に、ロータリーの友情を感じました。これこそロータリーの絆であると思います。今後、友情の輪を広げ全国の「みなと」「港」「湊」と名の付くロータリーの仲間の参加を呼び掛けたいと考えています。集まれ!! みんな なかよし ともだちロータリアン!（第2790地区 千葉県 歯科医）



前夜祭でも大いに親睦を深めました

14回目となり、1日目の前夜祭、2日目の野球大会で大いに親睦を深めました。この大会が始まったきっかけは、ロータリー100周年を記念して始まった「グレン&千杯ロータリー選抜野球大会」（現在はさらに「田中作次旗」の冠も付く）の第2回大会（神宮球場で開催）時のことでした。鹿沼RCからのお声掛けで参加したのですが、「近隣県で野球大会をしましょう」という話を持ち上がったのが発端で、それから14回を重ねるまでになりました。この4県（4地区）は、くしくも約50年前までは同一地区（355地区）という不思議な縁があります。野球を通じた親睦がますます盛んになることを祈念しています。

（第2560地区 新潟県 事務機販売）



モフモフ一筋で80を迎えました

わゆるシエルターです。シエルターワークを勉強するために(公社)日本動物福祉協会に入会し、動物福祉の先進国イギリス流の教育を受けました。保護・譲渡の仕方や、安楽死のさせ方、必要性などを学び、シエルターの継続は、生易しいものではないと知りました。

でも、私がやらなければという一途の気持ちで、(公社)日本動物福祉協会横浜支部を立ち上げ、組織的な活動を開始。あれから44年間、優しい家族に迎え入れてもらった犬や猫の数は5000頭にもなりました。また、譲渡された犬たちは寿命を全うし、同じ家族が2代目、3代目を迎えに来てくれています。

犬や猫たちは人間を楽しませに来ているのです。決して彼らから悲しませることはありません。あの純粋な気持ちの動物たち。つづらな瞳、モフモフの体で家族の中に入り、怒られたり、褒められたり、笑いの中で今日も幸せに暮らしていると思います。

この道一筋、もう私も80歳になりました。明日は例会だ。皆さんに会えることが楽しみです。歌は「奉仕の理想」かなあ。

(第2590地区 神奈川県 獣医師)

ちよつと嫌な話

三河安城 堀尾 豊

『友』2019年4月号本欄に「ちよつといい話」と題した投稿が載っていた。興味を持って拝読したところ、電車の中で席を譲られた話であった。私は82歳になるが、日本で電車の中で席を譲られた記憶はない(中国ではあったが)。名古屋の地下鉄で、約20分かけて目的地に行くことがあった。20分ただ立っただけなら不可能ではないが、電車で揺られての20分はちとつらい。疲れてもいたので、優先席めがけて乗車したが、そこには幼稚園児らしき子と若いお母さんが席を占めていた。お母さんはスマホに夢中。私は勇気を出してお母さんに「悪いけど座らせてくれない?」とやや大きな声で言った。しかし、例によって知らん顔。私は子どもに「立て」と言ったのではない。せいぜい、お母さんが子どもさんを膝の上に座らせてくれないか、と思ったのだ。だって子どもは無料でしょ?

私は学生の頃、大人が立っただけで自分が座っているのが恥ずかしかった。必ず席を譲ってほしいと思う。近頃の電車の中の様相は一変してしまった。特にスマホができてから。どうなってしまうんだらう、日本は? 情けない気持ちでいっぱいである。

という私も、自分の子どもとは、考え方がかなり違う。ロータリーの会合などで、「良い大人になるように子どもを教育してください」と言われるたびに、胸が痛む。

私の宝物



1985年5月4日、親友・筒井康隆の全集出版会の席上、手塚治虫氏と出会った。手塚氏とは悦子夫人と私の姉が親友であったことから話が弾み、差し出した紙に神主姿のアトム漫画を描いてくれた。これが「私の宝物」である。

加藤 隆久(兵庫県・神戸RC)

「みなと」ロータリークラブ交流会

千葉港 藤本 俊男

5月17日、鹿児島県志布志市の国民宿舎で「みなと」ロータリークラブ交流会を開催。「みなと」と名の付く全国14のクラブの中から、七尾みなとRC(石川県)、志布志みなとRC(鹿児島)、東京みなとRC、千葉港RCの有志約50人が集まり、交流しました。



1949年8月18日、空から救命具や食料が投下された

舞台は戦後間もない1949（昭和24）年8月、盆明けの九州の小京都・小川の祇園川。現在が国有数のゲンジボタルの里としても知られているが、当時、三日三晩降り続いたジュディス台風の大雨は約700ミリに達し、流域は上流から下流まで大氾濫、未曾有の大洪水となる。当時9歳の私は、この祇園川の上流に建つ酒蔵に隣接の自宅に住んでいた。洪水の朝、見ると母屋の大きな建物などは完全に流され、跡形もない光景に衝撃を受けた。

私の父は酒造業の傍ら、蔵の1キロメートルほど上流の場所（1946（昭和21）年、終戦後の農村の復興を願い、農業大学「天山高農塾」を経営していた。農業技術のみならず人間教育にも力を注ぎ、客員教授としてかの安岡正篤先生にもたびたび講義いただいていたが、その台風で校舎や寮、図書館も全て流されてしまった。

当時はまだアメリカの占領下だったが、なぜかこの大災害の惨状を進駐軍が克明に撮影し、写真を佐賀県へ寄贈していた。県はそれを県立図書館と小城主事務所にも奥深く保管した。そ

の写真の存在を全く知らなかった私は、この台風による大災害のことを卓話で取り上げたのである。

ドラマはここから始まる。翌日、この卓話を聞いていた先輩ロータリーの故・古賀富夫氏が、複数の水害写真の拡大コピーを持参されたのだ。この写真は小城主事務所が閉鎖される際に、他の資料と共に焼却される運命にあったところ、元県庁OBの故・今村未雄氏が現れ、間一髪で焼却を免れたものだった。

さらに、県立図書館にも同様の写真がある事実を、私の友人や旧知の郷土史家が教えてくれた。図書館から門外不出のこれら写真の貸し出しにも彼らにご助力いただくなど、不思議な偶然が連鎖した。

こうして写真の存在を知った私は2002年から毎年、この16枚の一連の写真を拡大してボードにつるし、小城市内の小中学校や図書館、佐賀県庁ロビーなどの諸施設で「蜚の里祇園川幻の写真展」として移動巡回してきた。延べ1万人以上の人に見ていただけたと思う。自然大災害が頻発する昨今、防災意識の高揚の一助となったなら幸いである。

思えば私が卓話で語った昔話から、偶然が偶然を呼ぶ形で、何人もの人が登場する物語を掘り起こした。社会奉仕に少しでもつながったとすれば、やはりロータリーの「力」は素晴らしいと思う。また、ロータリーの生みの親ポール・ハリスの国アメリカが、当時よくぞ敗戦国日本の田舎の被災地の写真撮影を敢行されたと、深い敬意を表し、70年の時空を超えて感謝を申し上げたい。（第2740地区 佐賀県 日本酒製造）

モフモフたちと 付き合って

横浜旭 兵藤 哲夫

獣医学校を卒業して、もう60年近くにもなります。卒業と同時に、私は地方公務員として働くことになりました。辞令は狂犬病予防員という仕事です。まさしく狂犬病が社会に広がらないようにするのが役目でありです。狂犬病を防ぐことは、予防注射をしたり、伝染源となる飼い主不明の犬たちを収容して処分することです。

私は毎日毎日、この犬たちを車に乗せて化製場（死亡した家畜の死体などを処理し、資源として活用する施設）まで届けるのです。犬は殺処分されて皮はなめされ、ポーチや名刺入れ、財布などに加工され、人間社会の役に立っていたのです。

役目とはいえ、あのつづらな瞳のモフモフたちを処分するのは大変つらいことでした。私はただただ人間社会の安全のためと、自分の仕事としての使命感だけが礎でした。その後1年を経て私の生活に変化が生じ、公務員を退職して、横浜に動物病院を開設することになります。

開業して十数年たつと、少し生活に余裕が出てきました。ロータリークラブ入会の勧誘を受け会員になったのはこの頃です。30代の私の目にはロータリークラブの運営が素晴らしく、とても新鮮なものに映りました。社会奉仕、職業奉仕など、私は教育されました。

その後、私は入院室を開放して、飼い主のいない犬や猫たちを保護することになりました。い

ロータリーの奉仕と親睦

博多 穴井 元昭

ロータリーの定義で分かりやすいのは、2017—18年度第2510地区ガバナー・武部實氏が言う「奉仕の心を持つ多少恵まれている人たちが、世界中の多くの恵まれない人たちのために支援する組織であり、会員一人一人の支援は小さいけれど、世界中のロータリアンがまとまると、とても大きな支援になる」(『友』2017年2月号「視点 ガバナーのページ」欄より)である。

一方、同じ欄の中で「ロータリー活動の原点は親睦と奉仕の2本柱だが、最近『手続要覧』に親睦の文字が見当たらず危惧している。親睦が欠けるとロータリー運動が成立しないし、会員減少は親睦の欠如の結果である」との主張(第2550地区ガバナー・栃木秀磨氏)がある。また、数年前のロータリー研究会では、「例会なくして親睦なし。親睦なくして奉仕なし」との堂々たる主張を聞いた。

ポール・ハリスは著書『ロータリーの理想と友愛』(1936年、米山梅吉訳)の中で、「アメリカの大都市では、再び1905年の発足点に立ち戻って、気が合う者同士が集まって友愛の空気に浸り、ただそれのみで満足することを希望するロータリアンも少なくないようである。類をもつて集まろうとする本能は原始的であるだけに、ともすれば他の一切の考えを遮断してしまう。そしてそれは、セメントのごとくロー

タリーの内にも凝結しているのである」と述べている。

また、シカゴ大学の研究報告書を引用し、「ロータリーに普及している友誼(友情)は、もっとも望ましいと思われる奉仕の形に導くものとはなっていない。従って、どのような方策をとるべきかが問題である。ロータリーは今普及している fellowship とは異なった形の友誼を増強するための、かなり異なった形のプログラムや団体活動の努力をしなければならぬ。積極的に、社会的に意義のある活動プログラムに貢献する公共心のある献身によって象徴される形の友誼を増進するような努力が必要である」とも述べている。

『手続要覧』などで「親睦」を検索すると、主要な2つがある。中核的価値観5項目の中の1項目と、ローターアクトの標語「Fellowship Through Service(奉仕を通じての親睦)」である。つまり、ここでの親睦は、友愛的親睦ではなく、奉仕活動を通じた「仲間意識」あるいは「同志愛」という意味であり、中核的価値観の「親睦」も同様に訳すと文脈が理解できる。

ケンブリッジ英英辞典によると、fellowship とは「共通の興味を持つているか、あるいは集団として何事かを行っている人々の間に存在する友好的な感情」とあり、やはり「仲間意識」あるいは「同志愛」である。

実際に年齢、性別、職業、言語、人種、宗教などが異なる全世界のロータリアンが、日本語が意味する「親睦」を持てるかは疑問であるが、超我の奉仕を志すロータリアンとしての仲間意識であれば直ちに共有でき、絆を感じて手をつ

私の宝物



大学時代に路上で拾った万年筆。あまりの書き心地がいい、手元に。が、いつの紛失。以来、究極の一本を求め万年筆逍遙(しょうよう)。魅力は、どんなペンでも心を込めて接すると、自ら書き味を上げて応えてくれること。

葛西 徹(青森県・弘前RC)

なぐことができる。奉仕あつての fellowship ではないだろうか。

(第2700地区 福岡県 予防医学)

卓話が呼んだ60年前の幻の写真

小城 七田 利秀

卓話、奇跡を起こす。ポール・ハリスの底力? これは本当にあった話である。

ロータリー歴も43年になると、老タリアン(?)と呼ばれそうだが、わがロータリー人生の中で、約15年前のある例会で行った私の卓話は、いくつもの不思議なドラマを生んだ。



常に挑戦を続ける笹川さんを、クラブも応援

ターナショナル・グローバル」に向け、英語スピーチの猛特訓を受けていました。

彼女の美と知への探求心はどこから生まれてくるのでしょうか？「少しでも他の人の役に立てればと思う気持ち、自分を動かす原動力です」と彼女はよく口にします。確かに、彼

女の挑戦は周りの人に元気と勇気を与えています。

皆さん、一昔前のことわざを思い出してください。「立てばシャクヤク、座ればボタン、歩く姿はユリの花」。これら日本を代表する名花に重ねて、笹川正子さんをご想像ください。たおやかな美しさと、困難に負けない強さを兼ね備えた笹川さんに、長岡西ロータリークラブ（RC）からも大きなエールと拍手を送りたいと、大会前には例会で壮行会を開きました。

世界大会では長岡美人の魅力と底力を世界に発信し、待ちに待った結果、笹川さんは特別賞に輝きました。さらに彼女の挑戦は続きます。今は、東京2020オリンピックの聖火ラン

ナーを目指し、卓話全国制覇？と夢を膨らませております。どうぞお声掛けください。

（第2560地区 新潟県 仏壇・墓石・祭り用品）

国旗・国歌に感謝

盛岡東 熊谷 達雄

『友』2019年6月号本欄で、広島西RC・諏訪昭登会員の「例会で『君が代』合唱の始まりは？」を拝読しました。ロータリーに入会して1年になりますが、例会場の国旗掲揚と「君が代」斉唱はさすが世界のロータリー、と感心しました。なぜなら、自国の国旗・国歌に敬意を表すのは、国際常識だからです。

戦後の日本では、公の会合などでの国歌斉唱や国旗掲揚はめったになく、学校での国歌斉唱に反対する教師もまだいますが、そんな中で日本のロータリーが1949年に国際ロータリー復帰後もこの習慣を一貫して続けてきたことは素晴らしいと思います。

私たち日本人は、正月には神社にお参りをします。昔から自宅や職場に神棚や祠（ほこら）に祭り、神社仏閣に敬虔な気持ちでお参りされる方に成功者が多いのも事実です。有名な遣伝子学者の村上和雄さんは、ご先祖に感謝すると幸せ遣伝子が活発になり、体の細胞が健康で元気になる、と述べておられます。

神様を大切にすること、国旗・国歌を敬うことは深くつながっています。まして、他国では血生臭い戦いをうたった内容の国歌も多い

中、「君が代」は、原典が『古今和歌集』の庶民の恋愛歌にあるとされ、「日の丸」は、万物の生命の基である太陽をかたどった簡潔にして荘厳なものです。私は20年近く、日本のはじまりを伝える古文獻を学び続けて皇室の由来を知り、日本人に生まれた幸せをかみ締めております。私の幼児期の記憶では、1951（昭和26）年の対日講話条約締結の翌日、町内ほとんどの家々が一斉に日の丸を掲げて祝った輝かしい光景がいまだに忘れられません。

ところがその後、国旗を掲げるのは右翼という風潮が蔓延し、次第に祝日も掲げなくなりました。私は努めて祝日には国旗を家の前に掲げますが、私以外には近所の交番と数軒のみになりました。

このように、国旗・国歌と共に神社や神棚を軽んずる傾向が、今や年配者にまで及んでいます。これは、戦後70年以上続いた「先祖を敬うことは宗教」とする、教育基本法に大きな原因があるのではないのでしょうか。ある国際機関の調査によると、日本の若者たちの自己肯定感世界で最も低いという結果が出たそうです。こうしたことと、最近多発する不可解な凶悪犯罪とはつながっていると私は考えます。真に憂えるべきことで、誤った歴史教育は早急に改めるべきでしょう。

令和に御世替わりし、今後もロータリークラブの例会での国歌斉唱はぜひ続けていただきたいです。今、世界では行き過ぎたグローバル化が各国で見直されつつあります。私たちは国旗・国歌の由来を深く理解し、この国柄を大切にしていきたいでしょう。（第2520地区 岩手県 画家）

状態で「今年こそは会えるといいね」との言葉を交わすばかり。

同期会の機会もない中、びっくりするニュースが飛び込んだ。1979—80年度の元来日交換学生（オーストラリア人9人、アメリカ人1人）がそろって日本に帰ってくるというのだ。「そろって日本へ!? 近くにいる私たちは同期会をしてないのに……」。

当時の来日交換学生といえば、私たちが帰国時に東京にいた学生たち。40年前は日本の派遣交換学生は3月に出発・帰国、来日交換学生は1月に来日・帰国だった。つまり彼らは、私たちが1年の留学期間を終えて日本に戻ってすぐの時期に、一緒に活動した元インバウンドということになる。

「懇親会をやるので参加しないか」とのお誘いをいただき、「ぜひ行きたい!」と参加表明。しかし、フェイスブックもインスタグラムもない時代のことである。しばらくは手紙のやり取りをしていて仲の良かった人とも、何十年も音信不通状態。あまりにも久しぶりなので、覚えていてくれる人がいるのか、ドキドキしながら参加した。

会場のレストランには、当時お世話になった元青少年交換委員長の高川泉氏をはじめ、元交換学生の先輩後輩、同期の仲間、懐かしい面々数人を見つけ、一気に40年前に戻った気分。「覚えていてくれる人がいるか」など全くの杞憂（きゆう）、大体の方は一目見てお名前が出てきたのだが……。

元来日交換学生の方はパートナーと一緒にの人も多く、見覚えのある顔がない。実は前の晩に



40年の時を経て、感動の再会

古いアルバムを引っ張り出してきて、彼らの名前と顔を予習（復習?）していたのだが、人のことは言えないけれど、皆ちゃんと40年分年を取っているからなかなか一目で誰が誰か分からない。でも、一人だけ「あ! 彼女……!」

私がオーストラリアに派遣されている最中にその地区の派遣交換学生になり、一緒にオリエンテーションキャンプなどに行き、日本の私の地区に来ることが分かり大喜びし、日本でも仲良くしていた元来日交換学生を見たとき、その顔に昔の面影をしっかりと見つけることができた。彼女に近づき、「私を覚えてる?」と聞くとうとしたら、口を開く前に「Miki!! 美紀ね!!」と強くハグをしてくれた。そのあとは何回ものハグと、涙と、おしゃべり……。その他の何人かとも名前を確認し、お互い「覚えてる!!」と叫び合い、昔話に花を咲かせ、あつという間に2時間が過ぎた。

感動的な再会、懐かしい時間を過ごし、同期の友人とも「今度こそ同期会を!」と約束し、幸せな気持ちで帰宅した。私の人生の基礎をつ

くり、いろいろなことを学ばせてくれたこのプログラムの素晴らしさを改めてかみしめ、ロータリーに感謝した夜だった。

（第2750地区 東京都 建築設計）

※編集部より…翌日の同窓会の模様（東京神田RCの記事）を『友』9月号本欄に掲載しています。

長岡西RCから 美の世界へ

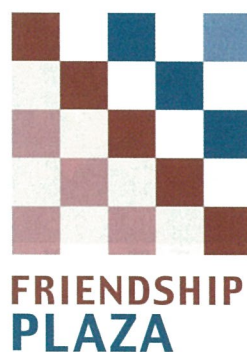
長岡西 桜井カツエ

ロータリークラブの会員増強・維持が課題となっていた昨今、日本では特に女性会員が少ない現状です。そんな状況の中、女性であるという誇りに、さまざまな挑戦をし、今まさに輝いている笹川正子さんをご紹介します。

彼女の挑戦した、既婚女性を対象とする「ミセスジャパン・インターナショナル・グローバル」は、不健康に思えるほど細いウエスト、肌の色の違い、といった外見的なことではなく、他者を慈しみ、自己をも愛し、教養と勇敢さで輝く内面の美しさを尊重した大会です。笹川さんは1月のグランドファイナルの45歳以上の部門で、みごとグランプリの栄冠に輝きました。

いつも明るくほほ笑んでいる笹川さんからは想像できませんが、若い頃からリウマチを患っていたそうです。苦難に遭った時、人は自分の不幸だけに気持ちが向いてしまいがちです。しかし、笹川さんは違います。流行に取り組み、ハーフマラソン大会に参加、そして7月にマレーシアで開催される世界大会「ミセス・イン

友愛の広場



エッセー、海外のロータリークラブ訪問記、時局雑感など。1,000字以内。関連写真があれば添付してください。

米山学友世界大会で「絆」を実感

第2760地区米山学友会 林 琼

7月25～29日、(公財)ロータリー米山記念奨学会の齋藤直美理事長をはじめ、第2760地区米山委員、米山学友・奨学生など総勢20人でモンゴル・ウランバートルに行き、米山学友による第2回世界大会「絆 in モンゴル」(モンゴル米山学友会主催)に出席してきました。

一行はまず、モンゴル米山学友会初代会長で今大会実行委員長のジャンチブ・ガルバドラツハさんが理事長を務める新モンゴル学園を見学。幼稚園から大学まで日本式の一貫教育体制を採用し、国際社会で通用する人材を育てています。学生を日本やアメリカ、中国、イギリスなどに留学させるなど(卒業生のうち3分の1は海外へ)、モンゴルの教育分野、国際社会へ

の貢献で成功を収めています。モンゴル大統領や日本の安倍首相夫人が訪問するほどの有名校で、ジャンチブさんは、ロータリアンの支援を受ける側から、自らもロータリアンとなり、モンゴルの若者の教育を支えるという、支援側に回った米山学友です。

続いて「絆 in モンゴル」に参加。式典には、世界16の国と地域から米山学友とロータリアンなど約400人、現地モンゴルの参加者も合わせると約550人が登録。終始感動の連続で、モンゴル米山学友が感謝の気持ちを込めて「米山の絆」を大合唱した時には、出席者が一心同体となり、その歌詞にある通り、本当に「僕ら同胞、心は一つ 共にいると、幸せいっぱい」。

感動と感謝の気持ちがあふれ、大会中にも広がる、大成功の大会でした。

何と偶然に



モンゴルで多くの出会いがありました

も、第2760地区海外枠の米山奨学生として今秋、日本に留学予定のドーギーさんとここで出会えました。急ぎよ、2日間を当地区グループと同行したことで、彼女にはいち早く「米山」の素晴

らしさを知る機会となりました。

同行のモンゴル出身の米山学友も大会運営を手伝ったり、現地の学友と喜びの再会を果たしたり。今年4月から名古屋大学博士課程に在籍しているジャンチブさんも、9月の当地区米山学友会総会への参加を決めるなど、収穫の多い大会でした。

中国米山学友会総会、2016年韓国・ソウル国際大会での米山学友の集まり、17年熊本での第1回米山学友世界大会、18年財団設立50周年記念式典、そして今回の第2回米山学友世界大会と、当地区米山学友は各行事に積極的に参加し、他地区や海外の米山学友同士の交流を図り、友情を深めてきました。米山学友の「絆」は民族を超え、世代を超え、国境を超えて築かれます。「米山」の誇りと縁に感謝し、永遠に大切にしようという気持ちが一層強くなりました。

今後米山記念奨学事業の発展を祈念し、世界平和のために、米山学友の輪をさらに広げていきたいと思っています。(第2760地区 愛知県)

元青少年交換学生と40年ぶりに再会

東京あけぼの 近間 美紀

ロータリー青少年交換学生としてオーストラリアに派遣されてから、40年の月日が過ぎた。5年前にロータリークラブに入会し、何度かホストファミリーもしているの、青少年交換プログラムとの縁は切れないでいたが、一緒に派遣された同期の8人とはなかなか会えず、年賀



横浜RCも校長になった頃、入会した。同クラブ会員で、総合建設会社キクシマ代表取締役の

いつも開かれている校長室

カトリックの洗礼を受けた。
「祖父は浄土真宗でしたが、信仰心があつく家には毎月、経をあげにお坊さんが来ていた。洗礼を受けたのも祖父の影響があったかもしれない。三種類の神器」なんて言うのですが、私が校長になったのは、聖光学院の生え抜きであり、事務長も経験して経営も分かったから。ついに信者になって三つそろった。右手に聖書、左手にソロバン」と笑う。

菊嶋英生さんは、工藤さんが初めて高校2年生を担任した時の教え子だ。

「工藤先生が聖光学院の11期卒業生で私が20期。9歳しか違わないので、兄貴のような存在でした。ばーっと板書しながら時間中ずっと話される熱心な授業ぶりでした。キャンプ合宿ではテントの中で大学時代の失恋の話をしてくれたりして」と話す。菊嶋さんも工藤さんと同じように会社経営者の跡取り息子。

工藤先生から「建設会社を継ぐのだから将来は取引先との関係が大切になる。だったら早稲田大学理工学部建築学科がいい」とアドバイスされ、その道に進んだ。恩師と今、ロータリークラブで一緒に過ごす。

聖光学院は2011年の東日本大震災の際、学校全体で80人の高校生ボランティアを募り、同年6月に岩手県宮古市で支援活動したが、翌年からは同校のインターアクトクラブが東北の支援活動を引き継いだ。16年まで続け、同じ年の熊本地震のボランティアにもインターアクトが駆け付けた。メンバーは人身売買が横行するタイの山岳部族の子どもたちの支援施設へのボランティアにも派遣されるなど、国内外で奉仕活動をしている。

聖光学院の校訓は「Be Gentle men (紳士たれ)」。だが、それは単に立ち居振る舞いや身だしなみを正すことではない。紳士たるもの、「弱きを助け強きをくじく。常に他人を思いやり、



やさしくあれ」と工藤さんは言う。

ガリ勉の進学校のイメージと実際の聖光学院はだいぶんかけ離れている。工藤さんは「学校に縛り付けない教育」を目指していると言い、「子どもたちが自由に考え、自由に発言し、かつ、自分で自分を律する自由を持つことを大切にしています」と話す。聖光学院の校長室のドアは開いていて生徒は自由に入れる。実際、最近も「仲間と宇宙ロケット同好会をつくりたい」という生徒がいたそうだ。こんな校長先生なら生徒も怖じずに入ってくるだろう。

◇工藤誠一(横浜RC会員) 1955年横浜生まれ。明治大学法学部卒業。同大学院政治経済学研究科修了。聖光学院教諭、教頭を経て、2004年、校長就任、11年より理事長を兼務。現在、神奈川県私立中学高等学校協会、横浜YMCAの各理事長も務める。16年藍綬褒章受章。



治大学法学部に進み、教職課程を取っていて、卒業時にたまたま母校の社会科講師に招かれた。
 「もともと教師になってからも、そのうち家業を継ぐものだと思っていました」

右手に聖書、左手にソロバン

そろそろ家に戻るつもりだった36歳の時、青天の霹靂（へきれき）があった。事務長を打診されたのだ。「資金繰り、労務管理、人事が主な仕事」。教師の仕事とはかけ離れている。だが、「私は教員をやっているから家業の会社実務を手伝っていました。その仕事ぶりを聖光学院の先輩で、ロータリークラブでも先輩の公認会計士の方が見ていて推薦されました」。当時、学校は労使が対立し、中学と高校の組織分離や校地移転など問題が山積していた。熟慮の末に受けた。「学院の金庫にはお金はなくて借用書があった」。だが、かえって闘志をかき立てられたらしい。「大丈夫です、ハイ」。借金を返済し、念願の新校舎もOBから寄付を募るなどして建てた。

「私が生き方を学んだのは祖父ですね」。北海道で船長だった祖父は目を悪くし、船を下りて上京しスプリング工場を始めた。会社組織にまでしたが、横浜の工場が昭和20（1945）年の空襲で丸焼けになった。「戦後その全くのゼロから会社を再興させました。従業員を大切にする人でした。昼はソファになる三つ折りのスプリングマットレスを考案し、それが当たって200人もの人を使う会社になりました」。工藤さんが事務長になったので、事業は4歳下の弟が継ぎ、工藤さんは42歳で教頭、48歳で校長に就任。校長になってから、



アメリカにいた。生徒たちを引率し、メリーランド州ボルティモアでの英語研修から、MIT（マサチューセッツ工科大学）やハーバード大学を見学するアントレプレナーシップ（起業家精神）研修へととはしご、帰国した翌日の午前中に小田原での講演を済ませ、午後には斑尾高原入りした。

聖光学院を経営する学校法人聖マリヤ学園理事長を兼務する。法人傘下の「さゆり幼稚園」園長、さらに横浜YMCA理事長、神奈川県私立中学高等学校協合理事長、日本私立中学高等学校連合会常任理事……まだまだ尽きない肩書は多彩。毎週火曜日は老舗のホテルニューブランドで横浜ロータリークラブ（RC）の例会がある。手帳を拝見する。ブルーや黒、赤、朱……さまざまな色のインクで他人には判読不能の予定がびっしり。

ちなみに、校長室には常時10本の万年筆、家には約300本をコレクションしているとか。それにしても多忙だが、「大丈夫です、ハイ」。このフリーズ、工藤さんの口グセらしく取材中もたびたび聞いた。

全国屈指東大進学校の校長

ふだんは早朝6時半に登校する。7時から25分間はフリップとスカイプ（ネット電話）で結ん

でマンツーマンの英会話レッスンを受ける。オンライン英会話学習を導入し、シリコンバレー研修をはじめ、海外でのさまざまな地域でのホームステイ、短期留学に生徒を多数送り出している。海外の大学に進学する生徒には英語の推薦状も必要だ。「国際人育成に努めている以上、私もうかうかしてはいられません」。何事も率先垂範。工藤さん、たまたま校長室の前を通り掛かった東南アジア系の女性に、英語で気さくに話し掛けた。聖光学院の英語の授業のアシスタントとして年間4人受け入れている、マレーシア大学の女子学生のうちの一人だった。

聖光学院はミッシン系の中高一貫の男子進学校として知られる。2019年春、東京大学合格者が過去最高の93人を記録し、高校別で神奈川県1位、全国4位になった。東大合格者数は、工藤さんが校長就任当時の04年から約3.5倍に急伸した。東大進学者上位校は開成、筑波大学附属駒場、麻布、灘の4強体制が15年ほど続いていたが、今年ついに聖光が灘を抜き「4強の壁を破った」と受験界で大きな話題となった。

イモ掘りをする中学生の姿を見ながら、熊谷カメラマンが、ふと「この子たちも東大に入って官僚とかになるのかなあ」と言った。すると工藤さんは、「いや、最近はアントレプレナー志向か



コレクションの万年筆（上）と予定がびっしりに書かれた手帳

な。それに東大にいったん入って、秋にはアメリカの大学に転じる子もいます」と言う。そしてこんなことも話された。「子どもたちを学力や知性で評価するのは一面的なことです。決してそれだけが生きていく力ではない。その子の個々の特性を見つけ一人ひとりが輝けるようにしなければ」。教育を受けるとは、「人の生き方から学び、自分らしい生き方を身に付けることです」。いまや難関大学の入試でもより高度な問題解決能力が問われる。詰め込み教育では東大や欧米の一流大学に“人財”を送り込むことも難しい。

自身が聖光学院の卒業生である。横浜市中区根岸にある生家は祖父の代から会社を経営していて、工藤さんは長男。3代目になることを期待される。高校2年生で文化祭「聖光祭」の実行委員長を務め「ミスター聖光祭」とあだ名がつく。明

この人訪ねて

KUDO
SEIICHI

工藤 誠一

さん

● 横浜ロータリークラブ

konohito・tazunete



大丈夫です、ハイ

「これからジャガイモ掘りをしまーす!」。生徒たちを前に、私立聖光学院中学校高等学校校長の工藤誠一さんが、拡声器いらずの声を張りあげる。麦わら帽子にポロシャツ、ジャージのズボン、ゴム長靴。神奈川県横浜市の山手、丘の上の瀟洒な校舎の校長室でお会いした時の、胸ポケットにチーフを挿したダンディーな背広姿とは様変わりだ。だが、ラフな姿も似合っている。ここは長野県と新潟県の境にある斑尾高原まだらおに聖光学院が所有するキャンプ場。中学1年生235人の、2泊3日の合宿2日目朝である。

「二人1株引っこ抜く。なにつ、根っこにイモがついてない? 下の土を掘って。出てくるぞ」。イモは今夜自炊するカレーライスの食材になるのだ。「もつと掘れえ!」

中学1年生が帰ったら次に高校1年生を迎えるが、「生徒が自分たちでプログラミングしたアプリでドローンを飛ばす、プログラミング実習をします」と言う。

斑尾高原に来る直前までの8日間、工藤さんは

6代目なのですが、もう植木は駄目だとトマトの栽培を始めていました。「でも、石油が高くてコスト的に難しいんです」と私は彼から聞いていたもので、ならば、この2人を会わせればいいと思ったのが6年前。

その2年後、製油会社で油を搾り終わった後に残った90度のお湯を、2畝のトマト栽培のハウスに運び、熱量を上げ生産性を上げる栽培方法を探りました。トマトの品種もヨーロッパからの6代目が持ち帰り、日本で独占的に使えるよう仕入れてきたもの。松阪の嬉野の、本当に田舎なのですが、工業と農業を熱でつなげたという組み合わせ事例です。

方法や組み合わせを変えるだけ、ですよ。ところが同じ場所の生産性は100倍の収入になったのです。雇用はパートも含め90人で、正社員は5人ですよ。彼はさらにパートナーと合弁会社を結成、4畝の土地に新しい農場をつくりました。パートナーは新たな農業用のものを作っていくための協同研究会社です。こうしたことを、彼は7年くらいで進めていっています。これくらいの速度で物事は変わっていています。

現代は、視点を変え、気持ちを切り替えてみれば、技術的にはかなりのものがそろっていて、組み合わせるだけで新しい富が生まれるし作れる。私はそう感じました。

また私は、三重県の仕事として、1000人ほどの人を育てる経営塾を担当しました。大したことはいません。ただ人を会わせて、組み合わせを変え、新しい結合を促しただけの仕事です。

実際に地域に行くと、農業を中心として、いろいろなものがすでに回っていました。これも、イ

ンターネットなどの技術が安定する前まではただ、人と人、人と物がくっついていなかっただけなのでは、と感じました。農業が良くなれば人口が増え、学校が増え、公共交通機関も良くなる。でも、ある時期に農業がすたれると人は減り、学校も減り、公共交通機関の環境も悪くなる。こうやってまた、日本全体がバブル崩壊で疲弊していくサイクルになるのだと。

結局、私が県内で進めたことは地域内でも一度、新しい流れを促しただけのことです。先入観を取り払い、各地域・各地方で自分たちを磨き上げる、新しい仕組みをつくる。そして、そういう生き方を各地域で展開する。それを持っている全てのリソースを最適に結合するだけで、新しい富が生まれます。

21世紀への適応は、20世紀の高度成長期に取り残されたところから変わっていきます。インフラを全て整備してありますから、日本中どこにもハندیキャップはないです。世界から見ると、とても有利な国土を持っている日本人が今、何をすべきかといったら、気持ちを切り替えることなのです。

地方は若い人が減り、高齢化が進んでいるというのが世の総論ですが、このように、自らの地域をきちんと理解し、時代を読んで、その地で生き抜いている人々は強いのです。

「Leap Frog」という言葉が、最近いろいろなところで出てくるようになりました。カエル跳び、と訳されることもあります。遊びの「馬跳び」という意味です。

無いがゆえに、飛び越してしまう。「リープフロッグ現象」といって、例えばこれから伸び

てくる国、カンボジアやバングラデシュなど固定電話が普及していなかった国では、逆に先進国より携帯電話の普及率が先に高まりました。実際に、ベトナムでは固定電話が行き届く前に、もう一気に、携帯電話が増えた。

同じような現象がもしかしたら、日本でも起こっていないか？ と思ったのです。疲弊した地域から、一気に飛び越えるようなおもしろい動きがこれから出るかな、と。大企業ではなく、中小企業がポン、と跳ね飛ぶようなことが起こるのではないのでしょうか？

「井の中の蛙^か」。まさに私もそうでした。下の句は「されど空の深さを知る」。つまり、その地域に居てじっくり物事を考えていくと、空の本当の青さが分かってきて、場合によっては、その後にある星まで見えるのです。神髄を知る、というのは、地域にじっくりいた人間こそできることなのではないか。地域に生きるということは、地方の強みかもしれませんよ。

最近、私なりに句を作ってみました。「大海を知り井に戻った蛙」。情報がたくさん入ってくる今の時代、井の中の蛙などというものはあり得ません。でも一度、この田舎から出て世界を見て、大海を知り井に戻った蛙が何をするのかというと、高く飛ぶのです。若い世代を見ているとそう思います。

皆さんにも先入観を捨て、自分自身が持っているひらめきを信じてほしいです。とにかく、日本はインフラがもう整っていますから、あとは使い倒すだけ。皆さまのひらめき、発想の転換次第だと思っています。

SPEECH

社会変化を的確に捉えることの
重要性和
地域イノベーションの
おもしろさ

話も出てきました。

この事例に即すれば、鳥羽に限らず、流れを変え、基点をつくるだけで、いろいろな地域も復活する可能性があるのではないかと思います。

実は、鳥羽マルシェをつくった当時、市長さんに「5年はもうからないので、長い目で見てください」と言いました。でも、3年たった時点で黒字になりましたし、携わった皆さんもとても生き生きとされてきました。私たちのマルシェは、同じものを作って同じものを扱っても、方法・仕組み・考え方を考えるだけで地域でお金を稼ぐことができる、という事例になるのではないのでしょうか。農業でも漁業でも、地域にはまだ可能性があることが分かった。この方法で日本全部が良くなるとは言いませんが、私たちは何か勘違いをしていたのかもしれない、ともう一度、問い掛けるべきではないかと思っています。

三重県の鳥羽でいろいろな流通を変えていくことを試みるだけで、地域の中の漁業・農業が少し息を吹き返してきたように感じています。この、まずは流れを変えようということを、地域の各所で起こしていくことに意味があるのではないのでしょうか。

もう、新しいものをつくって、お金を掛けて投資をしていくという時代ではありません。意識を変え、今まで先祖が一生懸命積み上げ、つくり上げてきた日本のインフラを使い倒せばいいということ、考えていくことが必要なのです。時代の変遷に伴う社会変化を理解し、変化に適応することで、今、疲弊している地域でも新たな富を生み出すことができるのではないか、と思うのです。本当に、「何でこんなことやられるの」と最

初はぶつぶつ言っておられた農協の人たちも、最後は実に生き生きと「もう少しもうかるかもしれないからやってみます」となりました。

気持ちを切り替えて流れを変えて、日本人がもう一度自信を取り戻し、国の雰囲気が変わるようなことをする。これをしっかりと国家・国民全体で進めていけば、それも量ではなくて質を高めるような取り組みに集中していけば、日本はおもしろい国になっていくのではないかと考えました。ですから、やはり地域イノベーションということなのです。

私を含め時代は変わったのに、その変化に付いていきませんでした。中小企業・農業者・漁業者の皆さんはすごいポテンシャルを持っているのです。これからは、考えて動かす人間と一緒に一つ一つつくって供給していけば、眠っていたポテンシャルが発揮され、地域全体が元気になるようなイノベーションが起こるのではないかと。

そんな起爆剤になりそうなことを起こそう、問題点を皆で解決していこうということで、三重大学大学院につくったのが地域イノベーション学研

究科です。地域のニーズを発見し、問題解決するための新しい概念と方法を創造し、それらを国内のみならず海外にも展開できる、地域イノベーション学に関わる高度な思考方法と実現方法を教育しています。そして、多面的な視野で研究・開発が推進できる能力と、プロジェクト・マネジメントに携わる高度な能力を兼ね備えた人材を、養成します。

発想の転換が新たな富を生む

ある製油会社会長が「地域の森がだめになっていてもつたない」という観点から、工場の熱源を石油から間伐材（バイオチップ）に変え、バイオマスから蒸気をつくりだすようにしたところ、結果として、石油価格よりも安上がりになったそうです。ただ、その会長は「毎日、お湯を捨てているのはもつたない」と言っておられました。

一方、僕の地域イノベーション学研究科に博士課程で入ってきた学生は、津で代々続く植木屋の



■ 三重大学副学長 西村訓弘

1965年 三重県生まれ。87年 筑波大学第二学群農林学類生物応用化学専攻卒業後、96年まで（株）神戸製鋼所研究開発研究員。以後、日本ボール（株）、日本クラコン（株）、（株）ジェネティックスの研究員を務め2002年 同社代表取締役社長。04・06年 三重大学医学部産学連携医学研究推進機構特命教授。07年 三重大学副学長、現在に至る。第2回日本バイオベンチャー大賞文部科学大臣賞、日本工業新聞社主催平成14年度「北の起業家表彰」特別賞、札幌商工会議所第1回イノベーションコーディネーター賞、科学技術振興機構理事長賞など受賞多数。三重県、三重県経営戦略会議委員。農学博士。

への転換点だったと思うのです。見学者の目標人数が3000万人だったのに対し、倍以上の6400万人以上が、来たそうです。

象徴的なのは、万博記念公園に今もある「太陽の塔」の天井です。この塔の天井は開いています。最初は屋根があったそうです。設計した岡本太郎（1911～1996）が「開ける」「開けなきゃ駄目」と主張。建築上は無理だったようですが、最終的に開けられました。

岡本太郎というのは、当時、反政府側の象徴的な芸術家だったそうです。「ここに『太陽の塔』を設計する」と言った時「あなたは反政府側の象徴的な芸術家なのに、魂を売って国のための仕事をするのか」と聞かれ、彼は一言「中に入らなければ壊せない」と答えたそうです。つまり、当時の日本政府は、反体制的と目される芸術家を押さえ込むのではなく、受け入れているのです。こんなことも、国の雰囲気が一気に変わったと思わせるエピソードだと思います。

今度行われる2020年のオリンピック、その後にある2025年の大阪万博……。時代背景は異なりますが、日本にとって再び、非常に意味のある転換点になるのかもしれない。

戦後にはもう一つ、転換点がありました。バブル崩壊です。日本の国家レベルからすると、高度経済成長をし、ある程度の目標は達成しきった頃にも、まだ成長しなければならない、という雰囲気があったということでしょう。とうとう経済は過熱してバブルになって崩壊し、1200兆ほどの資産が消えたとされています。

ここで、国民の気持ちは一気になえてしまいました。その雰囲気が残ったまま、というのが現在

なのでは、と危惧しています。失ってしまった自信と、そしてこの先どうなる……という過剰な不安が満ちていると思うのです。

今、日本に必要なのは何か。地方創生という形を通してながらも、「気持ちの切り替え」です。明治維新の頃、日本の人口は3000万人ほど。ピークを迎えたのが2008年、約1億2808万人です。ほぼ4倍に増えた。現在、人口1億人ぐらゐを保ちましよう、と国は言っていますが、日本の適正人口は1億人、ということは誰が説いたのでしょうか？

「地方創生が実現すれば、地方が先行して若返る」と説かれています。しかし、今後の人口のことを想像しながら町をつくっていく、国家をつくっていくということは、なぜかあまり語られていません。高齢化を乗り切った後にどうするのか、ということを考えながら政策を練り、そこに若返るという考え方を加味していくことが、これからは大切ではないでしょうか。

そこで、国家の問題を地方である三重県から解こう、と私が取り組んだ実験的な話をします。

まずは「地産地消」から

鳥羽に、「鳥羽マルシェ」をつくってみました。これは地元鳥羽で取れた海産物や農作物の産直市場です。郷土食を中心としたレストランを併設し、鳥羽の持つ魅力を存分に味わってもらおう場所です。マルシェ (Marché) とはフランス語で市場という意味。

鳥羽は、三重県で最も魚が取れるところだと思

います。伊勢湾で取れる魚は脂が乗っていて本当においしいのです。ただ、その鳥羽で取れる魚も8割は県外へ出て行ってしまう。近所のスーパーには鳥羽産の魚はほとんどなくて、県外のものばかり。

そこで、鳥羽で取れたものを新鮮なうちに、地元の人たちで食べる仕組みを考えませんか、食べる拠点をつくりましようよ、という計画を立てました。そして、地域の旅館や居酒屋、そういった場に、鳥羽の魚を流通する仕組みをつくったらどうですか、と提案しました。

コンセプトはいわゆる「地産地消」。この考え方で組み直しましよう、ということ。漁連会長は前向きで、ほとんど県外に出していた水産物の流れを、鳥羽マルシェに移そう、と決めてくれました。ただ、農作物の方は全然駄目でした。鳥羽の農協の実情として、ほとんど荷場に野菜は集まらないのです。ということで、1軒1軒、農家さんを説得。「庭先に置いておいてくれたらそれを集めますから」という策を採りました。

農家にしてみれば、今まで作っても売れなかったような作物を、庭先に置けば持つていくってくれ、いつのまにかお金も振り込まれてくるのですから、もう少し頑張ろうという気になります。1カ月待ったら3万円振り込まれた、翌月は5万円になった、半年後10万円になった、そうしたらハウスでも作ってみようか、という形でどんどん、鳥羽マルシェに参加する農家が増えていきました。

イチゴが一番売れたので、農家の中にはイチゴ御殿まで建ちました。3軒の農家が集まれば各10万円ずつで計30万円になるのなら、あなたの息子を呼び戻して農業をやらせてみたら？ という



工業と農業を「熱」でつなぐ最先端のガラス温室で、新しい野菜も育っていく 写真：うれしのアグリ(株)

といえると思います。それぞれの藩がそれぞれの考え方で、自分たちの経済を打ち立て、それぞれの藩校をつくり教育して人づくりし、自立してきました。

江戸時代以前、人口は一〇〇〇万人ちょっとしかありませんでしたが、安心して土地が耕せる、漁ができる、自分の商いができるとなると、一生懸命頑張って土地を増やしたり、商いを高めていったりして、幕府が始まって最初の100年で高度成長していき、人口も3倍ほどに増えました。その後、人口も経済も一度動きが止まりますが、幕府はコメの価格の安定化を図り、非常に安定した世の中をつくっていったのです。これが、江戸時代に起きたことです。300ある藩の中でじっくり頑張ることで、文化も経済も成熟していきました。現在の日本においても、この時の成熟が、地域の大きな基盤になっていると思います。

鎖国していたため、欧米諸国から見ても技術的には遅れが出ていましたが、このままではだめになる、と日本再編の動きが出て、一生懸命挽回したのが、明治維新以降の100年だったのではないかと思います。

明治維新の頃の1人当たりのGDPは、概算ですがイギリス、アメリカの3分の1、4分の1ほどでした。不幸な第二次世界大戦を挟み高度成長、そこへ、1964年の東京オリンピックです。日本は16個金メダルを取りました。メダルは、自分たちは世界で戦える、という自信になりました。

1970年の大阪万国博覧会では、77カ国のパビリオンが並び、日本の中に世界が集まりました。万博は、「日本にも海外から人が来てくれて、世界と触れ合うことができるんだ」という感覚

社会変化を的確に捉えることの 重要性和 地域イノベーションの おもしろさ

自分の田舎は本当に駄目だ、と思っていた私も、考え方・方法を変えてみるだけでヒントが見えてきて、きっかけがつかれると思いました。時代が変わったということを理解して、それに合わせて自分たちを変えていく。そうしたら同じ場所で同じ物を取り扱っていても富がつかれると思うのです。

三重大学副学長 西村訓弘
Norihiro Nishimura

地方創生のヒントは 江戸時代から

今後の日本では、発想するということ、変化させていくことが重要になると思います。

私は1965年生まれ、三重県南部の出身です。今や高齢化が著しい故郷を出て、そこから世界を見て三重県に戻り、地域創生に取り組みつつ、これから日本はどうしたらいいのか、と考えてきました。

まず、GDP（国内総生産）が大きく変化しました。40年間で100倍になっています。これほどの経済成長をした国というのは、他には見られません。この時期、ほとんどの国が経済成長をしています。アメリカやドイツよりも、日本の経済成長の速度は速かった。

高度成長の頃、日本に何が起こったのか。それはモノの普及です。カラーテレビ、自動車、エアコン、皆が欲しかったモノを国民は一気に手に入れました。その後、温水洗浄便座、液晶テレビ、最近だとスマートフォン、その手のモノがどんどん普及していきました。

では、人口はどういうふうに移動していったのか。高度成長に合わせて地方から東京・大阪・名

古屋へ、人が移っていきました。都市への人口移動が日本の経済成長を支えたのは確かですし、大企業をも支え、日本が世界へ打って出るだけの力になっていったことも事実です。

その後、いったん経済安定期になると人の移動が止まり、その後に経済成長が止まる。そしてまた同じような動きが起こった。次の移動はとても端的で、東京だけに人口が集中しています。東京・大阪・名古屋、北海道だったら札幌だけ、九州だったら福岡・博多だけに人の集中が起こってしまう。こういうことが経済成長とともに起こったのだという現実を、まず皆さんと共有したいと思います。

その結果、例えば三重県では北部と南部では深刻な経済格差が生じています。高度成長期の時はまだ明確ではなかったものが、バブル経済の後に「もっと都会に出ないと駄目じゃないか」「田舎は駄目」という風潮が助長されたのです。

私が14年前に三重大学に来て、この現象をどのようにすれば解消できるのか、徹底的に調べました。そうです、「地方創生」です。地方に仕事をつくり、住める場所をつくり、そこで生活ができるようにしよう、と今、日本中でまい進しているところだと思っています。

ここで、時代背景から地方創生という流れをもっと長く見たときに、今の日本はどういう立ち位置にあるのかを考えると、江戸時代にヒントがあるのではないかと、思いました。

江戸時代の国内は、太平の世というものを謳歌した、と一般的にはいわれています。徳川家康が行ったことは日本の安定化だと考えています。彼は日本の国土を約300藩に分け、政治と経済の自治権を与えたのです。これは緩やかな連合国家

10 月は地域社会の経済発展月間 米山月間です
10 月 7 ~ 13 日はロータリー学友参加推進週間です

Rotary Global Media Network

社会変化を的確に捉えることの重要性和
地域イノベーションのもしろさ

◆三重大学副学長 西村訓弘

シリーズ この人訪ねて

工藤誠一さん 横浜 RC (第 2590 地区)

記事・岩田一平 撮影・熊谷武二

友愛の広場

米山学友世界大会で「絆」を実感

第 2760 地区米山学友会 林 琮

元青少年交換学生と 40 年ぶりに再会

東京あけぼの 近間美紀

長岡西 RC から美の世界へ

長岡西 桜井カツエ

国旗・国家に感謝

盛岡東 熊谷達雄

ロータリーの奉仕と親睦

博多 穴井元昭

卓話と呼んだ 60 年前の幻の写真

小城 七田利秀

モフモフたちと付き合って

横浜旭 兵藤哲夫

ちよっと嫌な話

三河安城 堀尾 豊

「みなと」ロータリークラブ交流会

千葉港 藤本俊男

地区を超えた野球大会、14 年

新潟南 長谷川厚史

◆私の宝物

卓話の泉

日本刀の話

川西 池永 済

インフルエンザについて

厚木中 黒木則光

私の一冊

熊本江南 青木祐心/徳島プリンス 坂田千代子

ロータリー 俳壇

◆稲畑 汀子 選

22 67

ロータリー 歌壇

◆佐木幸綱 選

22 67

ロータリー 柳壇

◆てじま晩秋 選

22 67

ロータリー・アット・ワーク

インドから

102 人のビジターがやってきた

東京中央新 RC

〈写真〉京都西南/和歌山城南/善通寺/名寄

大分中央/深谷東/小樽/松戸北/三原

佐久/函館亀田/本庄南

バンコクに車椅子 9 台 航空手荷物で届ける

千歳

ネパールの学校を支援して

浜北

タイと大分の高校生が国際交流

杵築

カンボジアに学校建設

新居浜

ロータリーの若者たちを災害時のリーダーに育成

第 2760 地区

令和最初の地区 RLI

第 2790 地区

現代の寺子屋で教育支援

京都洛西

希望の風イベント大盛況

本庄

豊中のまちに夢と感動を!

豊中南

声

7 月号の感想

32 57

表紙 横組み 「喧嘩(けんそつ)」

縦組み 「米山梅吉」

表紙題字 加藤光峰

表紙レイアウト 箕牧 彰

◆本誌中の RC はロータリークラブ、R は国際ロータリーの略です。

◆横組みの目次は、反対側の表紙を開いた 4~5 ページにあります。

◆本文・写真などの無断転載・複製を禁じます。

◆表紙については横組み 54 ページを参照。



一般社団法人 ロータリーの友事務所
〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 4 階
Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5956

編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp (本誌の内容・投稿)
管理部メール keiri@rotary-no-tomo.jp (購読・注文)

ロータリーの友
Home Page
www.rotary-no-tomo.jp



その時、観衆は妙なものを
目の当たりにしました。
なんと一人の選手が、
両手を地面についたのです。



イノベーションは、このような形で突如現れる。

今やあたりまえと思われているクラウチングスタートは、
第1回オリンピック競技大会（1896/アテネ）で、ある一人の選手が登場させました。
彼は、その革新的な走法によって、金メダルを獲得しました。
このようにイノベーションは世の中に突如現れ、最初は奇異に見えることがあります。
しかし、それが新たな常識へと変わり、世の中のあたりまえになっていくのです。
DNPは、まだ見ぬ「未来のあたりまえ」をつくるために、
印刷と情報の力でイノベーションを目指し、今日も挑戦を積み重ねています。



現代におけるクラウチングスタート

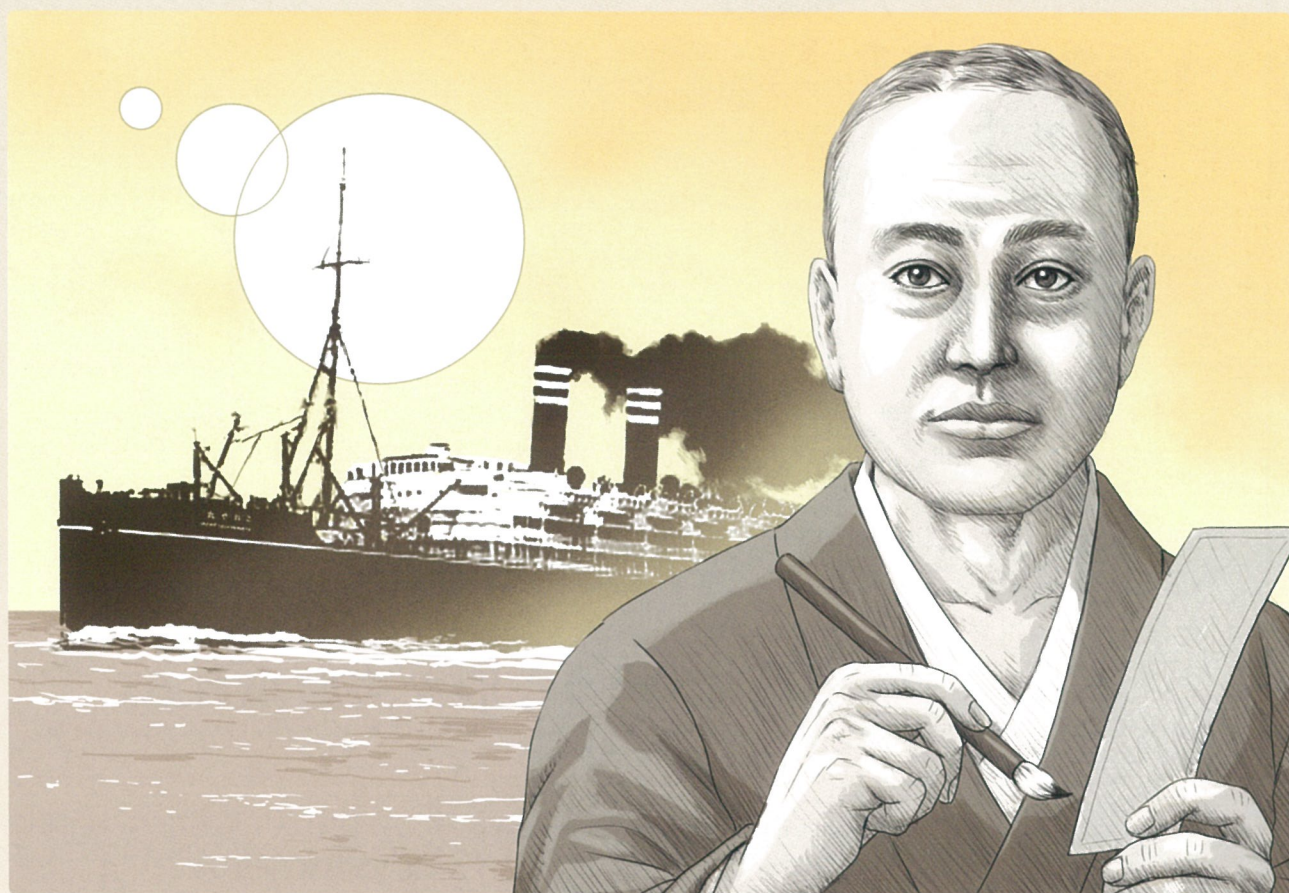
未来のあたりまえをつくる。



ロータリーの友

10

2019
OCTOBER
VOL.67 NO.10



米山梅吉 (1868~1946)

SPEECH

社会変化を的確に捉えることの重要性和 地域イノベーションのおもしろさ

西村 訓弘

この人 訪ねて
工藤 誠一さん